

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		その他専門店〔ワイン〕（従業員）	・新型コロナウイルスが収束することで景気が良くなることを期待している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・Go To Travelキャンペーンに加えて、プレミアム付商品券の再発行なども検討されていることから、先行きはやや明るくなると期待している。
		百貨店（営業販促担当）	・10月を目安に商材の入荷状況が徐々に戻る予定となっている。また、新型コロナウイルスの感染が拡大しない限り、イベントなども行えるようになるため、景気回復に向かうことを期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・前年10月の消費税増税後、販売の低迷が続いていたため、今後については反動増が期待できる。また、新型コロナウイルスの影響がみられる一方、新型車効果も見込めるため、景気は上向くと期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの動向が少しは落ち着いてくることで景気がやや良くなると期待している。
		自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、今後は少しずつ消費が上向くことが見込まれる。
		旅行代理店（従業員）	・インバウンド需要の回復には数年が掛かるとの見解が浸透してきているものの、国内旅行の需要喚起策や航空会社の国内線テコ入れなどにより、下期には需要が拡大すると期待している。現在、観光地はにぎわいを取り戻してきているが、道内客と道外からの個人客が主体であり、団体客の回復が待たれる。
		旅行代理店（従業員）	・飽くまでも2～3か月先の新型コロナウイルスの感染状況が現在よりも落ち着き、拡大していないことが前提であるが、修学旅行などの学校関連の団体旅行取扱が予定されていることから、現状よりは景気が上向くことになる。ただ、新型コロナウイルスの感染状況によっては全て取消しとなる可能性もあり、予断を許さない状況にある。
		旅行代理店（従業員）	・人や物の動きが今より悪くなるとは考えられないことから、今後の景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの状況次第だが、消費に明るさがみえ始めていることから、今後の景気はやや良くなる。
		通信会社（企画担当）	・毎年9月に発売されている米国製の人気通信端末が需要を押し上げることを期待している。ただ、驚くような機能が付加されることは少なくなってきたため、劇的に景気が良くなることまでは想定できない。
		観光名所（従業員）	・ウィズコロナの中、国内客の観光動向が徐々に回復していることは間違いないため、今後の景気はやや良くなる。ただし、インバウンドの観光入込が以前のような水準まで回復するのはまだ先のことになる。そのため、8月と比べれば確実に景気は良くなるが、全体的な景況感は厳しいままと見込まれる。
		商店街（代表者）	・秋冬にかけての新型コロナウイルスの再流行が懸念されるが、効果的な対策がなく、現状の対策を推し進める以外に方法がないことから、今後も景気は変わらない。
	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの状況次第の面もあるが、今後は暖房費の掛かる時期となり、客が出控えるようになることから、景気は悪い状態のまま変わらない。	
	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響は年末まで収まらないと見込まれるため、今後も景気は変わらない。	
	百貨店（売場主任）	・これ以上の景気の悪化はないとみているが、今後も景気の悪い状態が継続する。全国的に新型コロナウイルスが小康状態にならないと景気は上向いてこない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・これから秋冬に向けて、新型コロナウイルスの感染が拡大する懸念が拭えないことから、来客数、買上客数などの指標は一進一退を繰り返す。また、売上シェアの高いインバウンド客の動向が不透明であるため、以前の水準まで回復するには時間が掛かる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスに対する理解が深まることで、現時点よりは景気が回復するとみている。ただ、新型コロナウイルスの発生以前の状況に戻ることはないため、全体的な景況感としては今後も変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスへの対応がまだしばらく続くなか、消費者のマインドとしては節約意識が強まることを見込まれる。大きな景気対策でもない限り、前年の消費税増税前にみられたような活発な消費行動が起こる可能性は極めて低い。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が続き、新しい生活様式の模索が続いているなか、今後の消費動向は、業態による好不調こそあるものの、全体としては様子見の状況で推移することが見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響もあり、外販の売上は悪い状態が続くとみられるが、夏場と比べれば減少幅は小さくなる。一方、店内での売上は前年のキャッシュレス・消費者還元事業の反動減が生じることが見込まれ、前年よりも苦戦することになる。そのため、外販の回復分が店内の減少分で相殺されることになり、景気は悪いまま変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・8月も引き続き新車受注台数が前年実績を上回るなど、当社の新車販売は順調に推移している。今年の5～6月を底に潮目が変わってきていることから、今後も景気は変わらないまま推移する。
		乗用車販売店（従業員）	・北海道の場合、2～3か月後は冬の始まりとなり、例年冬になるにつれて売上が落ちる傾向がある。ただ、現在の雰囲気から、景気はそれほど変わらないまま推移するとみられる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの状況次第の面もあるが、今後も現在の経済状況のまま推移するとみられることから、景気は良くも悪くもならない。
		高級レストラン（スタッフ）	・家庭での食事が多いこと、観光客の予約が伸びてこないことなどから、当分の間、飲食店の景気が良くなることは期待できない。SNSからは外食が増えているようにみえるが、一部だけの動きであり、飲食店利用は新型コロナウイルスの流行前と比べて減ったままである。今回の首相交代が経済的にプラスになることを期待している。
		観光型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンにおける東京都の扱いが不確定のため、期待薄と言わざるを得ない。東京都を始めとして首都圏の感染者数が減少し、ビジネスと観光の人員が回復するまで現状のままで推移する。
		旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンが行われているが、警戒をしながら旅行をする客よりも、警戒をして旅行をしない客の方がはるかに多い。新型コロナウイルスのワクチン接種を受けることができるようになり、感染状況が収まるまで、以前のような客足は戻ってこない。
		タクシー運転手	・今の状況を見る限り、これから冬に向けて、どのような状況になるのか想像も付かない。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で先行きの全くみえない状況が今後も続く。まずは国内観光客の需要喚起が先決であるが、Go To Travelキャンペーンの効果も今一つみえてきていないことから、今後、第2～3弾の継続的な経済施策が望まれる。
		美容室（経営者）	・店内が密にならないように8月も予約で調整しているため、以前のような売上が望めない。予約が集中した場合は断ることになるため、今後、新型コロナウイルスが収まるか、ワクチンが普及するまで従来のような売上を望めない。
		美容室（経営者）	・ここ3か月、売上、来客数共にほとんど変わっていない。前年と比べてもほとんど変わっていない。景気が変わるような要因も見付からないため、今後の景気は良くなることも悪くならないとも考えられない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・今の状況から、今年一杯は観光客の入込を期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが終息するまで、現在のような状況がずっと続く。
		商店街（代表者）	・毎日、感染者何名、重症者や死者何名といった報道ばかりで、新型コロナウイルスに対する恐怖感が助長されていることから、今後ますます経済が回らなくなり、厳しい状況になる。他の感染症やインフルエンザなどと比べて、新型コロナウイルスがどのようなウイルスなのか、最新の情報を常に出していくことが重要だ。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続く限り、旅行しようという気持ちになれないとみられるため、地方の観光地、空港、鉄道会社などは苦戦することになる。今後数か月は、旅行業界や観光業界の悪循環が続くことになり、冬になると一層厳しい状況になる。
		百貨店（役員）	・新型コロナウイルスのピークを過ぎたことで回復基調にあるようにみえるが、今後の新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか判断が付かないため、景気はやや下向きとなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、政府の政策が生活者の行動を左右することになるため、今後の景気はどうなるかは判断の付かない面がある。ただ、軽症の感染者が生活圏内に多くなれば、今以上に自分を守る行動を取るようになるため、消費者の出控えがますます進み、経済が悪くなることになる。
		スーパー（役員）	・当地域では新型コロナウイルスの感染者もほとんどみられないことから、自粛解除後の消費者の警戒心は緩んできているが、観光客などの人の動きが戻らない限り、以前のような景気の状態には戻らない。
		コンビニ（エリア担当）	・地域の主要産業である漁業の動向が芳しくないため、今後の景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・周りの人の消費マインドが低迷し続けているため、今後の景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで人出が増えることを期待できないため、今後の景気はやや悪くなる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・今年に入ってからドラッグストア業界は好調といえるものの、その中身を見る限り、客の健康利益につながっていないため、今後の景気はいずれ悪化することになる。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスが収束し、普通の状態に戻るまでまだまだ時間が掛かるとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・Go To Travelキャンペーンなどの効果に期待していたが、今のところその影響は感じられないため、今後の景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの影響により、全体的な所得の低下がますます進むことになる。その影響は長引く可能性が高いため、分譲マンション市場における悪影響はこれから徐々に強まることになる。
	×	商店街（代表者）	・今後については、オフシーズンを迎えるなか、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が生じることになるため、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・Go To Travelキャンペーンが始まったこともあり、お盆の時期には観光客が少しみられたが、お盆が終わると全くといっていいほど観光客がいなくなった。これから9月は秋の行楽シーズンとなるが、現状、予約は全くみられず、壊滅的な状況が続いている。北海道の観光のオンシーズンは9月までであり、そこで稼ぐことができなかった観光事業者は冬を越す体力がなくなり、いよいよもって倒産となる可能性が高い。このままでは国内の観光産業が死に絶え、復活は難しくなる。観光業界は零細企業が多いため、これらの企業を救う手立てを早急に変更すべきである。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・前月の売上は前年比14.5%だったが、8月はお盆があったこともあり、前年比22.5%まで上昇した。ただ、お盆が終わった後は、それまでのゴーストタウンのような状態に戻っていることから、今後の景気は悪くなる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・各社の業績、決算内容について悪い数字が出ていることから、当分、景気の悪い状態が続くことになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店（店長）	・紳士服業界の景気の底はまだみえない状況にある。衣替えも進まず、メーカー仕入れにも影響するなど、負の連鎖が止まらない状況にあることから、今後の景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔造花〕（店長）	・来客数が減少したまま戻っていないことから、今後の景気は悪くなる。
	×	高級レストラン（経営者）	・例年、冬になるとインフルエンザが流行するが、今年は新型コロナウイルスの再流行も考えられるため、人が出歩かなくなると懸念している。また、観光客も春先と比べれば増えているが、人数自体は例年よりも少ない。これらのことから、今後は観光客も地元客もますます減ることになり、景気は一層悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス対応の限界がみえ始めていることから、今後の景気はやや悪くなる。
	×	観光型ホテル（経営者）	・冬季は元々閑散期であり、例年道外からの団体客やインバウンドが主体となる時期のため、今後の集客の悪化が懸念される。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの先行きの見通しが立たず、人々が不安を抱えたまま、買い控えていることから、今後の景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・例年9月から涼しくなり、過ごしやすくなることでタクシーの利用が減る傾向がある。今年は新型コロナウイルスがいまだに終息する気配すらないことから、特に夜のタクシー利用客がいなくなることが見込まれ、相当厳しい状況になる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者が主要都市部から地方へとじわじわ広がりを見せている。地方での感染発生は都市部と比べて影響力が強く、住民の行動を強力に抑制することになる。そのため、今後の景気の悪化は避けられない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数について、専門家の認識ではピークを過ぎたと報道されているが、当社の場合、このままでは従業員の雇用の確保もままならない状況にある。雇用を続けるためにも、第2～3の政府の経済対策、早期のワクチン供給体制の構築が必要である。
	×	美容室（経営者）	・現在のような状態をずっと続けるしかないのであれば、希望を見いだせない。
企業 動向 関連 (北海道)		-	-
		輸送業（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で例年よりも物流量が少なくなっている傾向にあるが、物流業にとっては秋季が繁忙期であるため、今後の景気は今よりも多少良くなる。
		食料品製造業（従業員）	・今以上に景気が悪くなることはないと思われるが、景気が良くなるような案件も見当たらない。
		家具製造業（経営者）	・全般的に景気の落ち込みがひどいことから、この影響は相当長引くことが見込まれる。今後、企業倒産が増えるなど、危機的な状況が来ることも懸念され、楽観できない状況にある。
		建設業（経営者）	・公共工事については例年と同様のペースで発注が行われている。一方、民間建築については引き合いが少なく、特に戸建て住宅はかなりのダウンとなっている。今後の景気は新型コロナウイルス次第の面があるが、来春くらいまでは期待できない状況が続く。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルスの終息と経済のV字回復が一向に見通せないことから、次年度以降の受注見通しが立たない状況は今後も変わらない。
		通信業（営業担当）	・企業活動全般は以前の状況に戻ってきているものの、北海道は気温が低い地域であるため、秋以降の新型コロナウイルスの感染状況について見通しが立たない面がある。そのため、今後については、一定の経済活動によるプラスの影響と新型コロナウイルスの拡大予防処置などによるマイナスの影響が相殺されることになり、景況感は現状維持で推移することになる。
		司法書士	・新型コロナウイルスの影響により経済社会が変化しており、以前の状態に戻る時期がいつになるのか見通しが立たないことから、今後の景気は現状のままで推移する。
		コピーサービス業（従業員）	・現在の状況から、今後の景気はしばらく横ばいで推移する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・現在の好調な状態は年内一杯続くものとみられるが、来期以降、民需を中心に設備投資の伸びが鈍化することが見込まれる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新型コロナウイルスの動向次第の面があるが、今後も景気に大きな変化はないとみられる。
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が長引く見通しにあることから、これまで観光業界にとどまっていた民間建設投資の停滞が製造業を始めとした他の業界にも広がっていくことが懸念される。そのため、今後について多くを期待できない。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの流行に伴う新しい生活様式への対応が企業経営の足かせとなっており、特に小規模、労働集約的な企業が多いサービス業における影響が大きくなっている。今後、収益確保の難しさが企業の資金繰りに悪影響を与える。また、持続化給付金などの支援効果が剥落することなどが見込まれることから、経営難に陥る企業が増加することが懸念される。このため、今後の景気はやや悪くなる。
		司法書士	・新型コロナウイルスに対する特効薬ができない以上、景気回復の道筋はみえない。また、現首相の辞任による影響や後継者選別に係る権力闘争などが国民に関係なく進むことで、ますます政治離れが進むことになり、後継者も思いきった政策を打ち出すことができなくなることが懸念される。このため、今後の景気はよくて現状維持、状況によってはやや悪くなるが見込まれる。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・今後の景気が良くなるとは見込めないが、どの程度の落ち込みとなるのかも想像できない。新型コロナウイルスの状況次第で大きく変わることになる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・客先の仕事に変化し、予定していた案件の取りやめや延期などが発生していることから、先行きの不透明感がある。
	x	金属製品製造業（従業員）	・直近の新築住宅着工件数が減少している影響が、今後2～3か月後に出てくることになる。さらに、様々な業界の業績悪化も見込まれるため、景気が後退し、新規設備投資が減少することになる。
雇用関連		-	-
		*	*
(北海道)		人材派遣会社（社員）	・いまだに先が見通せない状況にあり、企業活動の停滞感が強い。このような状況でも業績を確保するため、優秀な営業マンを採用しようとする企業が一部で見られるが、選考基準は厳しくなっており、普通のスキルでは採用に至らない。企業の現状を変えられるレベルの人材でなければ、企業も採用に動かない。こうしたことから、新型コロナウイルスの影響がポディープローのように効いてきており、企業が先の見通しに不安を持っているように見える。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染者が地方にも広まってきていることから、求人マインドが今一つ伸び悩んでいる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・このまま新型コロナウイルスの感染者の数が増えず、大きなクラスターも生じなければ、景気は現状のまま推移する。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ウィズコロナの生活様式が普及することにより、経済活動にもう少し動きが生じることが見込まれる。ただし、今後の感染状況の推移、集客難や売上減に伴う企業の倒産、閉業などの懸念材料もある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・全ての行動が新型コロナウイルスに影響されている。取引先からは、在宅時間が長いことで熱帯魚やペットを飼い始める人が増えているといった話や、結婚式を実施するカップルや割引キャンペーンを活用した旅行が徐々に増えているといった話を聞く一方で、新型コロナウイルス発生以前の売上水準に戻すことができない業界があったり、体力のない中小事業者からは秋以降の事業継続が難しい、事業継続はするが人員の整理が必要などの声も聞こえている。
		職業安定所（職員）	・夏場を迎えたことで景気は若干上向いているが、秋の観光シーズンを迎えて、景気が大きく変化することまでは考えられない。
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年比マイナス30.1%、月間有効求人数は前年比マイナス24.1%となっており、共に減少しているが、今後、経済活動が回復することで、求人数も有効求人倍率も徐々に復調することが見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		学校〔大学〕（就職担当）	・今後も景気が悪いまま横ばいで推移する。リーマンショックの時と違い、出口の見えないウイルスが相手であることから、今後の収束がみえてこない以上、景気の悪化は続くことになる。2021年新卒の学生の就職活動も学生の心が折れて終わってしまうことを心配している。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は4か月ぶりに前年を上回ったが、有効求人数は前年を下回った。多くの業種で新型コロナウイルス感染症の影響が生じていることから、今後の景気はやや悪くなる。
	x	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)		住関連専門店（経営者）	・受注生産であり、2～3か月後の受注物件、受注量が多いということがあって、今月よりも販売量、売上が増加する。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にはあるが、人の動きは一時よりも増加している。
		コンビニ（エリア担当）	・新しい生活様式のなかでの秋の行楽需要や、引き続き巣籠り需要も見込める。
		衣料品専門店（経営者）	・秋冬物が本番になる。
		乗用車販売店（従業員）	・市場状況は変わらず、販売量、売上が大きく伸びることはないとみている。しかし、3か月前は今期最低だった実績が、前月から例年プラスで推移しているため、少しずつ良くなっていくと予測している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染が多少落ち着いてきたことと、ウィズコロナでの消費スタイルがある程度浸透してきたことによる消費の底上げが期待できる。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスだけ収まれば少しは戻ってくるが、いわゆる1年前、2年前には戻らない。学会や披露宴等もなく、先行きは難しい。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの終息次第ではあるが、Go To Travelキャンペーンもあり悪くなるということはないのではないかと。
		住宅販売会社（経営者）	・小規模の開発用地の仕入れ、直営分譲販売が予定されている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響は大きく、地域でのイベントや集客の大きな祭りまで中止になっている。そのことが後々までつながっていくのではないかと予想している。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・書籍部門は商材の動きによってはまだまだ持ち直す傾向にある。景気そのものは悪くなるとも良くなるともいえず、現状のまま続くとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・今の状況であれば来客数は2～3か月後も変わらないが、薬局という職種であるため、新型コロナウイルスの動静によっては増減するとみている。ただ、1月以降、上乗せされているので、このままいくとみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・売上は少しずつ戻りつつあるものの、ここで上げ止まるとみている。現在の状況が長期化することを考えれば、いかに現状維持で持ち堪えられるかに懸かっている。取引先の状況なども注意深く見ていかなければならない。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響もあるがユーザーの動向が読めず、勤めようと思う商品もまだ検討中である。
		百貨店（売場主任）	・年配の方を始め全体的に来店、買物を控えている状況は続いており、ビジネス需要、カジュアル需要を含め年内の完全な復調はないものと考えられる。
	百貨店（営業担当）	・イベント等の中止や県をまたぐ移動をためらうなど、新型コロナウイルスの影響もあり、来客数は改善の兆しが全くみえない。	
	百貨店（買付担当）	・リモートワークや外出を控える傾向が今後も継続するようであれば回復は厳しい。	
	百貨店（経営者）	・新型コロナウイルス禍が今のまま継続した場合における商品入荷の遅れや季節商材の店頭展開規模縮小など、供給側の問題点も改善されていない。よって、回復傾向はまだ先とみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・9月は残暑がしばらく続くようであり、また、新型コロナウイルス感染者の地方での増加もあることから、外出は引き続き控えることになり、消費環境はこれまでと同じ傾向が続くものと予想される。9月は新首相も決まるので、経済、社会活動が回るような、思い切った新型コロナウイルス対策、事業継続対策、雇用維持対策、各方面の改革につながるような施策を期待したい。
		スーパー（店長）	・来客数に変動がなく、何となく売上を維持できている状態が続いている。このどちらともいえない、どっちつかずの状況はしばらく続きそうである。
		スーパー（店長）	・前年9月は消費税増税前の駆け込み需要があり売上を伸ばしたため、9月はその反動があるとみているが、10月以降は回復が見込める。業績状況としては、2～3か月後も余り変化がないと予測している。
		スーパー（店長）	・6月の売上は前年比104.3%、7月は104.5%であった。8月は日曜日が1日多い分、この数字を更に超えてくるとみている。この先の何か月かは、このくらいの数値を少し伸ばした状態が続いていくと予想している。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で内食需要はあったが、食品小売業に関してはそれも段々下火になってきているので、この先の売上、販売量は変わらないとみている。
		コンビニ（経営者）	・イベントの開催制限解除がなければ、土日の来客数の増加は見込めず、今後も悪い状況が続く。近隣の会社員客の単価や買上点数は戻っているため、あとはフリー客の回復を願っている状況である。
		コンビニ（経営者）	・このまま静かな状態、せいぜい横ばいで2～3か月後も推移していくとみている。そういった意味では、まだまだ予断を許さない経済状況である。
		コンビニ（経営者）	・気の緩みからマスクを着用せずに来店する客もいるので、感染者の増加は止まらない。自店からの感染者が出ないことを祈るばかりである。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスでかなり売上は落ちているが、当地ではもともと競合の影響でかなり厳しい経営が続いていた。それに追い討ちを掛けるように新型コロナウイルスで壊滅的な売上となっている。夏も祭りが中止で稼げず、除雪代や光熱費などが重くのしかかる冬を越えることができるのか不安しかない。今後コンビニ経営者の破綻が増えてくるのではないだろうか。
		コンビニ（経営者）	・来客数は変わらないので、余り変わらないとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスに関する対策が確立されるまで、基本的な自粛は続くともみている。安心感が生まれて人の動きが戻るまでは売上の改善は難しいと予測される。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が先行き不透明である。また、首相の突然の辞任により今後の経済動向が不安視され、商売に影響が出ることを懸念している。
		衣料品専門店（経営者）	・秋冬物の本格的な展開となるが、例年に比べると来店予約される方が少なく、スロースタートになると予測される。
		衣料品専門店（店長）	・前回の給付金特需のように、一時的に需要が上がることはあっても、イベント、ビジネス用途での需要は回復することがない上に、ふだん着需要も従来よりは頻度を抑える傾向が続くことが予想される。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスが終息すれば自然に景気は上向くが、感染が拡大すれば現在の状況が続く。
		衣料品専門店（総務担当）	・来客数及び買上点数等見てみると景気が良いとは感じられない。新型コロナウイルス禍のなかで外出を控えている方はまだまだ多いため、傾向としては変わらない状況が継続すると考えられる。
		乗用車販売店（従業員）	・車両販売に限れば、長納期が解消されつつあるので売上はある程度上がるが、受注は若干伸び悩んでいるので、上期は現状維持である。
		乗用車販売店（本部）	・新規客自体は歓迎できる動きを示しているが、全体を大きく底上げするまでの勢いはない。カンフル剤としての車販イベント等を大きく打って出たいところだが、依然として各社様子見の状況である。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息しないことには、どうにもこうにもならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔酒〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響がある限りは大きく変わらない。商売も在宅の消費者を対象にしたものにシフトする等工夫もするが、売上減をカバーするのは難しいとみている。
		その他専門店〔靴〕 (従業員)	・新型コロナウイルスの終息が見通せない状況なので、何ともいえないが、新型コロナウイルス発生以前の状況に戻るには時間が掛かるとみている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕(営業担当)	・今後の見通しが全く立たないなかでは購入意欲は湧いてこないため、現在の売上がない状況は続くのではないかと。特に企業はどこも影響を受けているなかで経費削減を行うことは間違いなく、あらゆるものの動きが悪くなると予想される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・大きなイベントなどもなく大きな回復要因もないことから、現状水準のまま推移すると予測している。
		高級レストラン(スタッフ)	・8月は売上、来客数共に前月より伸びている。9月以降も現状の売上で推移するとみているが、夜の来客数がなかなか伸びず、横ばいである。単価の低いランチ売上が多少の増加になるくらいだろう。ディナーはアルコール飲料の売上が上がってこないため厳しい。
		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルス感染症の治療法が確立されていないこともあり、飲食店への来店の不安が拭えない限りは、客が戻るということは当面ないとみている。
		観光型旅館(経営者)	・新型コロナウイルスの影響はなくならないので、予約も様子を見ながら直近が多く、先々の見通しは不透明である。プラス要因のGo To Travelキャンペーンも大きな効果とまではいっていないようである。
		観光型旅館(スタッフ)	・Go To Travelキャンペーン、新型コロナウイルスの状況により、旅行者数が変わってくるとみている。
		旅行代理店(従業員)	・新型コロナウイルスの終息がいまだみえず、感染者が一定数の高止まりになっている状況を勘案すると、ワクチンができるまでの一定期間は、景気の底の状況が続くと予測している。しかしながら、新型コロナウイルスの新たな感染者が減少に向かえば、Go To Travelキャンペーン効果と連携し、景気が上昇する可能性がある。そして、その方向に向かってくれることを祈念している。
		旅行代理店(従業員)	・新型コロナウイルス感染症が終息しない限り、国内旅行需要は近隣県移動中心であり、長距離需要の発生は見込めない。海外旅行需要においては渡航制限解除までは売上が見込めない状況であり、厳しい状況には変わりない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスに加えインフルエンザの流行時期に入るので、外出控えが強くなることが予想される。デリバリー業、ネット販売業は上向きになるが、それ以外については平行若しくは下降ラインを描くことになり、社会全体の変化はないと推察する。
		通信会社(営業担当)	・すぐに好転するような材料に乏しい。
		通信会社(営業担当)	・放送、通信共に使用頻度が上がっているため、解約者が大幅に減少している。個人消費は伸びているが、飲食店などの店舗での利用者は若干であるが減っている。新規サービスエリアからの加入者は順調に伸びているので、全体としては現状維持が続くと予測している。
		観光名所(職員)	・やはり景気の回復に関しては観光業が最後に回ってくるのではないかと。政府のGo To Travelキャンペーンは全く何をやっているのか分からないような状況で、関東方面の客、特に東京由来の客が少なすぎて、なかなかその効果が現れていない。この状況が続く限り、明るい兆しは見えてこない。特に、商品管理、発注管理、賞味期限の管理と管理に回る労力が大きく、売上よりも店をどう維持していくのが大切になってきている。大変厳しい状況は変わらない。
		観光名所(職員)	・早々に新型コロナウイルスの影響が軽減されるとは考えにくく、この状態はしばらく続くとみている。
		競艇場(職員)	・営業再開してから徐々に前年並みの売上が戻ってきている。しかし、特段イベントなどを計画しているわけでもないため、今の売上がキープするのがやっととみている。
		美容室(経営者)	・前月、今月と来客数は前年比85%くらいである。新型コロナウイルスワクチン開発のめどが立たない限り、この状況はしばらく続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・8月以降、県内の新型コロナウイルス感染者数が増加している。Go To Travelキャンペーンで景気が回復基調に進むとみていたが、足踏み状態で厳しい状況が続くことが予想される。
		商店街（代表者）	・寒くなると新型コロナウイルス感染の拡大が心配である。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・飲食店が良くなると景気は良くなる。
		スーパー（経営者）	・Go To Travelキャンペーンやお盆の帰省の影響が県内り患者の増加という形で少しずつ出てきている。来店頻度が下がっており、まとめ買いもそれほど多くない。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス禍のなかで外出自粛や買物回数を控える傾向は継続するとみている。また、新型コロナウイルスの影響で個人収入が減少し消費が冷え込むことが想定されるので、今後の景気はやや悪くなると予想される。
		スーパー（営業担当）	・大雨の影響、青果物の不作、観光客の減少が地域経済に負の影響をもたらす。食費への支出は緊縮に転じ、価格競争が激化するのではないかと懸念している。
		コンビニ（エリア担当）	・10月のたばこ増税前の駆け込み需要で9月の売上は上昇する。しかし、10月以降のたばこ販売数減少により、来客数減少が想定される。
		コンビニ（店長）	・影響を受けていない業界もあるようだが、失業している方も大分増えてきているようである。また、イベントがないので特に土日が大変である。
		衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言の解除前までは相対的に来客数は悪くはなかったが、解除以降は緩やかに下降してきている。新型コロナウイルスの感染状況や認識が変わっていった、世の中がもう少し動き回ろうという動きにならない限りは上向きになる要素はない。7月上旬ころから下降気味になってきている。
		家電量販店（店長）	・上半期は新型コロナウイルスパブル、いわゆる給付金での底上げ、猛暑でのエアコン需要などが寄与して売上が上がった。しかし、年末に向けて、暖房商品が売れるまでの時期は景気も含めてやや悪くなるとみている。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス感染の拡大が予想され、それにより緊急事態宣言発令も考えられるため、来客数が伸びる可能性は低い。
		家電量販店（従業員）	・6～8月のプラスの分、9～11月は反動減が出ることが予測される。あとは政府の経済対策の効果によって変わってくる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で冬のボーナスが出ないという法人が出てきていることで、個人の買い控えが増えてきている。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスで商店街が閉まっているところがある。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・県内での新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、自粛の動きが出てくることが予想される。
		高級レストラン（支配人）	・新型コロナウイルス感染者数が多くなると利用控えが増えてくる。大きいパーティーが入ってこないというのが現状なので、このまま小パーティーのみの集客になる。大きいパーティーが入るまで悪い状況は続き、さらに、小パーティーの需要もどんどん悪くなると予想される。
		通信会社（営業担当）	・大学のオンライン授業も後期が決定しており、関連している業種も厳しい状況で体力勝負になっている。中小企業においては、柔軟な経営方針の転換と方向性が見えないため先行きはやや悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響でますます悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・現在の新型コロナウイルスの発生状況や地域企業の動向を考慮すると、地域の景気は悪化することが予想される。
		遊園地（経営者）	・一部団体客が戻ってきてくれる期待はあるが、新型コロナウイルス第3波となれば厳しい。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・お盆や夏休みで全国に拡散してしまった新型コロナウイルスが、今後どのように落ち着いていくのかによる。
		設計事務所（経営者）	・官公庁発注案件が減少している。また、オフィスビルやインバウンド関係の民間建築の中止や延期が続いており、全体的な建物需要が減少している。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・特別定額給付金の特需効果がなくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他住宅投資の動向を把握できる者（住宅展示場運営会社）	・イベントの実施が難しく、客の滞在時間、全体の来場者数が減少すると予想している。
	×	商店街（代表者）	・8月の売上状況が下降気味になってきている。その後の資金繰りなどのため9月はかなり悪くなるとみている。また、企業関係もほとんど動いてこないで、かなり悪くなると予想している。
	×	商店街（代表者）	・秋の恒例行事の中止も決まっている。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・現首相の退任が報道されている。首相の経済政策は厳しい状況のなかでバランスの取れたものだった。今後の政策担当者に対する不安が表面化した場合や現実にバランスを欠いた施策がされた場合には、国内経済は一気に難しい局面となるのではないかと。外交上の不安も悪影響となるだろう。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス禍で雇用が不安定になり、なおかつ可処分所得が減少し、酒税やたばこ税が増税になるという状況のなかで、消費者心理は極めて冷え込むと予想される。また、人の移動もまだ制限されているためになかなか金が回らない。
	×	コンビニ（店長）	・秋から冬に向かうなか、新型コロナウイルス感染拡大の不安感が強まる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しなければ夜の街全体が元には戻らない。将来の予測が全然できない。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン開発、治療法の確立がない限り、来客数激減の状態は永遠に続く。
	×	一般レストラン（経営者）	・農業従事者が多いエリアなので、例年お盆が過ぎると米や果樹の世話に追われて外食は少なくなる。約3か月の間、夜の部は暇になってしまう。
	×	観光型ホテル（経営者）	・例年であればこれから団体旅行のシーズンに入るが、今年は新型コロナの影響で見込めない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息がみえず、対人の仕事は先々の展望が全くない状況である。
	×	通信会社（営業担当）	・今後、冬季シーズンに向け新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの大流行が予想され、緊急事態宣言が発出されれば現状よりももっと景気は悪化すると予想している。
	×	テーマパーク（職員）	・取引先もかなり苦勞している。下期は通年上期よりも全てにおいて低くなるので、景気において期待できない。
企業動向関連 (東北)		農林水産業（従業者）	・8月の天候が良かったので、果物は全般的に甘みもあり品質が良くなっている。これからの果物販売単価に、8月同様に期待が持てる。
		食料品製造業（経営者）	・小中学校の修学旅行の予約が入っていることや、仕事による出張者が少しずつ回復していることにより、土産や飲食の需要を見込んでいる。
		金属製品製造業（経営者）	・受注は上向いてきたが、一方で新型コロナウイルスの影響が地方にも始めている。地元でも感染が拡大し、感染の不安から外出を控える人が増えている。景気が良くなってほしいが、感染拡大で一気に落ち込む可能性もある。
		建設業（従業員）	・公共工事はコンスタントに出件しており、一方で契約までに遅れが生じていた民間案件も、徐々に契約までの道筋が見えてきている。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がなくなる限り、景気の悪い状況に変わりはない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・12月のイベントの中止が決まっており、当分は厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息し経済が回復するのは、年単位で先の話になるとみている。
		建設業（企画担当）	・新型コロナウイルスに対するワクチンや特効薬が開発されない限り、景気状況が劇的に回復することはないと推察する。しかし、業種によっては回復基調となっており、景気としては現状と大きく変わらないのではないかとみている。
		通信業（営業担当）	・電子媒体等を駆使して間を空けずに、継続して客との接触を試みるようにしていく。
		通信業（営業担当）	・働き方改革推進支援助成金の影響でテレワーク環境構築を考える取引先は増えたが、助成金の条件などからなかなか受注には至らないケースが多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス禍の影響は現状水準が維持されるものと見込まれ、小売業、飲食業にも客足は戻りつつある。一方で、観光業、宿泊業は大規模な夏祭りが中止された負の影響をリカバーしきれないまま推移するものとみている。
		広告業協会（役員）	・秋冬の新型コロナウイルス感染状況が見通せないなかで、ウィズコロナで販売促進キャンペーンを計画するも、手探り状態で、実施に二の足を踏む企業も多く見受けられる。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が長引くことが予想される。
		経営コンサルタント	・各種給付金、交付金の効力がはげ落ちる時期になり、体力の乏しい企業にとっては正念場となる。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・出張や旅行などによる県外からの人の流入は見込めない。また、県内在住者も旅行や外食を控える傾向は変わらない。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・依然として同業他社との価格、納期競争が続いており、厳しさが増している。当然受注案件が薄く、雇用調整が続いている。
		農林水産業（従業者）	・長雨の後の猛暑と厳しい日照りにより、作物が生育不良になっている。
		食料品製造業（経営者）	・9月からは秋の観光の土産需要があるが、新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続くと予想される。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・新型コロナウイルス感染予防のため、飲食業への人出が減少したままとなっていて、その影響で不景気が続いている。広告や印刷物への投資が減ったままで、全産業の低迷が続くそうである。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・米中貿易摩擦の影響が改善する兆しが見えない。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえない限り、厳しい状況が続く。
		広告代理店（経営者）	・年末に向かって新型コロナウイルス禍が拡大した場合には、更に受注が減ることが予想される。また、この状況の改善要素が全く見当たらない。
		司法書士	・新型コロナウイルス禍で住宅展示場の来客数は減り、販売戸数も伸びていないとのことである。
		公認会計士	・新型コロナウイルスが落ち着かないと、持続化給付金等の国の援助があったとしても一時的で、飲食や小売関係の業績回復は厳しい。店仕舞をする企業が増加し、全体としての景気は悪化するとみている。
		コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、先行きが見通せない状況である。仕入先も営業時間の短縮や、配送コストの見直しなど厳しい条件が増えつつある。新たな環境下で売上拡大を考えないと、このままジリ貧になっていく可能性がある。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・住宅は契約まで長丁場なので、今の出足だと数の確保が極めて難しい。踏ん切りの付かない見込み客の中には新型コロナウイルスのせいだと話す人もいるが、それがあながち逃げ口上だとは思えない。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・公共工事、民間需要も低調で、東北全体として7年連続前年実績割れは確実な状況である。コストが上昇しているが価格に反映されていない。物価は上がるが所得が上がらないので消費も低調である。新型コロナウイルスの感染拡大による自粛ムードも影響している。
	×	輸送業（経営者）	・元々主要製造業取引先の場合は一昨年から減産をしていたが、新型コロナウイルスの影響を受け更に減産をするという、ダブルパンチを受けたような状況である。その他の貨物の売上減はほとんど新型コロナウイルスの影響とみている。ワクチンを接種できる状況にならないと、景気回復は難しいのではないかと。
	×	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスに対する不安が相当強く、なかなか外に出て自由に買物できないといったことが一般的にいわれているが、実際、新型コロナウイルス感染が収束するまで購買力が増すことはない。
雇用 関連			
		人材派遣会社（社員）	・求人数、求職者数共に増加が見込める。
(東北)		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響に底打ち感があるため、緩やかに回復していくと予測している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・当面、9月末の契約継続に全社挙げて注力している。新型コロナウイルス禍の中途解約は止まったので、いかに減少幅を最小にするかに集中している。現状維持が目下の目標となる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス禍に好転の兆しが見えない限り、変わらないか、むしろ悪くなる。求人が必要とする業種は限られており、求人がどんどん増えていく見込みがない。ワクチンができるまでは変わらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内のほぼ全てのエリアにおいて、秋口の祭りやマラソン大会などのイベントの取りやめが多く、低迷ムードは年内一杯続きそうである。新型コロナウイルスのワクチンや薬などの開発が早まらなければ、第3波の可能性も否定できず、上向き要素が見当たらない。
		職業安定所（職員）	・企業は特例措置が拡充された雇用調整助成金を活用して、失業予備軍といわれる休職者の解雇を何とかしのいでいるといった印象が強い。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の申請数が減るか増えるかは分からないが、各社とも雇用調整は行っている。
		学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続く、若しくは拡大する可能性があるため、景気の低迷はこのまま続くとして予測している。
		人材派遣会社（社員）	・サービス業や飲食業の業績が戻らず、店舗などを閉める動きが出てきている。店舗を閉めることによって人員が余り、雇用が生まれなくなっている。また、建設業も先の受注が細まっているので、新しく人を採用するという動きは見られない。よって、今後は今よりも少し悪くなる見通しである。
		人材派遣会社（社員）	・求職者の動向も、派遣社員受入枠のこれ以上の増加が果たしてあるのかについても、新型コロナウイルスの影響で不鮮明感が増している。
		アウトソーシング企業（社員）	・現状、新型コロナウイルスの影響がまだまだある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人業種の主流である流通、観光、サービス等の業種は接客が基本であるため、ウィズコロナの時代にどこまで耐えられるのか、正念場を迎えている。国のGo To Travelキャンペーン政策に頼るところが大きいが、回復までには至らず、求人数の低迷は廃業も増えればますます深刻になることが予想される。
		職業安定所（職員）	・助成金などの申請手続をしているものの、受注や売上減少が続いて雇用調整をせざるを得ない企業が出てきている。
		職業安定所（職員）	・建設業等の一部の業種を除いて、ほとんどの業種で求人数の減少傾向が続いている。この傾向はしばらく変わらないと予測している。
	×	人材派遣会社（社員）	・現状改善の兆しが見えない。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)		-	-
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が落ち着けば、来客数は戻るとみているが、宴会予約が取れないのが痛手である。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が甚大にならないという前提条件は付くが、社員食堂、福祉施設、幼稚園、保育園等の各業態とも、提供食数は増加傾向が続いており、元の状態に戻りつつある。レストランの戻りは鈍いが、テイクアウトメニューの充実や配送業者の登録先増加により、店舗の売上を一部なりとも補填してくれようと考えている。
		都市型ホテル（副支配人）	・小規模団体やスポーツ、レース関係の予約が入ってきている。ビジネス客はほとんどが直前予約である。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスと共存していくというWithコロナの考え方が浸透してきている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数の減少が見えつつあるため、今後は改善が見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（総務担当）	・新型機種が発売予定である。新型機種に反応する若い世代は買物に出掛けることに対して、新型コロナウイルスの影響を受けにくいと、やや良くなる。
		設計事務所（所長）	・次期総理の影響も考えられるが、新型コロナウイルス感染者の減少やワクチンの普及を鑑み、景気は上向きになると予想する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の再拡大で、外に出掛けようとしていない高齢者が増えてきている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・秋になるので暑さはなくなるとみている。地域の諸行事の復活が、人々の動きを良くしてくれるのではないかと。しかし、新型コロナウイルスが収束するかどうかは疑問である。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・取引先のうち、規模の大きい結婚式場やホテル等は、新型コロナウイルスが完全に収束しない限り、結婚式や宴会等がないため、元には戻らない。後は、新型コロナウイルスがどこまで広がっていくのか、それとも収束していくのかによって、売上が変わってくる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明ななか、当面の景況回復は期待できない。外出自粛ムードが続けば、基幹商材である衣料品の不振が継続する。
		百貨店（営業担当）	・当県では、ここにきて新規感染者数ゼロの日がほぼなく、戦々恐々とした日々が続いている。店全体では客単価、商品単価共に下落しており、特に、非食品群の落ち込みが激しい。今後も余り変わらない状況が続く。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの影響は変わらない。
		スーパー（商品部担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、コロナ禍の影響が薄まらない状況は、この先も変わらない。厳しい現状が大きく変化するとは思えない。
		コンビニ（経営者）	・来客数は今より減ると思うが、客単価は上がるとみえており、どちらとも言えないというのが、正直な回答である。また、今以上に新型コロナウイルスが感染拡大し、いろいろな制限が出されると、景気は悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着くかどうかで、決まってくる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスが収まらない限り、この状況は余り変わらない。
		家電量販店（店長）	・家電業界は季節に左右されやすいため、変わらない。
		家電量販店（店員）	・巣籠り需要が続けば、耐久消費財の冷蔵庫や洗濯機、掃除機、電子レンジや炊飯器等が、好調を維持する。
		乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーでは、北米向けの輸出が新型コロナウイルス流行前の状態に戻り始めており、生産体制も原状復帰しつつあるので希望が持てる。一方で、新型コロナウイルスの発症者が確実に増えてきているため、合会等の外出の機会が減り、レストラン等の落ち込みが激しい。業績が良いのは、食料品スーパーなどの一部業種だけである。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの状況のなかで、これ以上良くなることはあり得ない。客の様子が全く違い、販売が伸びると思わない。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスが今後2～3か月先で落ち着く保証がない。コロナ禍が落ち着くまでは現状と同じくらいの景気の悪さで推移していくのではないかと。当社は、観光地に立地する会社なので、2～3か月先に観光客が全盛期まで戻るとはほばない上に、半分程度まで回復する目安もないので、変わらない。
		自動車備品販売店（経営者）	・消費税増税ではかなり落ち込んで、それまでの流れが変わってしまった。そこからやっと回復したところで新型コロナウイルスが流行し、やはり販売、修理の量が減ったが、現在はやや回復基調にある。先に向かっては、客も慎重なので、それほど急な売上増は期待できない。様子見の状態である。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・地方でも新型コロナウイルス感染の第2波になっているので、現状のままの生活が続くそうであり、今後も変わらない。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・社会情勢を考えても、良い判断材料がない。
		一般レストラン（経営者）	・いまだ新型コロナウイルスの流行が収束していない上に、感染拡大の第3波が来るかもしれないという危機感を感じている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波を受けて、宴会売上は、引き続き前年の20%程度にとどまっている。7月は回復の兆しが見えた宿泊も、東京都の感染者数が増えるにつれてキャンセルが発生したり、予約の伸びが止まったりしている。最終的に55%程度の稼働率を見込んでいたところが、45%で終わりそうである。
		都市型ホテル（営業担当）	・2～3か月後に新型コロナウイルスの状況がどう推移し収束するか、今のところ不透明である。空気が乾燥する時期に向かい、インフルエンザ等ほかの感染症との関連もあるので、なかなかビジネスの出張やレジャーでの宿泊は懸念されるところである。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、旅行需要が見込めない。
		旅行代理店（所長）	・秋の繁忙期となるが、メインである団体や学生の需要に期待ができない。せめて、個人需要だけでも伸びてほしい。
		通信会社（経営者）	・当地では新型コロナウイルスが、市中感染というほど感染者が増えているわけではないため、現状、大きな売上減とはなっていない。今後、地方の感染者が増えるようだと影響は出てくるかもしれない。
		通信会社（局長）	・新しい生活様式が手探りのため、安心した生活に戻るまでは、通常の消費行動は取りにくい。
		ゴルフ場（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者数の動向次第だが、現状程度で推移するとみている。
		競輪場（職員）	・全国の販売レースもほぼ同様に推移している。
		設計事務所（所長）	・現状がしばらくは維持されるのではないかと。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するか、収束する目安が出ない限りは良くならない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスで、この先どうなるか分からない業種もあるので、何とも言えない。悪くなっていくのではないかと。消費税は元の税率に戻してもらわないと消費は増えない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・冬に向かって新型コロナウイルスが猛威を振るい始めると、たとえ公的機関が緊急事態宣言を出さなくても、観光客は今よりも減るのではないかと。2～3か月先の学校や団体旅行のキャンセルが相次いでいるため、景気回復は相当先ではないかと考えている。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が想像以上に長引いており、当店を含めた地域のイベントが、中止若しくは大幅な内容縮小となっている。
		コンビニ（経営者）	・これから冬に向かって、新型コロナウイルス感染の第3波の恐れがあり、再び消費が冷え込むのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は少しずつ和らいでいる感じがしており、昼の来客数が戻りつつある。しかし、店舗前の道路工事が完了する3月までは、回復は望めない。片側2車線が1車線となり、渋滞することも多く、店への車の出入りを大きく阻害している。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスにかかわらず、8月がまあまあの成果であったのは、真夏日の連続で飲物と暑さ対応商材が非常に売れた結果である。今後は続かない。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスのなかで、首相の辞任による内閣改造となる。問題山積みで、次期総理大臣のリーダーシップや政策によって、経済が持ちこたえられれば良いと思うが、現実にはそう簡単ではない。
		衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスの感染予防が始まって約半年、これから先、収束がいつになるのか分からない状態である。現在は夏祭り等の時期であるが、それぞれ中止ということで、祭礼用品を取り扱う当店の売上は前年の80%ダウンという状況である。早く収束してほしい。
		住関連専門店（仕入担当）	・先行きは不透明で読みにくいが、先行きに対する不安は節約志向を呼び起こし、デフレの流れを徐々に感じている。特に、前年9月は消費税増税前の駆け込み需要があったため、前年との比較ではマイナスとなる予測である。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬は、いまだ出てきていない。この冬はインフルエンザとのダブル流行が懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・依然として、客が戻ってくる様子がない。従来の顧客は「外に出ることに罪悪感がある」と話している。そうしたことから、売上や集客が増えることは望めない。
		テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが開始されたものの、期待していた夏季繁忙期とはならず、好天でも閑散期のような状況で、今後に期待が持てない。客も自粛ムードのなかでは旅行に行ってきた話もできないため、土産用の箱菓子類の販売が伸びない。入場者数と売上の減少に苦慮するとみている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・県内の新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続いているため、3か月後はまだ悪い状況なのではないか。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善されない限り、回復は見込めない。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・人が動かなくなるということは、当然お金も動かなくなるということである。日を追うごとに、悪い状況が拡大傾向にあり、倍々ゲームのような形で悪くなっていくのではないかと感じている。人とお金が循環しない限り、更にひどい状況になっていく。
	×	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響は今後も継続すると予測される。東京オリンピック開催も中止になる可能性があり、打開策がない。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルスの先が見通せないなかで、大幅な減少が続いている。今後もこの状況が更に続くのではないかと。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がみえない。当県では感染者数が増加傾向にある。
	×	タクシー運転手	・来県者がいなければ需要が増えない。悪くなる一方である。
	×	タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが悪いので、この先も悪い。
	×	タクシー（役員）	・国の施策が余りにもひどいので、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの終息はみえず、地方の低迷は止まるどころか悪化を続けている。コロナ対策の補助事業の申請も続けているが、焼け石に水である。終息宣言があったとして、世の中の動きが通常に戻ることはないだろう。新しい生活への対応が急務である。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響や、内閣総理大臣が変わるので、先行きは不透明である。
	×	美容室（経営者）	・米中の狭間で漂い、方向性のないちぐはぐな国の政策に人々の不満が募っている。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-
		化学工業（経営者）	・余り良くない状況だが、引き合いや受注が確定した物件も出始めているので今よりは良くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で止まっていた新規案件も動き始めている。緊急事態宣言のような形で経済を止める動きが出なければ、徐々に良くなっていく。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現状の受注量からみても、先行きの販売は増加する。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・前年同期より売上は良い。
		金属製品製造業（経営者）	・仕事が多くなるように日々努力して、得意先などを回っているが、先のことは全く分からない。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスによる自粛ムードが高まっている。人の移動を2～3週間厳しく規制し、その間に感染者の検査と隔離を徹底し、その後は自由移動にするのはどうか。だからと自粛が続くと経済が崩壊する。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月では回復しない。得意先5～6社はいずれも受注量、販売量が落ち込んでおり、この先も現状のまま、仕事量は少ないとみている。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、まだ残ると考える。
		建設業（開発担当）	・現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。前政権時は「コンクリートから人」へのキャッチフレーズで、建設業は悪者扱いされていた。近年の気候変動で、日本全国で大雨による災害が発生している。災害復旧を担う建設業者は大事な仕事だと自負している。ただし、建設業は高齢化が進んでおり、従業員の確保が難しくなっている。経営も10年以上厳しい状況が続いている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（営業担当）	・例年は秋冬物家電のヒーター、電気カーペット等の暖房器具が動き出すが、今年は残暑も厳しくなる予想のため、少し遅れそうで、月半ばまでは物量確保がやや心配される。
		不動産業（管理担当）	・取引先から契約金額を下げたいという話が多く、安い価格の同業他社に仕事を取られてしまうこともあるため、今後も悪い状態が続くとみている。
		経営コンサルタント	・今と同じように、社会全体、特に、マスコミ等が新型コロナウイルスに関心を持ち続けた対応行動をした場合、感染者の増減にかかわらず、地域経済は委縮し、出口を見つけられず、停滞を余儀なくされる。今後は資金繰りに持ちこたえられなくなった中小零細企業の存続が危ぶまれ、更に破産や自主廃業が続出する可能性が高くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの影響について、取引先もまだ見極められない状況だと言っている。
		建設業（総務担当）	・民間の仕事が軒並み延期や見送りとなっているため、先行きが不安である。
		広告代理店（営業担当）	・商業施設、観光地共に、客足が戻る気配がなく、既に経営が成り立たなくなっている中小零細企業が増えている。
		司法書士	・客の様子を見ていても、積極的に動いている方はほとんどいないので、今後3か月くらいでは、回復の兆しは見えないのではないか。
		社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチンができるなど、先が見えてくれば、お金を使うだろうが、そうでない場合は冬のボーナスは支給減と予想されるため、財布のひもは固くなりそうな気がする。
		x	電気機械器具製造業（経営者）
雇用 関連 (北関東)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染者数は現在は非常に多いが、いずれ頭打ちになるだろうという予測もあってか、予約状況は以前よりも改善傾向にある。当市の観光施設や宿泊施設については、2～3か月先は徐々に改善するのではないかと。
		人材派遣会社（管理担当）	・秋からは自動車部品の生産計画が増えて、休業等が少なくなる見込みのため、やや良くなる。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の特例期間延長により、雇用の維持が見込まれる。
		人材派遣会社（経営者）	・中小小売店等の部門では、野菜、衣料品、猛暑のための家電等、今後の売上の伸びが期待できる。人手については調達力が弱いのか、採用内容は不明ではあるが、幾分活気が出てくると思われる。学校も始まっているので、食が優先になり、購買力も上がる。
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、これから先どういうふうになるか全然読めない。非常に心配している。
		人材派遣会社（社員）	・業種にもよるが、業績悪化で正社員の新規求人が増える見込みはない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスの収束がみえない。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は1.01倍と前月に比べ0.05ポイント改善したが、依然として、新型コロナウイルス関連の影響で、雇用調整助成金を活用し、休業を行いながら雇用の維持を図っている事業所が多い状況が続いている。
	x	*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がだんだん減っていき、これから良くなる（東京都）。
		百貨店（売場主任）	・全体的には、お歳暮ギフトもお中元同様、前年の売上を取れると思っている。上期は行っていない北海道物産展も、展開をしていく。さらに、オンラインが非常に伸びているので、これらを加味して、今よりも良くなっていくのではないかと（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（販売促進担当）	・ 2～3か月後は10～11月になる。春の修学旅行が秋に延期になっている分と、従来の秋の修学旅行が実施される予定なので、その数字が全体を支える。一方で一般の団体客は厳しい。唯一良い国内個人旅行については、Go Toキャンペーン開始から1か月を経過したが、予想に反し思わしくない。その分を割り引いても、今月に比べれば修学旅行分がプラスになるので、良くなる（東京都）。
		商店街（代表者）	・ 今までの状況では商売の継続が全く不可能で、補助金があつて何とかやっている状態である。今後補助金がなくなれば、自助努力でやらなければならない。飲食店、物販等は大きなダメージがあつたが、これを少しでも改善できないと、当商店街も含めて、将来が見えない。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・ 新型コロナウイルスの影響で在宅勤務の人が増え、家電製品の買換えが進んでいるように感じる。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・ 外商部門の客で、今までテレワークや緊急事態宣言の影響でストップしていた大型のリニューアルや買換えといった大口の案件が、やっと9月頃から再開できそうである。そのような案件が少しずつ出てきていること、また、補助金を使ったビジネスの提案がうまくいっていることもあるので、若干持ち直すのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・ 新たな日常生活が浸透しつつあり、過度な自粛は減少すると想定している。働き方も変化し、テレワーク関連商材や衛生商材といった分野の売上増に期待する（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・ 新型コロナウイルスの影響が続くなか、客に安心安全を感じてもらうため、新たな来店動員策を打ち出していく。複数の販路の選択肢を求める消費者の声にも対応する新たなサービスも動きを見せ始めているため、期待している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・ 衣料品の傾向値は変わらないかもしれないが、食料品やリビングに関しては、秋の味覚やステイホームで楽しむハロウィーンなど、商機につながるトピックスがある（東京都）。
		スーパー（販売促進担当）	・ 新型コロナウイルスの影響が続いているため、巣籠り需要が更に拡大していくと考えられる。
		スーパー（ネット宅配担当）	・ 新型コロナウイルスの影響による飲食業界の不振は更に悪化すると予想されている。レジャーや飲食の回復にはまだまだ時間が必要であり、家庭内での飲食需要の高まりは当面継続されるとみている。
		コンビニ（経営者）	・ コンビニは飲食ほど下がってはいないが、やはり来客数は前年より10%程度落ちている。冬になり、少しずつ新型コロナウイルスの感染者数が減ってくれば、景気も良くなっていくのではないかと。
		乗用車販売店（店長代行）	・ 徐々にではあるが来客数も増えてきているので、新型コロナウイルスが収束すれば元の状態に戻る（東京都）。
		乗用車販売店（店長）	・ 新型コロナウイルスの影響により、自家用車を利用する機会が増えたことによって、自動車の買換え需要が増加している。
		その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・ 新型コロナウイルス感染第2波の感染者数推移をみると、緩やかではあるが減少している。また、9月からの外国人在留資格者の再入国も方針が固まってきたことなどから、少しずつ都心への来街者数も増加してくるものと思われる（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・ 今後新型コロナウイルスも落ち着き、人の動きが活発になるとみている（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 新型コロナウイルスの影響次第だが、現状ではGo Toキャンペーンの動きが期待できるため、徐々に良くなっていく。
		旅行代理店（営業担当）	・ まだまだ先行きは不透明だが、10～11月頃になると新型コロナウイルス感染が沈静化してきて、旅行需要が徐々に戻ってきそうな予感がする。
		旅行代理店（総務担当）	・ 新型コロナウイルスの影響が残るものの、Go To Travelキャンペーンによる旅行需要の喚起を期待している。可能であれば、期限を1月末でなく来年度まで延長することを熱望する（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・2021年内に数億～10億回分の新型コロナウイルスのワクチンが利用できるというニュースがあるようである。楽観視はできないが、期待を膨らませて、経済も多少良い方向に向かうのではないかと（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの心理に与える影響が落ち着いて、従来の消費を取り戻す（東京都）。
		通信会社（社員）	・自粛の影響が少し変化して、様々な活動が増えると予想している。スポンサーの活動も復活している（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・Withコロナが浸透してきているように見受けられるので、徐々にではあるが経済が回り始めているように感じる（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・日本人は復活する。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルスに対する治療薬やワクチン完成の期待感が高まる一方、感染者数のピークアウトが垣間見えるなか、新型コロナウイルスに対する不安がやや落ち着き始め、経済活動が徐々に動き出す雰囲気である。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・新型コロナウイルスの感染防止は国民にとって最大の関心事であることに変わりはない。しかしながら、どのように行動すれば感染リスクを減らせるかということへの理解度が深まり、いわゆる「正しく恐れる」ことがますますできるようになっていく（東京都）。
		その他住宅[住宅資材]（営業）	・新型コロナウイルスの影響が少なくなってきている。これから動き出す情報が増えてきているので、期待ができる（東京都）。
		商店街（代表者）	・急浮上というのではない。ただし、Withコロナで、新型コロナウイルスの影響があるなかでどのように経済を回していくべきかは、政府も市井も学んでいっている。このぎりぎりの線を保つというのが現実的なところである（東京都）。
		一般小売店[和菓子]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続くのではないかと。
		一般小売店[印章]（経営者）	・市ではプレミアム付商品券を9月1日から販売する。応募期間が9～10月上旬、総額24億円で、使用は12月からである。これに期待をかけるしかない。
		一般小売店[祭用品]（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着いて、イベント、祭事が解禁されないと、状況は変わらない。
		一般小売店[文房具]（経営者）	・夏休みが短縮されたこともあり、学用品を中心に販売量が回復してきている。近隣小中学校は現在も通常の授業体制ではないため、自宅学習の割合、文房具の使用量も増え、購入金額がやや増加傾向にある。しかしながら、飲食店の景気が回復していないため、会計伝票や領収書などの業務向け商材の売上は伸び悩んでいる（東京都）。
		一般小売店[茶]（営業担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かないと正常にはならない（東京都）。
		百貨店（売場主任）	・来客数、売上共に前月と余り変わらない推移のため、新型コロナウイルスが収束に向かう兆しがなければ、状況が変わることはない（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・売上増を見込む店舗としての特殊要因はあるものの、厳しい状況は継続する。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行き不透明な状態が続いている間は、景気の上昇機運は生まれてこないのではないかと。消費者の意識や行動が大きく変化するなかで、景気を良くするためには、販売側の対応も変化を問われる環境だと感じている（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・前年は9月末まで消費税増税前の駆け込み需要があったため、前年比で厳しい状況は続く。10月以降は好転する可能性はあるが、新型コロナウイルスの感染状況次第では厳しい状況が続く（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・向こう2～3か月で急速に新型コロナウイルスのワクチンが普及するなど、現状のフェーズから状況が好転する要素が見当たらない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・シーズンの切替えなので期待したいが、新型コロナウイルス感染の収束が見えないと、百貨店の強みである「晴れの日需要」が戻っていないので、回復の期待は薄い（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・日々状況が変化していくなか、新しい生活様式がどのような形で定着していくのか全く見えてこない。この先、秋に向けて、インフルエンザの流行期と重なり、更なる状況の悪化も懸念される（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・回復しつつあった来客数も、都内の感染者数が減少しないことなどから、外出を控える傾向に戻ったことに加え、猛暑の影響もあり、来客数が少ない。今後2～3か月も同様の傾向が続く。前年の秋は消費税増税があったが、新型コロナウイルスの影響により、増税反動分の回復は難しい。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染第2波が一旦落ち着き、来客数が多少増え、購買も伸びるだろうとみている。ただし、小売業である当社としては、取引先で商材が生産され、まともに入ってくるのか、また、実際に入ってきたとしても、在宅勤務でコートなど秋冬商戦の稼ぎ柱に与えるマイナス影響が大きいのではないかと考えている（東京都）。
		百貨店（店長）	・秋に向かう時期で、商況は新型コロナウイルスの収束次第である（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・新型コロナウイルスの影響による生活不安は払拭できず、比較的高齢者の来店比率の高い当店では、引き続き客が不要不急の外出並びに購買を控えると予想している。また、仕入先も業績悪化により、商品供給が前年以下となることが容易に想定され、即好転は望めない。
		百貨店（副店長）	・分からないというのが正直なところだが、新型コロナウイルスの感染状況や、ワクチンの開発状況に大きく左右される。いずれにせよ、アパレルは厳しく、食品が好調というトレンドは変わらない（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・競合との価格競争があり、商品の平均単価が下がる傾向にある。買上点数は前年を上回っているが、平均単価が下がっている分、客1人当たりのトータルの買上額が前年を上回らない状況が続いている（東京都）。
		スーパー（経営者）	・8月は帰省客が少なかったため、売上は多少悪くなっている。ただし、9月になれば、また今までどおりになると思うので、景気も今までどおりになる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、巣籠り生活はずっと続いていく。したがって、食品スーパーマーケットは、通常の食料品を普通に買ってもらっているので、3か月先も今と変わらずにいくと推測している（東京都）。
		スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、価格志向は変わらない。新型コロナウイルスの影響も長引いているので、元に戻るまでは同様の状態がしばらく続く（東京都）。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの影響による自粛ムードが変わらない限り、内食需要が落ちることはない。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響がこれからも続く想定されるので、衣料、住まいの品に関しては、来客数が大体8掛けのまま推移すると思われる。食品に関してはほぼ前年並みの来客数で、客単価も1割ほど上がっていることから、トータルで5%くらい売上が伸びると想定している。ただし、客の購買意欲が高まったの売上増ではないため、先行きを非常に心配している。
		スーパー（営業担当）	・このところの内食化の定着により販売量は伸びているものの、生活防衛のためか、買上単価の下落が気になるところである（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数は減少しているが、客単価はまだ上がるとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、来客数、客単価共に大きな変化は考えにくい。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況や国際情勢など、いろいろあり、正直なところ分からない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまでは、厳しい状況が続くそうである。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響から、売上のベースが落ちて戻ってきていない。停滞している状況が続く（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの収束が全くみえてこない（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・変わらないとしたが、実際のところ分からないというのが現状である。当店のような物販に関しては、新型コロナウイルスの影響が続くなかで、いつまで、あるいはどこまで我慢すればいいのか先がみえない。この低い状態のままが続くのか、秋から景気が回復していくのかという期待感もある。何しろ収束がみえない限り、普通の物販店は難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスへの対応として、ホームファッション等のアイテムを開発し販売するものの、早期の実績には結び付いていない。新型コロナウイルスが収束に向かうことで、徐々に業績回復につながるとみている（東京都）。
		衣料品専門店（統括）	・今後リモートワークが増え、また、就職活動などの需要が減り、来客数が大幅に改善されるとは今のところ思えない。
		衣料品専門店（役員）	・客は、旅行等の本格的な外出はまだまだ控えるだろうし、衣料品に関しては本当に必要な物以外の需要は見込めない。
		家電量販店（店長）	・年末に向けて、本来の需要は戻る。しかし、店頭販売ではなくインターネットのウエイトが更に高まるとみている。新しい販売スタイルを構築した企業が有利な展開となる。広告宣伝費の削減による販管費を新規投資へ回す必要がある（東京都）。
		家電量販店（店長）	・家電製品は生活必需品のため、壊れたら買い換えるので、一定数は買換えで売れる。現時点では単価が下がっているが、この状態はしばらく続く（東京都）。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で読めない部分が多く、流動的ではある。今後、新型コロナウイルスが拡大するか収束に向かうかで状況が一変する。
		家電量販店（経営企画担当）	・新型コロナウイルスを前提とした環境が続く（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は、来客数は結構あるものの、なかなか成約に結び付いていない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス対策をしっかりとしているので、来客数と販売量が前年並みになってきている。
		乗用車販売店（営業担当）	・まだ新型コロナウイルスの風評被害的なことが多く、買換えを渋る客が絶えない。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないことには景気は良くならない。我々も出張があるが、相手先企業によっては来ないでほしいと拒絶されたりする。ワクチンができて、確実に治る病気になれば、景気も落ち着いてくるだろうが、現状では2～3か月先に景気が良くなると思わない。飽くまでも現状維持程度と思っている（東京都）。
		乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルスの影響により客の購買動向が不透明である。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で消費の落ち込みを実感しているが、ここに来てやや持ち直しの気配が感じられる。これが底を脱したものの一時的なものかは判断が難しく、今後の経緯を注視していきたい（東京都）。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により全く予測がつかない。秋以降、感染が再拡大したら、ドラッグストアと調剤薬局の数字がもっと二極化する。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	・商材の動きが鈍いように感じる。消毒薬や体温計など、健康維持のための商材がまだ品切れで入ってこないということが理由の1つであると思っている。
		その他専門店【貴金属】（統括）	・自粛期間中よりは回復傾向にあるものの、前年比では8割程度と、依然として景気は悪い。現在の社会経済状況が続くと想定すると、景気が良くなるとは考えにくい（東京都）。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（団体役員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第とは思いますが、燃料油の需要は減少傾向にあり、厳しい状況が続く（東京都）。
		その他小売【ショッピングセンター】（統括）	・特別定額給付金のような施策がない限り、消費喚起は厳しい。Go Toキャンペーンも行動制限下では限定的なため、良い意味での想定外の収入は、消費喚起に直結する（東京都）。
		その他小売【ショッピングセンター】（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況が大きく影響する構図は今後も変わらない。一進一退が続くのではないが。
		高級レストラン（仕入担当）	・新型コロナウイルスの影響が2～3か月で落ち着くとは思えない。法人の大口利用がない限り、相変わらず厳しい状態が続く（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・2～3か月後は今のところ分からないが、もしケータリングやパーティーが少し戻ってくれば、売上は今と同じか少し良くなる。戻ってこなかったら、少し下がっていく。夏場は人の動きが激しいので少し売上があったが、この先2～3か月は少々難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響に慣れも出てきている。今までどおりの営業でも、やや回復の兆しが見える（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・3か月後にどうなるかは、誰も分からない。新型コロナウイルスの感染以外の判断によっても売上も人の動きも全然変わってくる。新型コロナウイルスの影響のなかでどうやっていくかによるので、皆目見当もつかない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はしばらく続くと思われるので、厳しい状況は変わらない。早くどうにかしてほしい。このままでは当社もどうなるか分からない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・一時期のような不安に苛まれたような客の自粛行動は少なくなってきたはいるが、やはりフリーで、少人数で来店する客がほとんどである。これから暮れに向けての宴会需要はほとんど見込めないことを考えると、売上は良く横ばい、下手をすると7割程度減少すると考えている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの陽性者数がだんだん減ってくるとか、ワクチンができないと、世間の人は今と変わらず外食などはしないだろうし、在宅ワークなども継続される。何か決定的な対策がないと世の中は変わらないので、12月までには何とか変わってほしい（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・海外事情として、米国大統領選挙を前に、世界の政治経済は不安定な状態が続く。国内事情では、新型コロナウイルス感染症の流行がその時点ではまだ収束していないという前提で、V字回復に向かうことはない。
		一般レストラン（経営者）	・今のやや悪い状態がまだまだ続きそうである。その間に、廃業や倒産が増えてくれば、回復には相当時間が掛かる（東京都）。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響がある。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・再開した社員食堂については、取引先のテレワーク推進等による出勤数の減少から、売上が大幅に減少しており、今後、前年度水準にまで戻るか否かは見通しが立っていない。今年度中は現状維持か若干の好転を期待する程度である（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が秋以降どうなるのかということが全く見通せないため、現状が続くのではないかと。このような状態が長引けば、ホテル業界は立ち行かなくなり、経営に行き詰まるところが多々出てくるのではないかと。政府に更に手厚い迅速な追加政策をお願いしたい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの特効薬やワクチンができない限り、状況はさほど変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続き、当面元に戻ることはない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ここ数年は新型コロナウイルスの影響が残り、観光業にはかなり痛手となる（東京都）。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響があるので、現状とほとんど変わらない。
		旅行代理店（従業員）	・夏の家族旅行シーズンも終わってしまう時期となり、売上のタイミングを逸してしまう状況である（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が非常に大きい。客もかなり神経をとがらせているし、客が減っていることもあり、これがいつまで続くかによって死活問題になりそうな気がする。非常に厳しい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬ができない限り、現状が続く（東京都）。
		タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルスが収まらないとどうにもならない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大は、峠を越えた見方がある一方、第3波への懸念は残る。感染防止に気を配りながらの営業を継続するが、新型コロナウイルスの影響のなかでの営業方法の確立に時間を要するため、なかなかV字回復には至らない（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が現状のままでは、今後の景気は変わらない（東京都）。
		通信会社（社員）	・オンラインで獲得が見込めるサービスの設計を急ぎ行っている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新しいライフスタイルが定着してくることにより、ネットワークの利用方法にも様々な変化が生まれてくる。
		通信会社（管理担当）	・消費マインドは変わっておらず、回復には時間を要する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・これ以上新型コロナウイルスの感染拡大がなければ、ほぼ横ばいの状況が続く。
		通信会社（管理担当）	・現状の実績は堅調だが、今より更に良くなる見通しは感じられないので、変わらない。ただし、堅調を維持できる実感はあり、悪くなることはない。結局、特別定額給付金も何かに使うわけでもなく、多少の余裕はあるのではないかと。
		通信会社（局長）	・分譲集合住宅へのケーブル導入交渉において、理事会中止や総会延期など、最初の営業準備から滞っている状況である。いつ通常営業に戻るかは不明であり、しばらく一定範囲での営業活動に絞られることが想定される（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・良くなる材料がない。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルスの治療薬ができ、完治する病気であることが証明できない以上、今のままで推移するものとみている（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・1顧客当たりの平均売上高について、微減の下げトレンドが続いていく。下げ止まる材料が見当たらない。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向になりつつあるが、消費活動全般が落ち込みから回復していない（東京都）。
		観光名所（職員）	・2～3か月後は一番のトップシーズンを迎えるが、新型コロナウイルスの影響でどのような動きになるか分からないので、変わらないとしている（東京都）。
		その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・新型コロナウイルスに対するワクチンが開発されない限り、状況が好転することは予想し難い（東京都）。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンや治療薬が完成しないことには、新規感染者数は増えたり減ったりを繰り返すであろうことが予想される。これまでどおり、感染防止対策をしながら規模縮小での営業、経済活動が続く（東京都）。
		その他サービス[立体 駐車場]（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しないから変わらない。
		その他サービス[保険 代理店]（経営者）	・新型コロナウイルスがそのまま徐々に収束していくような漠然とした期待感があるなかで、経済が回り、消費が進んでいく。結果的に、新型コロナウイルスより経済が優先される。
		設計事務所（経営者）	・今のところ、プロジェクトは減りも増えもしない。
		設計事務所（経営者）	・官庁案件は別として、住宅を含めた民間案件では、新型コロナウイルスの収束展望が見えない限り、現状の厳しい状況は変わらない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響で、会合、打合せ等ができず、情報が入らない。また、この先どうなるか、どこへ向かうかといったコンサル的な話が多く、仕事へのつながりが見えない（東京都）。
		設計事務所（職員）	・業務上は、報道されているようなGDPの低下を感じることはない（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・緊急事態宣言が再び発出されない限り、しばらくはこのまま受注が良い状態が続く。
		住宅販売会社（従業員）	・この先も大きくは変化しないと感じている。金融機関もサラリーマン投資家には厳しい評価をしているが、資産家や地主には積極的に対応しているので、しっかりした客をつかめれば、順調に推移していく。
		その他住宅[住宅管 理・リフォーム]（経 営者）	・新型コロナウイルスが収束するまでは客との接触ができない。工事業者であれば収束とともに対応できるだろうが、当社の仕事は決まるまでに3～6か月間の時間が必要になるため、状況は厳しい。業務内容を考えると、やはり別の仕事を考えていかなければならないかもしれない。
		一般小売店[家電] （経理担当）	・8月は暑さによる受注があったが、秋のイベント、キャンペーン商品のお勧めなど、毎年行っていたものが今年はできない。祭り関係の電気工事もない。要望に合わせた細かい仕事などをこつこつやっつけていこうと思っている。
		一般小売店[家具] （経営者）	・2～3か月先の景気は、良くなる要素が見当たらないので、今よりも悪くなっていく（東京都）。
		一般小売店[米穀] （経営者）	・新型コロナウイルス感染症の解決策はいまだ見当たらない。また、この夏の熱波に加えて、社会的な問題も落ち着かず、経済にも悪影響を及ぼしている（東京都）。
		一般小売店[傘]（店 長）	・先行きが不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（広報担当）	・秋から冬になるに連れて、新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザの患者も出てくる。より外出ができなくなるような世間の流れになる（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・長期化する新型コロナウイルスの影響に耐え切れない企業が表面化し、それに伴い個人消費も冷え込むと考えられる（東京都）。
		スーパー（経営者）	・現在は良い状態が続いているが、この先はいろいろな与件でやや悪くなるのではないかと予想している。GDPが大分落ち込んでいるし、失業者もどんどん出てくるような状況なので、消費が落ち込むのではないか。今のところはそういうことはないが、新型コロナウイルスの感染状況によってまた変わってくる。
		スーパー（総務担当）	・外国人観光客が来ないので消費が伸びない。
		スーパー（仕入担当）	・今年の年末年始も、帰省せずに家族で過ごす家庭が増え、お盆と同じような傾向になるとみている。
		コンビニ（経営者）	・在宅勤務になった人の中で、そのまま継続にならずに退職、契約終了になった人たちが、先が見えないので、何でもいいからといって応募してくるが、いつまでという約束はできないということなので、先行き不安である。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、高齢者の節約志向は収まらない。
		衣料品専門店（店長）	・今月は、新型コロナウイルス感染拡大期と比べると、数量、単価、点数いずれも良い状態だが、秋から冬に掛けての再拡大が懸念されている状況で、行動自粛、時短営業などの不安が拭えない。また、接客する従業員の不安感から、営業に支障が出ることも予想される。
		衣料品専門店（営業担当）	・良くなる要因が何一つない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響による雇用、収入の不安定感が下期に表面化してくるのではないかと。
		乗用車販売店（総務担当）	・中間決算で需要月後であり、売上が減少すると予想している。
		乗用車販売店（営業担当）	・前年同月と比較すると悪い状態である（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・今後もまだ新型コロナウイルスの影響が続き、しばらく外出自粛も続く恐れがある。景気は当面悪い状態が続くのではないかと。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が好転する要素がない。
		高級レストラン（営業担当）	・回復のめどが全く見通せない。法人関連の宴席は仮予約の状態が多く、今後のすう勢次第でキャンセルの可能性が大いにある（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症の問題は初めての経験で、今後どうなるのか全く分からないのが実情である。タクシーについても客層、利用者の場所が全く変わっている。最近では配車アプリによる客の利用など、今後が多少楽しみな部分も出てきたが、実際のところはまだ分からない（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの影響に伴う案件終了が予想される（東京都）。
		競輪場（職員）	・通常運用以外の業務をスタッフにお願いしているので、ストレスが心配である。やはり、コミュニケーションを大事にしてきた競輪場の運営なので不安視している。
		美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束してほしい。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・まだまだ不透明感がある。
		設計事務所（所長）	・これからの見通しとしては、仕事が少なくなることが見込まれる。各社とも予算がないのが現状である。
		住宅販売会社（従業員）	・4～7月まで動きのなかった客も動き出しているのので、景気は順調に推移すると思うが、今月と同じくらい良くなるとは考えにくい。やや良かった今月と比べると、やや悪くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・受注量は減少傾向が続いており、売上、利益の減少は必至である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	一般小売店〔家電〕 (経営者)	・今月の猛暑があったお陰で、エアコン等の売上が伸びたが、他の部分に関してはとても不安である。特に、9月以降、年末に向けてイベント等がないと、今まではそういうところでの売上が多少あったので、不安になってくる(東京都)。
	x	一般小売店〔食料雑貨〕 (経営者)	・賃料、人件費が下がらない限りWithコロナに対応できない。
	x	一般小売店〔生花〕 (店員)	・今月はお盆があったので、仏花が少しは売れた。今後の行事は12月のクリスマスやお歳暮しかないが、それも当てにならない。先行きは真っ暗である(東京都)。
	x	スーパー(経営者)	・来客数が減っているなかで、競合店が秋にオープンするので、店の売上が更に減ることが考えられる。
	x	コンビニ(経営者)	・時間とともに悪化している(東京都)。
	x	その他小売〔生鮮魚介卸売〕 (営業)	・今年はおるか、来年も駄目だろう(東京都)。
	x	一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスが収束しない限り、世の中には良くなる材料が何もない気がする。政府がここから何か対策を打ってくれないと、飲食店は皆潰れる。
	x	都市型ホテル(スタッフ)	・今月は夏休み期間ということもあり、人の動きが以前に比べると徐々に増えてきているが、9月以降、特に婚礼や宴会の新規受注は皆無で、売上がほぼ見込めない。先々の宿泊予約も、夏休み前の低水準に逆戻りしており、厳しい状態となっている。
	x	旅行代理店(従業員)	・世間が新型コロナウイルスにヒステリーを起こしている状況が変わらない限り、旅行需要が回復する道筋が立たない。繁忙期であるべき秋に団体旅行の受注がない。Go To Travelキャンペーンを利用するしない以前に、適用できる案件が発生していない。
	x	タクシー運転手	・新型コロナウイルス収束といったニュースでもない限り、厳しい日が続く。深夜の利用はほとんど期待できない。
	x	ゴルフ場(従業員)	・駅前の百貨店は来春で閉店が決まっている。商店街も活気は取り戻せない。駅前にも人が集まらなくなる。さらに、新型コロナウイルス感染拡大に終止符はまだまだ見込めず、身の回りの景気は更に悪くなる。
	x	ゴルフ場(経理担当)	・客に新型コロナウイルス陽性者が確認された場合、営業の一時的休止、施設の消毒作業、関係従業員の出勤停止による給与補償、関係者や関係機関との調整作業など、利益圧迫要因が多い。感染者数が減少する傾向がみられないなかで、このような負担が今後も継続するリスクが高い状況にある。
	x	その他サービス〔学習塾〕 (経営者)	・経済的理由で辞める生徒が多くなっている。移動が感染リスクになるということで、来ない生徒もいる。2~3か月後に景気が良くなっている可能性はほとんどない。
	x	住宅販売会社(経営者)	・新型コロナウイルスの感染が早く収まらないと景気が戻らない。このようなときこそ、経済波及効果の大きい住宅が売れるような対策を打ってもらいたい。
企業 動向 関連 (南関東)		出版・印刷・同関連産業(経営者)	・例年10~11月は受注量が増える時期であり、今年も受注予定が入っている(東京都)。
		食料品製造業(経営者)	・先の注文が少しずつ入り始めているが、まだ例年どおりとはいかない。
		化学工業(従業員)	・受注量が少し上向いてきている。また、海外向けの受注も徐々に増えているので、少しは良くなる。
		金属製品製造業(経営者)	・最悪期は過ぎ、徐々にではあるが受注量の増加傾向が続きそうな気配である。
		金属製品製造業(経営者)	・少しだが受注量が増えてきている。
		通信業(広報担当)	・新型コロナウイルスの影響があるなかでも、経済活動が徐々に正常化してくる(東京都)。
		不動産業(総務担当)	・新型コロナウイルス感染が収束に向かうという前提での回答にならざるを得ないが、飲食店の売上也少しずつではあるが回復傾向にあり、現時点よりは景気は良くなる(東京都)。
		その他サービス業〔警備〕 (経営者)	・新型コロナウイルス対策での警備業務はしばらく続く見込みである。
		その他サービス業〔情報サービス〕 (従業員)	・このまま新型コロナウイルスを抑え込めれば回復していくと思うが、感染が再拡大すれば、また悪化するので不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔ソフト開発〕(従業員)	・業種によると思われるが、助成金などがあるからか、受注も多くなってきている。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	・新しい注文の量も少ないが、リピート品の製作数量が全体的に小ロット化している。
		出版・印刷・同関連産業(所長)	・集客イベント等が通常に戻らないことには広告宣伝も打てず、今のやや悪い状況が続く。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・店頭の来店客は減っているが、通信販売で受けている印鑑のリフォーム、彫り直しはずっと変わらずにきているので、この部分は変わらないだろうということ、店頭販売もここまで落ちてきているので、低い水準のままでも今月と変わらないだろうという見通しを立てている(東京都)。
		化学工業(総務担当)	・これからの3か月は、例年なら年間を通して需要が増大する時期であるが、新型コロナウイルスがどれだけ需要に影響するか。経済と両立する政策実行と、個人人の行動様式の変化がどう変わっていくのかに左右される。
		プラスチック製品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスの影響のなかで、経済全体が収縮して、物の動きが悪くなっているのに、悪いままで続く。
		一般機械器具製造業(経営者)	・3か月内示では、向こう3か月で良くなる兆しは全然ない。客の様子を見ても良くなる気配は余りない。来月は自動車関係が少し増えるかもしれないとは聞いているが、落ち込み量のひどさは半端ではない。
		電気機械器具製造業(経営者)	・新型コロナウイルス以前の状態に戻らないと、なかなか良くなるとは思えない。ワクチンが開発されるまでは、このような状態がまだ続く(東京都)。
		精密機械器具製造業(経営者)	・取引先の情報が内示よりも下回っている。
		建設業(従業員)	・得意先からの見積依頼や受注量が、今までと同じような状況になっている。
		輸送業(経営者)	・取扱量の増加や、現況改善の兆しはないため、新型コロナウイルスの感染拡大が現状程度であれば、変化はない(東京都)。
		輸送業(経営者)	・前年度と変わらずに推移していく。今期も無事に黒字決算にできそうである(東京都)。
		輸送業(総務担当)	・例年であれば繁忙期に向かって物量が増えるが、今年度は荷主の国内出荷量が低迷する。また、輸出の予定がない。
		金融業(役員)	・自治体がプレミアム付商品券を取り扱っており、若干の消費回復の見込みがある。ただし、ホテルや飲食店関連の景気回復が遅れており、事業用ゴミ収集業者の話では、ゴミ収集上の低下が依然として続いているとのことである。
		広告代理店(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響がどこまで響くのか、また、イベント関連の再開がいつになるかによって変わるので、まだ見通しが立たない(東京都)。
		税理士	・日本経済は米国や中国経済の影響を受けると言ってきたが、それに加え今は新型コロナウイルスの影響が大きい。駅近くの飲食店は、酒を提供していないこともあるのだろうが、客が入っていない(東京都)。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない(東京都)。
		経営コンサルタント	・各自対策を講じているが、新型コロナウイルス収束の見通しが立たないため、余り期待ができない。
		その他サービス業〔ディスプレイ〕(経営者)	・新型コロナウイルスの収束が見えない(東京都)。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕(経営者)	・取引先工場等の稼働率が上昇するなど、ポイント上昇のめどがみえておらず、当社も売上減が続くものと予想される。
		その他サービス業〔映像制作〕(経営者)	・秋になると新型コロナウイルスの様子がどうなるか分からないので、低迷状態が続く(東京都)。
		プラスチック製品製造業(経営者)	・化粧品容器、医療品容器共に新型コロナウイルスの影響を受けており、明るい話題が入ってこない。
		その他製造業〔鞆〕(経営者)	・新型コロナウイルス次第だと思うが、これがきっかけになって新たに良いチャンスに巡り合うかもしれないので、頑張っている。
		その他製造業〔化粧品〕(営業担当)	・3か月前の緊急事態宣言時よりは良くなっている。ただし、夏の猛暑もあって、完全回復ではない。今後も秋冬を迎えて、インフルエンザ、新型コロナウイルス対策が再び重しとなる可能性が高いと考えている(東京都)。
		建設業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が継続し、改善するとは思えない。現状よりも少なからず悪化する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明であり、飲食業やテレワークによる事務所縮小が続き、不動産賃貸業もまだまだ収入減が続くと思われる。各企業は新型コロナウイルス対策の融資が入っているので、すぐには資金繰りは悪化しないが、売上減少傾向が続くと思われるので、いずれ倒産等が増加する（東京都）。
		不動産業（経営者）	・前年と比較して賃貸、売買共に減少している。3密を避けてできるだけ動かない体制につき、仕方ない（東京都）。
		税理士	・秋から冬に掛けてのインフルエンザへの感染も心配で、今まで以上に外出には気を遣う。一部の産業以外は前年割れの業績になることは確実である。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・既存物件の欠員補充ができず、新規物件の依頼もあるものの、慢性的な人手不足と重なり受託が難しい状況になっている。契約の時間単価は値上げができず、人の募集単価だけは高騰しているので利益を圧迫している。清掃業務は高齢者が多いので、秋冬の新型コロナウイルスの影響も懸念材料となっている（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で予算が付きにくい（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスが収束しても、印刷物は以前のような受注は望めない（東京都）。
	×	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンができ、感染が収束するまでは今の状態が続く。現在稼働している機械のメンテナンス等でしのぎ、また、新規に営業をかけて仕事を確保するよう努力する。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまでは、景気は上向かない。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	建設業（経営者）	・民間の物件も減ってきている。受注しても経費は取れない状況である。
	×	金融業（従業員）	・日本への入国が制限されることで、インバウンド需要が著しく低下している。かねてより外国人観光客が多かった地域では、小売業、サービス業を中心に売上の大幅な低下に苦しむ声が聞かれる（東京都）。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないことが主な原因である。感染防止対策を打たないと消費がどんどん落ち込んでいくことはやむを得ない。
	×	金融業（支店長）	・自動車メーカー下請の金属加工業は第3四半期の受注も厳しく、回復の兆しすら全く見えていない。政府の更なる支援が望まれる。
	×	広告代理店（従業員）	・年内のイベント業務はほとんどない。
	×	経営コンサルタント	・中小製造業はこれから新型コロナウイルスの影響が響いてくると思われる。中国で生産している物を国内での生産に一部切り替えるなど、国としての政策的な対策を講じる必要がある（東京都）。
雇用 関連 (南関東)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・企業の求人数は徐々に回復してきているように感じる。オフィスサプライ品を扱っている企業においては、新型コロナウイルスの影響から需要が減っているが、減少の原因がある程度特定され、来期に向けた人員計画を立て始めている。
		人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除後から徐々に回復傾向にある。新規派遣登録者数は新型コロナウイルス前に戻りつつある。求人件数はいまだピーク時の半分程度だが、微増で推移している。また、人材関連は例年秋以降が繁忙期となるため、時期需要も含めやや良くなる（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・雇用は維持され、求人数が復調してきている（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・落ち込んだ需要の回復トレンドが読めないため、様子見の状態である。濃密に人と接触する保育、介護等の人材不足感はあるものの、採用の動きにつながっていない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響により先行きが不透明なため、取引先に確認しても、需要が回復するまで採用を控える企業が多くなっている。
		人材派遣会社（社員）	・クライアントから希望退職などの相談が増加していることから、構造改革に合わせて派遣社員の契約終了も発生すると見込まれる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（支店長）	・これまで止まっていた採用活動を再開し始める企業が増えている。一方、何が何でも採用したいというよりは、良い人材がいればという依頼が増え、人選のハードルが高い（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・引き続き求人数は横ばいか微減と予測している。
		求人情報誌制作会社（営業）	・新型コロナウイルスの影響で景気が上向き可能性は低い。まずは新型コロナウイルスが収束するか、治療薬が確立されてWithコロナがうまくいった上で、景気は徐々に回復傾向になっていくのではないかと予想している。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響による状況は変わらない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、求人を探えている事業所が多く、求人数は前年比で大幅な減少となっている。
		職業安定所（職員）	・生活様式が変わり、下がる産業もあれば上がる産業も出てくるので、横ばいとなる（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスに対する不安が続くなか、経済は低調が続いている。比較的広範囲にわたり販売が低調となっており、製造、人の採用面などで弱さが続いている。この状態はワクチン開発状況が改善されるまで、大きくは変わらない（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・現在のところ変化する要素がないが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変動する可能性がある（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・今後の見通しが見つからない状況下、アウトソーシング業務についても取引先より業務縮小、仕様変更等の申入れがあり、今後更に増加すると予想している。一部に新型コロナウイルス感染第2波のピークは過ぎたとの報道があるものの、今後もまだ感染拡大の懸念は残っており、しばらく売上増加は見込めない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響は数か月では解消しない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・売上減少をカバーするための提案営業や、インサイドセールスへの転換が図れておらず、受注回復にはまだまだ時間が掛かる（東京都）。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・新型コロナウイルスの流行が収まり、今後の見通しが立たないと、イベント開催などを行う当社のような業態の業績はなかなか良くならない（東京都）。
		職業安定所（職員）	・求職者数の増加に対し、就職件数の減少傾向が続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しないと景気回復は見込めない。世界経済が停滞している限り、日本は持ち直さない（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・製造業の回復見通しは確認できず、更なる景気後退が予測される（東京都）。
	×	求人情報誌制作会社（営業）	・数年は、今と同様の状態若しくは今以上に悪化するのではないかと（東京都）。
	×	求人情報誌制作会社（所長）	・新型コロナウイルスの感染者数が一時減ったときは、募集も動き始めたが、感染者数が減らないと動きが悪くなる傾向にある。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・相談の多くを占めるのは費用の件である。以前は、おいやめいが、ほとんど面識のないおじやおばを、費用をかけないで安く送るといったものが多かったが、最近は近親者が費用の相談をしにやってきている。
		スナック（経営者）	・地元自治体発行のプレミアム付商品券等、経済政策が手厚く、かなり後押しされている感じである。全国の新型コロナウイルス感染者数の推移も縮小傾向なので、落ち着いているときにはどんどん経済を回してほしい。
		都市型ホテル（支配人）	・いまだ新型コロナウイルスの収束はみえないが、Go To Travelキャンペーンの影響やWithコロナの対策が定着しつつあり、宿泊の問合せ、予約が増えてきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言や県をまたぐ移動の解除後は、明らかに個人の動きがみられ、先の動きも出てきていた。しかし、新型コロナウイルスの感染者数の増加が報道されてからは、動きが止まり、キャンセルも多く出ている。ただし、感染者数の減少とともに、徐々に動きが出てきているので、感染者数の減少や感染対策の徹底とともに、良くなり始めるのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊が徐々に伸びている理由は、新潟県の「つなぐ、にいがた。」観光キャンペーンで、1人当たり1泊1万円以上の宿泊に対し5千円の割引があることや、国のGo To Travelキャンペーンによる支援によるものである。宿泊の伸びは県内客中心である。
		通信会社（社員）	・いまだ一部地域では、自重している空気感はあるが、底は脱した感じである。自粛ムードがこのまま緩和されていけば、今までの状態を下回することはなさそうである。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスが収まれば今よりは良くなる。
		商店街（代表者）	・8月後半から、新型コロナウイルス感染がクラスターで発生し、飲食を中心に自主休業を行っているという暗い話題ばかりで、先の見えない状況が続いている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新しい生活様式に慣れてきたのかどうか、景気の良しあしと結び付けることができるのか分からない。相変わらず、必要な物への出費はするが、余分なことや物への出費はみられない。
		一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が減るのではなく増えているせいか、今後の見通しは不透明である。景気が良くなるとは考えられない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、いまだに消費に力強さが無いものの、4～5月の状況よりは良くなってきている。この状態がしばらく続くような気がする。
		百貨店（店長）	・現状、売上の2けた減で推移しており、厳しい状況が続いている。新型コロナウイルス次第の状況は変わっておらず、急な戻りは見通せない。また、政府による企業への補助金等援助策の行方も気になる。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第で市況が変化するため、先は読めない。
		スーパー（経営者）	・パートを募集して、もう少し弁当の宅配と野菜の納品を増やしたい。
		コンビニ（経営者）	・販売量が前年とそれほど変わらないので、今後も数量、売上は前年並みくらいにはなるような気がする。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス関係で、いろいろ動いているような気がする。収束という話も出ているが、今のところ微妙で、余り変わっていくような良い条件が出てきてはいないので、変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・しばらくは新型コロナウイルスの影響を受けるので、変わらずに悪い。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響は、当面続くと思われる。
		乗用車販売店（経営者）	・現在、新型コロナウイルス感染拡大の第2波とみられるさなかで、再び新車購入の回復にブレーキがかかる動きもみられる。秋に向かっては、インフルエンザの流行期も合わせて懸念される。
		乗用車販売店（経営者）	・2～3か月先の改善要素は見当たらない。客とのコミュニケーションに努める毎日である。
		その他専門店〔貴金属〕（営業）	・新型コロナウイルスの影響で、悪いまま変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・テイクアウトやデリバリーサイトに登録したので、増収に期待したい。
		旅行代理店（副支店長）	・やはりGo To Travelキャンペーンの東京除外が自粛につながっていることと、新型コロナウイルスの収束がみえない限り、消費増にはならない。特に、旅行は自粛ムードと万が一感染した場合を考えて、客の足取りが重くなっている。Go To Travelキャンペーンの需要が増えても感染リスクが増すだけで、根本的な景気回復とは考えにくい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの状況によって、大分変わってくる。
		通信会社（経営者）	・地方へも新型コロナウイルス感染が広がり、これが今後どのくらい拡大し、どの程度影響するのかわからない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		観光名所（職員）	・大都市は新型コロナウイルスの感染第2波も落ち着き始めたが、人が動けば地方に感染が拡散されていく。当地も今になって、各地で小規模クラスターが発生し始め、皆不安を抱えている。今シーズンはただらとこのままの状態が続くのではないだろうか。	
		設計事務所（経営者）	・待たせる物件も出てきているので、しばらくは例年どおりの状況が続く。	
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の終息が、依然として見込めない。	
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの問題が報道されている間は、自粛ムードはなくなる。	
		商店街（代表者）	・当店は、学校用品を扱うので、一般的な店と違い、必要な物はどうであっても買ってくれる。ただし、新型コロナウイルスの問題が解決しない限り、今後は徐々に客が減っていくような感じがして心配でならない。	
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・特に主力になる商材が今のところ見当たらない。	
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は徐々に落ち着いていくと思うが、所得減少が心配なところである。	
		コンビニ（経営者）	・例年どおり、やや悪くなると予想する。	
		コンビニ（エリア担当）	・先行きが見えない以上、貯蓄に回す節約生活に、より一層拍車がかかると思うため、やや悪くなる。	
		自動車備品販売店（従業員）	・自粛ムードのある生活環境では消費も上向かず、2～3か月後の冬のボーナス等による売上の盛り上がりも、厳しいものになると感じている。	
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないなか、いまだに新たなクラスターが発生している現状では、景気の先行きは暗い。	
		一般レストラン（経営者）	・繰り返される新型コロナウイルス感染への不安と政治に対する不安で、消費が滞っていくのではないかと。	
		スナック（経営者）	・休業要請解除後、しばらくしてから客が戻ってきたように感じていたが、最近の新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、企業から社員に「飲みに出てはいけない」という指令が出ているようで、一気に暇になっている。この先どうなるのか全く読めず、これ以上、新型コロナウイルスの感染が増えると、更に暇になる可能性もある。	
		その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況に応じて変わっていく。感染者が増えれば自粛傾向に推移し、減っていけば緩和していく。感染防止対策を講じて営業しているが、我々のようなレジャー産業が良くなるのは、まだ先になるのではないかと。	
		×	スーパー（副店長）	・現状は内食傾向の強まりの結果、前年より売上は良いものの、新型コロナウイルスの不安のなか、景気が良くなることはない。当社も、将来的には厳しい状況になると予想する。
		×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが依然として収束する見込みがない。
		×	衣料品専門店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの影響がずっと続くので、来客数がかかり悪くなる。
	×	スナック（経営者）	・とにかく良くなる要素が1つも見当たらない。誰のせいでもないが、この新型コロナウイルスという大変な病が、全国、世界中にかけて広がっている。本当にどうしてよいか見当も付かない。何か良い方法があったら教えてほしい。	
	×	観光型旅館（経営者）	・現在、観光に動ける客層は、比較的若い世代と子供連れの家族層が中心である。ただし、若い方も家族も長期の連休がないと動かない。従来、秋から冬は高齢者や会社関係の団体客が主になるため、こうした団体客や家族連れ、若い世代の客に期待ができない今年の秋冬は、かなり厳しい状況が予想される。特に、忘年会の時期は最悪の状況になりそうである。	
	×	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・まだしばらくは新型コロナウイルスの影響はなくなる。	
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-	
		電気機械器具製造業（営業担当）	・徐々にではあるが、生産予定が増加している。	
		建設業（経営者）	・消費者も多少だが落ち着いてきているようで、新しい生活様式も始まり、受注も少しずつだが期待している。	
		金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波が懸念されるが、政府の経済活動への取組等により、緩やかに回復する兆しが感じられる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞販売店〔広告〕 (総務担当)	・希望的観測もあるが、以前のような経済活動に戻りはしないが、新たな生活様式や経済活動の方法を考えると、現在よりは良くなると予想している。
		食料品製造業(営業統括)	・出荷量が減少しているため、貯蔵タンクの余裕がなく、原料の仕込みに影響が出てきているメーカーもみられる。
		食料品製造業(総務担当)	・低位維持で今と余り変わらないのではないかと。3か月先だと新型コロナウイルスにインフルエンザのダブルパンチで、更に悪化することも考えられる。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	・例年の年末商材受注は見込まれるものの、店頭ワークショップ等は、新型コロナウイルスの状況次第のため、予測が付かない。
		一般機械器具製造業(経営者)	・今後の国内受注はある程度の回復が見られるが、海外需要は地域差はあるものの、回復が鈍い。
		電気機械器具製造業(経営者)	・受注が継続する見込みがない。周辺企業では相変わらず仕事量が減少したままである。
		金融業(調査担当)	・新型コロナウイルスの影響がまだ続くと予想されるほか、製造業でも米中貿易の状況等、不安材料があり、製造業、非製造業共に不透明な状況が続く。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・イベントやお祭りがなくなってしまい、仕事になる案件がほとんどなくなってきている状況で、大変厳しい。
	×	食料品製造業(製造担当)	・日に日に体力勝負の感が高まり、何とか回していた会社等は、借金返済と売上減の間で大変厳しい選択にまで追い込まれていくのではないかと。
	×	出版・印刷・同関連産業(経営者)	・元から減少傾向だったところに、新型コロナウイルスの影響でイベント等が減り、仕事が減っている。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕(経営者)	・主だった展示会の中止による卸売の不振や金の価格高騰が響き、新規商材が思うように作れない。仕事が少ないことから、副業を始めたり転業する職人が出始めており、業界的に不安な要素が見え始めている。
雇用関連		-	-
(甲信越)		人材派遣会社(営業担当)	・ボーナスの出ない企業が増えており、経済活動は停滞している。秋以降も大変な状況になると予想している。
		求人情報誌製作会社(経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が現在も増えており、今後もしばらくは厳しい状況が続く。
		職業安定所(職員)	・製造業の中でも、自動車部品や車載メーター関連で改善がみられない。全産業で求人が前年同期より落ち込んでおり、雇用マインドは冷えたままである。
		民間職業紹介機関(経営者)	・先行きへの不安から新規採用はできるだけ手控え、現行の社員で対応するといった消極的な姿勢が目立つ。退職者の補充程度は考えているものの、採用に慎重な姿勢は崩していない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染拡大は依然として続いており、収束の見通しが立たない。
	×	職業安定所(職員)	・明るい兆しが何もない。

6. 東海(地域別調査機関:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		-	-
(東海)		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスが終息しつつあり、もし終息しなかったとしても、その生活に慣れてきているため落ち着く。
		一般小売店〔土産〕(経営者)	・新型コロナウイルスもそろそろ終息するかと見込まれる。
		一般小売店〔書店〕(営業担当)	・引き続き新型コロナウイルス禍であると思われるが、例年秋から年度末までの受注が見込まれる。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響が続くと想定されるが、感染者数も減少傾向にあり、来客数も一定程度見込める。残暑のなか、秋物のスタートにとっては厳しい状況である。
		百貨店(企画担当)	・6~8月と前年比の来客数が落ちてきている。前年のお盆にあった入店客の山が今年は減ってしまい、前年比での押し下げ要因となった。月末に県独自の緊急事態宣言も解除されたので、来客数の減少が底を打つことを期待したい。
		百貨店(営業担当)	・若干は回復すると思われるが、新型コロナウイルスの影響が続く限り、大幅な回復は見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（業績管理担当）	・ 8月に3密対策をしっかりと行って実施した物産展は、前年並みの数字を取ることができた。9月以降も物産展を前年同様に開催予定で、少し明るい材料もある。
		スーパー（販売担当）	・ 今後いろいろなイベントがあり、来客数は増えると思われる。
		スーパー（ブロック長）	・ 新型コロナウイルスは、身の回りに少しずつ迫ってきてはいるが、3密の懸念のある百貨店や外食の売上が、まだスーパーマーケットに回ってくると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・ 観光地以外は上向きの兆しがみえる。
		コンビニ（エリア担当）	・ 新型コロナウイルス感染も年内には多少落ち着くが、生活様式の変化と商品の变化を捉え、エリアでの商品開発の強化が必要となる。
		乗用車販売店（経営者）	・ 全体的に様子見の状況は続いているが、新型コロナウイルスと向き合いながらも動いていく感じにはなっているため、これ以上の広がりがなければ、徐々に回復していくのではないかと。
		乗用車販売店（従業員）	・ 全体的に社会は動いていく方向になると思うが、車が売れるようになるとか、今後消費が活発になるという期待は持てない。3か月後の景気はどの業種も同様であるが、自動車業界も読めないところである。
		乗用車販売店（従業員）	・ 新型車の受注も好調で、前年並みに販売台数は伸びていくと思われる。ただ、納期が掛かるため売上にはなかなか結び付かない。
		乗用車販売店（販売担当）	・ 販売量、新規客共に徐々に増えている。このままいくと前年同様とまではいかないが、販売量も増加してくる。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・ やや良くなると期待する。しかし、冬に向けて第3波の可能性を考えると夜も眠れなくなる。
		一般レストラン（経営者）	・ 今月も例年より1人で来店する男性客が多く、売上が維持でき、例年に比べ10%ほど上がった。秋に向けて新型コロナウイルスの影響を受けると思うが、工夫しながら営業していきたい。
		旅行代理店（経営者）	・ 夏～秋に掛けて新型コロナウイルスが少しは収束すると思われるため、景気は良くなる。
		旅行代理店（営業担当）	・ 新しい旅行スタイルが少しは浸透して、Go To Travelキャンペーンへ賛同する客が増えることを期待したい。
		通信会社（企画担当）	・ 次の新型コロナウイルス感染拡大までは、経済優先ムードが続くように思われる。
		レジャーランド（職員）	・ 新型コロナウイルスの感染状況で大きく左右するが、Go To Travelキャンペーンの地域共通クーポンの配布開始や、Go To イベント、Go To イートが順次始まれば、多少の集客効果が得られるのではないかと考えている。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・ これまでの状況よりは良くなるのではと期待をする。
		商店街（代表者）	・ いまだ新型コロナウイルスの終息がみえず、このままの状態が続くそうである。
		商店街（代表者）	・ この数か月、来客数が極端に少なくなっている。売上、販売量につながらない状態がずっと続いている。
		商店街（代表者）	・ 今後も更に厳しい状況は続く。周りの店舗でも、店の縮小や閉店が増えてきている。
		商店街（代表者）	・ 秋になり寒くなってくると新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、楽観的には考えられない。
		商店街（代表者）	・ 完全に底値安定である。人が動かなければ物は売れないという商売の原理原則のとおりである。
		商店街（代表者）	・ 展示会イベントもできないため、新型コロナウイルスが終息するまでは良くない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・ 新型コロナウイルスが終息するまで希望はない。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・ 全て新型コロナウイルスの推移が影響してくる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ 先がみえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・新型コロナウイルス禍では、3か月先をみても今までと変わらない状況が続くと思われる。経済を引き上げるような画期的な政策は、世の中が自由に活動できない以上難しく、残念であるが閉塞的なこの状況が続く。
		一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔生活用品〕(販売担当)	・今後も先行きが不透明な状況が続く、客の購買意欲が戻るとは思えない。
		百貨店(経理担当)	・引き続き新型コロナウイルスの影響がある。今のところ回復の兆しはみえない。
		百貨店(経理担当)	・新型コロナウイルス感染症のピークアウトとともに、景気は緩やかに改善に向かう一方、9月末で雇用調整助成金の特例措置が打ち切られると、企業の倒産や失業者の発生を招き、改善に向かう景気にブレーキを掛けることになると考える。
		百貨店(販売担当)	・徐々に第2波も落ち着き始めているが、まだまだ予断は許さない状況で、良くなるとは思えない。
		百貨店(計画担当)	・今後しばらくの間、新型コロナウイルス禍は波がありながら続いていくと思われるので、現状とそれほど大きな変化が現れるとは思えない。
		スーパー(経営者)	・新型コロナウイルスの終息なくして景気回復はない。
		スーパー(店員)	・今の状況では、買物に来る客はいるが、購入数が増えない。
		スーパー(総務)	・年内は、新型コロナウイルスのワクチンが開発されない限り、外出を控え家庭での食事が多くなると考えられる。
		スーパー(販売担当)	・内食傾向は続く。398円のいちじくジャムのように、高くても良い物は売れる。提案の仕方次第で更に売上を伸ばせる可能性もある。
		スーパー(営業企画)	・新型コロナウイルスの終息に向けた確かな動きが出るまでは、消費動向は変わらないと思われる。
		スーパー(販売担当)	・スーパーでも部門別の伸長率に差がある。調味加工食品やキッチン消耗品は20%増であるが、厳しい部門もある。
		コンビニ(店長)	・イベントでの売上がゼロで、当面のイベントは中止が決定しているため、年内に身の回りの景気が良くなる要素はない。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの影響が落ち着く様子を見せず、冬季に向かい感染者が増えるおそれがある。店前は人が少なく、来客数は更に減ってしまいそうである。また、不要な買物はしない傾向から、客単価は向上しそうにない。
		コンビニ(店員)	・まだコンビニを利用する客は多いと見込まれる。
		コンビニ(商品開発担当)	・高い気温が続いていることで、来客数が増え、飲料・アイス・麺類などを購入している。例年よりも高い気温が続く間は、厳しい新型コロナウイルス禍ではあるが前年並みを意識できる日も出てくると考える。10月にはたばこ増税が控えており、駆け込み需要は想定されるものの、値上がり後の反動は、不透明な環境も手伝ってこれまでよりも大きくなるのではないかと考える。
		コンビニ(商品企画担当)	・東京都のGo To Travelキャンペーン対象化が検討されるなど、景気回復に向けた前向きな動きがある一方、秋冬シーズンに入り新型コロナウイルス感染の拡大も懸念されることから、今後の景気についても不透明な状況が続くと思われる。
		衣料品専門店(販売企画担当)	・販売量が回復してきたが、いつまで続くのか読めない。
		家電量販店(店員)	・家電の販売に関しては、いつもどおりである。高単価な商品でも良い物は普通に売れていく。
		乗用車販売店(営業担当)	・6~7月と、前月に比べて良くなっている感じがあったが、ここに来て新型コロナウイルス感染が再拡大しており、秋~冬に掛けて更なる感染拡大が予想されるので、景気回復は難しいのではないかと考える。
		乗用車販売店(経営者)	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きく、自動車での外出のない分事故もなく走行距離も伸びず、来客数が増える見込みはない。
		乗用車販売店(経営者)	・今後もこのような状況が続くものと予想される。厳しい経営が続く。
		乗用車販売店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染が再拡大するリスクもあり、消費行動は消極的な状態が続くと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・従来なら新車の販売台数も決算に向けて盛り上がるが、生活に必要な最低限の行動しかできないこの状況では、来店客も余り見込めず、良くなるとは思えない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、4～5月のように大きく止まることはないと思う。
		乗用車販売店（営業担当）	・夏季休暇の影響が良い方へ出るのか、悪い方に出るのかは今のところ不明であるが、現在の状況と余り変わらないと思う。しばらくはジリ貧状態が続くのではない。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・乾燥しやすい時期に入り、インフルエンザ感染との区別がつきにくい時期でこの夏と同じような傾向になる。ワクチン、特効薬が安定供給されない限り、売上は復活しない。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・ウィズコロナも浸透してきたが、まだ外出する機会は減っていると思われるため、しばらく売上はアップした状態で見込めると考える。
		一般レストラン（経営者）	・今月よりは良くなると思われる。
		一般レストラン（従業員）	・緩みが出ては締め直しの繰り返しで、来年まで続くと思う。
		観光型ホテル（支配人）	・2か月先までの宴会もほとんどがキャンセルとなり、年末までの受注状況も思わしくなく、1件1件キャンセルが積み重なっていくばかりである。宿泊客も思った以上に伸びず、前年比の20%台で推移している。少なくとも年内は、こういう状態が続くものとみる。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気は変わらないと判断する。
		都市型ホテル（営業担当）	・悪い状態で横ばいが続くと思われる。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波と夏休みが終わり、しばらく落ち着く。Go To Travelキャンペーンの効果もあるかもしれないが、事業者としては、本申請の通知が来ないのどうなっているか不安である。9月からの地域共通クーポンもまだ始まらないようで、かなり段取りが悪いと感じる。旅に出たらPCR検査を気軽に保険適用で受けられると、もっと旅の需要も増えるような気がする。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、旅行需要が元の状態に戻ることはない。個人旅行は少しずつ申込みがあるが、職場旅行、会員募集旅行や視察旅行など団体旅行は全く発生しない。旅行業界の復興は、団体旅行が戻らない限り無理だと考える。
		タクシー運転手	・街中の人出が少ない状態から変わっていない。とにかく人出が少ない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのせいで良くならない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスへの不安があり、大人数での飲み会等を控えて、繁華街は現状より良くなるという見通しが立たない。
		通信会社（営業担当）	・現状が当面続くと思われる。
		テーマパーク職員（総務担当）	・全て新型コロナウイルス禍によるところが大きいですが、波が続くことを実感し、新型コロナウイルスと共存していく方向になってきていると感じる。外出を控える傾向は、しばらくは変わらないと思われる。
		美顔美容室（経営者）	・12月末までキャンペーンが続くため、セット商品の購入がある。
		美容室（経営者）	・普通であれば結婚式やいろいろなイベントがあるが、新型コロナウイルスの影響により来客数が減っており、現在と変わらない状況になると思われる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で経済的にも将来が見通せないため、当分このような状況が続くと思われる。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個人客やケアマネジャーの工事意向が控え目になっている。
		設計事務所（経営者）	・2～3か月先まではみえない。取りあえず1か月先の仕事はある。
		住宅販売会社（従業員）	・上向き要素がみられない。この先の状況がみえない状態となっている。
		住宅販売会社（従業員）	・回復の兆しはない。ローン控除期限前の駆け込みはあるはずだが、その反面、10月以降が恐ろしい。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・継続してリフォーム工事の引き合いが数件あり、元請も順調に新築物件を受注している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・賃貸業界では第2の繁忙期に突入するが、新型コロナウイルス禍で先がみえず、客も検討が難しい。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息はなかなか望めない。経済もうまくバランスを取りながら動き出してほしいし、このままではお彼岸、敬老の日、プライダル等にも影響が出て、経営は更に厳しくなる。
		一般小売店〔文房具〕（店員）	・インバウンドに頼りすぎていたため、その来客数が戻らなければ、まだまだ厳しいと思われる。
		百貨店（販売担当）	・学生需要のピークの見通しが立たない。
		スーパー（店長）	・地域で感染者数が増え続けており、いつ自社からも感染者が出てもおかしくない状況なので、現状が良くても安心できない。
		スーパー（店長）	・どこにも出掛けられず家庭での支出の大半を食費に充てるのは変わらないが、年末までは、客単価、来客数共に厳しい流れになる。
		スーパー（店員）	・豪雨と暑さの影響で果物と野菜の値段が高騰している。落ち着くには時間が掛かる。
		スーパー（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの影響があり何ともいえない状況だが、お盆同様イベントの専用品は苦戦することが予想されるため、現状よりもやや悪くなるのではないかと見込む。
		コンビニ（企画担当）	・秋以降、再度感染拡大の状況になることが予想され、不要な外出を控えることにより来客数の減少が想定される。
		コンビニ（本部管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で新しい生活様式がスタートするならば、小売業界は試行錯誤の日々を迎える。適応するために、その期間は売上に影響が出ると見込む。当社も、新型コロナウイルスの影響が軽減してきた昨今においても売上状況は回復に至らないため、やや悪くなる。
		衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の不安も当然のことだが、インフルエンザの流行時期も近づいている。こうした不安な状況下において、消費者の購買意識は節約等に向くことはあっても、消費に向くとは考えづらい。
		家電量販店（店員）	・特別定額給付金や在宅勤務の影響で家電製品の需要が高まり売上は上がってはいるものの、今後の動向を考えると、旅行会社、アパレル業界、交通関連や百貨店などの企業が厳しい状況にあるため、全体として景気は冷え込んでいくように思われる。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルス対策の自粛疲れの反動で、3月より消費は回復している気がするが、第2波、第3波が来て医療崩壊が現実味を帯びれば、消費は縮小するのではないかと。首相も辞任しアベノミクスの終えんが意識される。ばらまき施策の反作用で増税が意識されれば、消費に対してはマイナスしかない。
		乗用車販売店（従業員）	・冬のボーナスがどれくらい支給されるかを心配する声が多く聞かれる。そのようななかで年末に向けての増販期を迎えるので、客がどれだけ新車購入に関心を持ってもらえるか、不安が強い。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は前年比でマイナス0.4%、来客数は前年比マイナス10.3%である。
		高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルスの第2波、第3波の懸念、長期化に伴う外食スタイルの変化に対応していくが、年末に向けての営業が読み切れない。売上規模の大きい年末商戦への影響は大きい。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの特効薬等が開発されないまま涼しくなってくると、また感染者数が増えるのではないかと不安である。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・政府の支援策にも限界がある、貸付け等で当面しのいでいたところは、一気に倒産、廃業が増えていく。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・給付金などで、ここまでは想定よりも悪くなかった。客の中にも給付金が出たので購入したという人も多い。しかし、業績が悪くなる企業が増えるなかで、消費者にも買い控えが目立つようになってきた。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（経営者）	・ワクチンや治療薬も先が見通せないまま、不要不急の消費が止まっているように見える。既に3か月も受注がない企業もある。稼働していない大量の観光バスの駐車代など通常よりもコストが掛かるようになった観光バス会社などでは、秋～冬に掛けて人件費のほかコスト削減の動きが出てくると関係者から聞いている。
		通信会社（営業担当）	・光回線の依頼数が落ち着いてきた。店舗閉鎖による解約の依頼もある。
		観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの状況次第であるが、日本全国で元気がない。しばらく様子を見るのが一般的であると考え。
		ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先の入場者予約数は、今一つ増えない。前年同日の予約数と比べてもかなり減少している。今後、入場者数は増えるとしても、レストラン等の売上はまだまだ期待できないと考えている。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス禍で密になりやすい業態として、影響を受けている。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルスの影響と米中関係の先行きによる。
		理美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しなければ、皆が金を使わないため景気が悪くなる。
		設計事務所（職員）	・景気は政治の問題もあり、今後も良くなる可能性はないと思う。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・在宅ワークが増え、駅前駐車場契約の解約が増えてきた。この先が不安である。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・今後、新型コロナウイルス終息後も、街の飲食店への人の流れは以前のように戻らない。消費の流れが大きく変わってくると考える。
	×	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響により、景気は悪くなる。
	×	百貨店（売場主任）	・出掛ける予定がある客は購入するが、物欲のない客が多く来店してもみるだけで、土日平日共に厳しい売上が続いている。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスで、ますます来店自粛が加速すると見込まれる。
	×	スーパー（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が引き続きあり、現場は非常に厳しい状況である。打開策を日々考え取り組んでいかないといけない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・しばらくは新型コロナウイルスが完全に収まると思えない。外に出掛けることや旅行、買物、通院でさえ極端に少なくなり、洋服は要らないと客に言われる。
	×	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が長引いており、商業施設を中心に新築、改装工事が中止、延期になっている。住宅も同様であり、新築工事は停滞しリフォーム工事も予算が厳しくなっている。
	×	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・長引く新型コロナウイルス禍で、首相の辞任により経済界の様子見が一層進み、年内の景気は停滞から後退が考えられる。
	×	観光型ホテル（経営者）	・8月は順調であったが、10月以降は個人客の動きが停滞している。Go To Travelキャンペーンにより新型コロナウイルスの影響が収束するムードがあれば、回復すると思うが、現在は慎重なスタンスで動きが止まっている状態である。引き続き政府の経済優先の政策がなければ景気は回復せず、そのような対応が求められる。
	×	都市型ホテル（経営者）	・予約が入らない。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・冬に向けての新型コロナウイルスの感染拡大状況による。忘年会や新年会等、宴会の取り込みがない状況である。Go To Travelキャンペーンで恩恵を受ける高級旅館やホテルとの格差拡大などがある。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス禍における風評被害的な環境が改善されない。
	×	旅行代理店（経営者）	・もう少し旅行に行きやすい社会情勢にならないと、売上が伸びない。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスが終息しない限り難しい。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響であり、ワクチンが開発されない限り回復しない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか見当が付かない。
	×	住宅販売会社（従業員）	・中堅のビルダーが倒産したらどうなるのかと思うと、不安で仕方ない。
企業 動向 関連 (東海)		*	*
		化学工業（営業担当）	・自動車関係の景気が戻り始めている。9月以降は容器の販売にも影響してくる見込みである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・3か月後は新型コロナウイルスも次第に落ち着き、年末に向けて客先で設備投資もあるという期待から、現状よりはやや良くなると思う。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・中国市場の自動車販売が増加しているため輸出が増加し、現在よりは生産台数が増えて、景気が良くなると思う。
		輸送業（経営者）	・新常态の定着の中で、経済が回り始めている実感がある。
		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの長期化で、通販需要は伸びて定着すると思われる。
		金融業（従業員）	・現在は新型コロナウイルスの第2波が来て将来不安があり、皆が慎重に動いているが、景気単体でみると将来的には回復傾向が大きいと、少し景気が良くなるイメージである。
		不動産業（経営者）	・9月は、例年同様に晴天の日が多くなる予報であるが、今後も新型コロナウイルス問題の影響が少なからず続くともみている。余計な出費を控える気持ちは継続し、公共交通機関の利用者が減少している間の売上は厳しい状況であるが、少しずつ回復傾向になっていく。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・新型コロナウイルスで4～6月に停滞した分が、ここに来て動き始めた感がある。第2波のおそれも、この地方では余り影響がないと思われる。
		食料品製造業（経営企画担当）	・依然、厳しい状況に変わりはないが、下期に向けて反動的な消費の回復に期待したい。
		化学工業（総務秘書）	・ウィズコロナの中で景気は低調に推移する。資金繰りで体力を失った企業の倒産が始まると景気は本格的に落ち込むものと予想するが、まだ2～3か月先には始まらないと思われる。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新型コロナウイルス禍の影響で生産が減っている客もいるが、新規引き合いも多く、成約率も高いので現状維持ができそうである。国プロジェクトの事業の一部にも参加できることになった。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが堅調に推移しているため、変わらないと考えている。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・北米での新型コロナウイルス感染拡大が収束しない限り、積極的な設備投資が実施されるとは思えない。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売見込みが変わらない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・状況は余り変わらないと思われる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・IT産業は好調であると思われるが、新型コロナウイルス禍が社会全体に及ぼしていくことを考えると、ポジティブにはなれない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・航空業界は、新型コロナウイルスが終息し米国経済が復活するまでは厳しいと思われる。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルス禍にあるが、第2波の感染拡大が収束すれば、もっと景気が回復するかもしれない。
		輸送業（従業員）	・正直なところ分からない。世間では新型コロナウイルスの第2波はピークを過ぎたといっているが、それは第3波、第4波もあり得るということであり、新型コロナウイルスの問題は今年中には解決しないと考える。
	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルス禍の中、消費者のマインドは低下し、消費が好転する材料がない。また、政治と経済の両輪が空回りしている感が否めない。	
	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍の終息によるので先が読めない。	
	輸送業（エリア担当）	・先行きの景気は変わらない。新型コロナウイルスはまだ収束しておらず、産業によっては落ち込んでおり、その部分が物流に響いているため見通しが立たない。	
	通信業（総務担当）	・この秋も新型コロナウイルス感染の一進一退のニュースしか報道されず、人々の気持ちには明るさが戻らないと見込む。先が見通せるようになれば、気持ちが前向きになり景気が確実に上がってくる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（経営者）	・当面は様子見が続く。
		広告代理店（制作担当）	・新規案件が見込みより少なく、我慢の状態がしばらく続く。
		会計事務所（職員）	・町内の感染者数が増加してきている。町内放送があるたびに、外出の頻度を減らそうという気になるし、実際、余り遠くへは出掛ける気もしない。家にばかりいれば、食品はともかく、他の買物をしようという気にはなれない。
		会計事務所（職員）	・今後も新型コロナウイルスの影響が続く限り、感染拡大前の水準まで売上が回復する見込みはなく、現状維持のまま推移する。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・新型コロナウイルスに対しても、体力が付いてきたため前向きに立ち向かおうと考える。新しい商品、投資先を積極的に探す行動をしている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスの第2波が続いており、今後その影響が表面化してきて景気はやや悪くなる。
		鉄鋼業（経営者）	・上期の4～9月は、前年の仕事をこなしている企業が多く、下期に入ると上期に決まった品物を作るのが通常だが、今年は、上期に新型コロナウイルスの影響で何も決まっていないので、下期も低調な状況が続くと思われる。
		金属製品製造業（従業員）	・投資マインドの冷え込みが、仕事量に影響し始める時期と思われる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・本格的な回復基調に戻るには、新型コロナウイルス収束のめどが立たないことにはどうにもならない。年内は現在の状況が継続し、来年前半も不透明である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・この数か月間新規案件等の話もなく、既存の案件も少し減少している状態が続いている。新規開発の現状をみる限り、上向くことは考えられない。
		建設業（役員）	・例年は秋に入り企業体制の変更で異動があり、不動産市場は活発化するが、今年は新型コロナウイルス禍の不安な状況の中、影響を受けている企業の社員からは、先行き不安により購買意欲が落ち込んでいるという話が多い。同様の話はこれからますます増えてくるのではと考えられる。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルス禍で、政治家には指導力もなく健康面の不安もあり、また対策に関心がないような政治家もいて、この先景気が良くなるとは思えない。
		金融業（企画担当）	・飲食業、観光業を中心に企業体力が弱ってきており、状況はかなり厳しい企業もある。廃業を考えている企業もあり、生き残る企業とそうでない企業に分かれてくるため、景気は悪くなっていく方向である。
		行政書士	・仕事はあるが、新型コロナウイルスの影響により貨物の出入りの効率が悪く、運賃が伸びない。
	×	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスが落ち着き様々な業種が完全に稼働しない限り、受注数が戻らない。回復の兆しはない。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で経済が冷え切っている。この影響は、今年後半、更にひどい状況になると見込む。自分の周りでもひどい状況である。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新規の話がみられない状態である。
	×	通信業（法人営業担当）	・身近な飲食店は8月末で閉店し、再開のめどが立たない。新型コロナウイルスによる目に見えない不安がある。体力のある企業は何とか生き延びるであろうが、中小企業はよほどの意識改革、イノベーションが必要となる。短期での回復のめどが立たない状況のままである。
	×	通信業（法人営業担当）	・一般消費者の心理として、現状の買い控え傾向は、新型コロナウイルスが落ち着いても、長い間回復しないように感じる。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	・何も買わない、売れないが常態化しつつあると感じる。
	×	公認会計士	・新型コロナウイルス感染症が本格的に財務状況に影響を与えるのは今後の決算である。首相辞任で政治のリーダーシップが大きく後退する。
雇用関連 (東海)			
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車関連においては、国内の販売数も回復し、特に新型車種の売行きが好調である。中国や北米向けの輸出も上向きに推移し、やや良くなると見込む。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・下半期に向けた企業側の採用の動きが出てくる可能性がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・景気刺激策が功を奏して、人手不足感が出てくるのではないかと考えており、また、そうあってほしい。
		職業安定所(職員)	・経済対策が下支えし、持ち直す。
		民間職業紹介機関(窓口担当)	・県独自の緊急事態宣言が解除されたといっても、新型コロナウイルス感染症自体が収まったわけではないため、各企業の経済活動状況は以前と同様とはいかないのではないか。ただ、この状況下でもテレワークの促進や新たな施策を打ち出したりして、現状よりは景気が上向きに転じると期待したい。
		人材派遣会社(経営企画)	・好転の兆しは現状ではない。
		人材派遣会社(社員)	・求人が出てくるのはもう少し先のように思える。11月には少しでも出てほしい。
		人材派遣会社(企画統括)	・新型コロナウイルスの感染は若干の落ち着きをみせてはいるものの、早期の景気回復を期待できる材料が見当たらない。
		人材派遣会社(営業担当)	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で求人は増えないと思われる。その反面、派遣で働いている人々には将来への不安から転職を希望する人が増え、有効求人倍率は下がると考えている。
		職業安定所(所長)	・雇用調整助成金の申請はまだ多くの企業で続いており、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きは不透明である。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの影響が続いており、今後の見通しが立たない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染症の状況に大きく左右される。県内が落ち着いたとしても、隣県で感染が拡大した場合、外出の自粛等により産業・職業で業績の良しあしに格差が出ると予想される。当面は大きな変化はないと思われる。
		職業安定所(次長)	・雇用保険受給手続の来所者数は若干減少しているものの、求人・求職の状況において、大きな変動の兆しがみられない。
		民間職業紹介機関(支社長)	・新型コロナウイルスの状況が変わらない。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・当面この環境は変わらないなかで、新たなスタンダードを作る時期にきている。積極採用中の企業は、オンライン面接・セミナー等をより有効に活用し始めている。
		人材派遣業(営業担当)	・消費者の収入減による消費減少が影響する。
		人材派遣会社(社員)	・消費が戻らなければ、企業努力だけでは厳しいと考える。
		人材派遣会社(営業担当)	・10月以降、主要客である自動車メーカーの一部部署との受託契約が10%の予算削減となり、業務終了者が数名発生する。今月までに業務終了しているエンジニアも含め、次の業務の当てを確保できておらず業務稼働するエンジニアが増えないため、稼働率の低下となる。
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・旅行業やサービス業などは、ここ数か月のマイナス90%といった売上激減を乗り越えてきたが、秋以降はその体力もなくなり、倒産や廃業などが出てきそうに感じる。
		職業安定所(次長)	・新型コロナウイルス感染の拡大状況が落ち着かない限り、新規求人数の増加は見込めない。同時に、雇用の減少が続くと景気に影響を及ぼすと考える。
		職業安定所(次長)	・新型コロナウイルス感染拡大が長期化するなか、先行き不透明感から新規求人数の減少傾向が続いている。また、事業主都合による離職者の大幅な増加が続いている。
	×	人材派遣会社(営業担当)	・人材紹介では前年比で求人数が減少し、求職者数が増加している。求人案件の業種・職種に偏りがあり、成約数は大幅に減少している。
	×	人材派遣会社(営業担当)	・新型コロナウイルス禍による先行き不透明感が強い。
	×	その他雇用〔広告代理店〕 (求人広告担当)	・新型コロナウイルスの状況次第であるが、良くなるとは思えない。

7. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
動向 関連 (北陸)		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの心理的不安が徐々に収束しており、客の消費意識も少しずつ回復していくとみている。
		コンビニ(店舗管理)	・今よりは新型コロナウイルスの影響が落ち着いていると考える。
		乗用車販売店(従業員)	・新型車の発表が続くため、客の購買意欲に期待している。
		通信会社(営業担当)	・年末商戦に向けて販売増加が見込まれるが、新型コロナウイルスの感染状況により変動する可能性がある。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか不確かで、1人感染者が出れば即振出しに戻る怖さがある。
		一般小売店[精肉](店長)	・8月も2~3か月前から比べると大分良くなってきているが、やはり新型コロナウイルスの影響がある。デパートも大きな広告を出せない状況であり、来客数が極端に少ない状態が続いている。その中でも贈り物には多少動きが出ていることから、良い感じではないかとみている。
		一般小売店[書籍](従業員)	・今が底という感じがずっと続いている。これ以上悪くならないと考えるが、良くなる兆しもまだみえない。
		百貨店(営業企画)	・新型コロナウイルスの終息が目に見えず、この先2~3か月もこの状況が続くだろうと考える。
		百貨店(販売担当)	・当面新型コロナウイルスの影響が懸念されるため、現状の85~90%程度が継続するとみている。秋商戦は、気温の影響による客の購買動向の遅れと、生産現場での減産による納品の遅れと品不足によるマイナスを予測している。また、外出や旅行の自粛による衣料品やアウター、バッグといった秋の旅行関連商品への影響のほか、残暑や台風など天候による影響も懸念される。Go To Travelキャンペーンの活用で需要回復を期待するが、現状ではみえない。地方店は、大手アパレル各社の倒産や撤退の影響を受け、顧客満足度を高める商品やサービスを提供できなくなる可能性からも、更にマイナスが拡大すると考える。
		スーパー(総務担当)	・新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあるようにみえる。
		家電量販店(本部)	・前年は消費税の引上げの影響があったため数字は良くみえそうだが、冬に向けて新型コロナウイルスの影響次第だと考える。
		乗用車販売店(経営者)	・来客数の少なさや販売提案時の返答から、まだ様子見が続くと考えるので変わらないとみている。
		住関連専門店(役員)	・秋冬に入り風邪やインフルエンザ、さらには新型コロナウイルス感染症への対策がまだ見いだせないなかでは、家の中で過ごす時間が夏場よりも一層長くなるとみている。住環境を整えるという流れはしばらく継続するものと考えている。
		その他専門店[酒](経営者)	・人が動かないから物が動かない、物が動かないから金が動かない、金が動かないから人が動かないといった悪循環がそのまま続いている。この先、これ以上悪くならないことを祈っている。
		その他小売[ショッピングセンター](統括)	・新型コロナウイルスの影響による消費者の行動変化により、時間の使い方が変わってきている。特に旅行や外出などの晴れの場で過ごすことを自粛しており、消費の低調さにもつながっている。年内一杯はこの状況が続くとみている。
		高級レストラン(スタッフ)	・新型コロナウイルスの影響次第だが、年内の受注は例年の30%ほどで推移している。
	一般レストラン(統括)	・現状の第2波の後、9月の大型連休で多くの人が動くため、それによって10月以降の新型コロナウイルスの感染者数がまた増加傾向になると考える。また、寒くなるにつれてインフルエンザも発生するため、外食産業の景気は現状と大きく変わらないとみている。	
	スナック(経営者)	・社会全体がマイナス方向でゆとりもなく、収入も減っている現状で、新型コロナウイルス感染症の終息がなければ光は見えてこない。今月の悪い状態と変わらないと考える。	
	旅行代理店(所長)	・新型コロナウイルスのワクチンが完成するが終息宣言が出ない限り、県内や近県への旅行が中心の自粛傾向が続くとみている。	
	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者が余りおらず安心していましたが、ここへきてまた増加し始めている。この先の予想がつきにくい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・分かっている範囲では、今年一杯は大きなイベントが中止になっている。新型コロナウイルスの感染が収束しない限りは、元の生活には戻らないと考える。
		通信会社（職員）	・現状でも訪問及び営業活動が回復している。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス時期で増販を期待していたが、新型コロナウイルスの影響もあり来客数、販売数共に大きな変化がみられない。
		通信会社（店舗統括）	・上向き要素が見当たらない。
		通信会社（役員）	・引き続き新型コロナウイルス感染拡大の対応により、自粛や制限をしながらの営業活動となることや、消費者マインドが冷え込むことが想定され、解約が徐々に増えていくと考える。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの市中感染が広がるなかで、客足が改善するとは考えられない。
		住宅販売会社（従業員）	・日常の活動様式が変化するなか、住宅の住まい方の変化もあり、リフォーム提案件数は増えるともみている。生活スタイルや動線の提案と衛生設備の提案をしっかりと行うことで契約高をキープできると考える。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス終息の兆しがみえないため、厳しい状況が続くと考える。
		住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する歯止め策の効果が一定程度でもみえない限り、小規模の回復と停滞を繰り返すと考える。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・新型コロナウイルスだけではなく、突然の現総理の辞任による政治的な混乱が生じ、しばらくは景気も低迷するとみている。
		百貨店（販売促進担当）	・アパレルの取引先の退店があり、秋冬物商材の投入が例年どおり見込めない。大きな売上となる食品物産催事も、入場人数の制限や出店業者の減少等の新型コロナウイルス感染防止策が影響し、売上が大きく上げることが難しい。
		スーパー（店長）	・景気が悪い状況になるとみているなかで、ディスカウント系の需要が高まってくると予想する。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響がある。
		コンビニ（経営者）	・自粛による影響がある。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス禍の収束がみえてこない、売上の回復は見込めないのではないかと考える。当面は期待できない。
		衣料品専門店（店舗運営）	・新型コロナウイルス対策用品の需要により売上自体は伸びているが、それ以外の商品の動きはまだ戻っていない。秋冬もおうち時間に関する意識は高いと考えているので、従来の商品構成を見直す必要がある。
		家電量販店（店長）	・猛暑によるエアコンの購入や特別定額給付金による先取り分の反動が出そうである。
		家電量販店（店長）	・前年の消費税の引上げで特需があったため今月は前年を大きく落とすが、この後は前年比の見込みが新型コロナウイルスの影響でどうなるか不透明である。消費が落ち込むと考える。
		乗用車販売店（役員）	・経済及び政局の不安定さにより、景気上昇の気配が全くみられない。
		自動車備品販売店（役員）	・ここ数年の暖冬の影響から冬季用品の動きは鈍化するという予想のなか、新型コロナウイルスの影響が更に追い打ちを掛けると考える。外出と浪費を自粛するという客の話も多い。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波により団体や忘年会の問合せがなく、個人客での集客しか見込めないために宿泊客の絶対数が少ない。売上が大きく減少する見込みである。
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・どれだけ新型コロナウイルスの感染予防対策を実施しても、いつ何時自社施設で感染者が出てしまうか全く予測できない。積極的な感染予防対策を実施しているが、その費用も前年にはなく、馬鹿にならない経費増加で負担が増している。
		美容室（経営者）	・秋冬に掛けて予想される第3波への不安がある。インフルエンザとの兼ね合いもあって暮れに掛けて営業できるかどうか心配である。売上の予想がつかない。社員の感染も心配である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染者の減少が予想されていた夏場でも感染第2波といわれるほどであり、これから冬に向けて人出の回復は見込めそうにない。3密を避ける傾向はしばらく続きそうである。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染のピークが終わったというニュースを見ながらも、県内の感染者数は全く減っておらず、近くの飲食店も閑散とした雰囲気である。好調だったネット通販も今までの勢いが全くなく前年並みである。秋の観光シーズンまでに自粛ムードを払拭するニュースを期待している。
	×	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・テレワークにより、オフィス関連のじゅう器等の調達がますます減少していく。
	×	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス不況によりアパレル各社のブランド撤退が始まっている。その後の出店交渉も難航しており、今後の2～3か月先は更に厳しい状況に陥っていると考える。
	×	スーパー（店舗管理）	・新型コロナウイルス禍での税金投入、その回収に伴う政府の増税策が間違いなく降り掛かってくる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・ワクチンの接種など、新型コロナウイルスの明確な解決策がみえていない。
	×	一般レストラン（店長）	・東京での新型コロナウイルスの感染拡大から、県内で飲食店関係の感染が広まり、戻りかけていた会合やイベントが中止になり始めている。昼の客は少し動いているが、夜は全く駄目である。見通しが立たない。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・予約状況は前年比で8月は87%、9月及び10月は40%台で、Go To Travelキャンペーンの利用客は少しずつ増えてはいるが、県民宿泊割引までのインパクトはないので状況的には厳しい。Go To Travelキャンペーンの対象から東京の除外がなくなることを期待している。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・秋冬の予約は徐々に入ってきているが、新型コロナウイルスの感染状況次第でキャンセルが出る可能性があり、先は全くみえない。
	×	テーマパーク（役員）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響もあり、向こう3か月間の予約状況も大変悪く、前年同期比で20～30%の水準になると考える。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で各業界の業績が悪化するなか、今後の景気次第では個人消費の落ち込みが激しくなり、ますます受注が厳しくなる可能性がある。
	企業 動向 関連 (北陸)		-
		一般機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの第2波はあるが、ワクチン開発など明るいニュースも出始めているので、設備投資意欲が少し戻ってくると考える。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・中国を筆頭に海外各国においても、新型コロナウイルスの感染防止策を講じながら経済の回復に向けて動き始めている。自動車メーカーを中心に生産をばん回する動きもみられることから、受注が順調に回復してきている傾向である。当初予定していた休業計画も生産回復により見直しし、休業日数を減らして生産対応に努める予定である。
		食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルス禍はこの先も一進一退の状況が続くように感じている。
		化学工業（総務担当）	・売上は現在のまま推移していく予定である。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・世界規模での新型コロナウイルスの感染拡大は今後も当分続くと考えられ、日本国内でも終息まではかなりの時間を要すると考える。政府の打ち出す経済施策も効果は限定的で、当社が関わる建築業界や自動車業界での大きなマイナス影響は当面継続するものとみている。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入り具合から変わらない。
		精密機械器具製造業（役員）	・正直予測は難しい。客もいろいろな工夫に取り組んでいるものの、具体的な受注の数字となって現れてきているものはまだまだ少数である。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルス対策に政府も地方自治体もばく大な予算をつけてきたが、このツケは来年の新年度予算での公共事業費の削減になりそうである。しかし、今年度は既に決まった予算が執行されているので、景気は変わらないと考える。
		建設業（役員）	・依然として新型コロナウイルスの感染拡大傾向により、設備投資意欲は減退しており、先行きが不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（経営者）	・法人関係の客や業者、そして一般客からも情報や問合せなどが止まっている状況である。
		司法書士	・企業買収同様、事業承継もうまく承継できた案件と、承継者がいないため解散となった案件の双方が多い。
		金融業（融資担当）	・3月決算の第1四半期の業績が発表され、業種ごとの優劣が顕現化している。観光、飲食、自動車、工作機械は総じて業績が伸び悩んでおり、関連業種にも波及している。新型コロナウイルスの感染者数も増加しており、業績と資金繰りの状況を注意深くみる必要がある。
		税理士（所長）	・飲食サービス関係は、新型コロナウイルスの状況次第ではないかと考えるが、今まで安定していた製造業や建設工事業で、新規の設備投資計画や建築計画が中止になっている所がかなり多くみられる。今後の受注見通しが立っていないという企業が出てきており、そういう面で若干景気の落ち込みが心配である。
	x	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルス第2波の懸念が高まっており、経済優先の環境に戻る状況ではない。一部を除くほとんどの企業が業務を縮小しながらであり、更に縮小させる動きもある。
	x	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・8月も前年同月比を下回っている。新型コロナウイルス禍にあって当然といえども、回復の兆しが全くみえない状況である。旧盆以降は特に売上が伸びず、第2波の影響下にあるのかと動くってしまう。
雇用 関連 (北陸)		-	-
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・無理にでも経済を回していけないという思いから、少しずつ上向きになるのではないかと考える。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が継続していることで、求人数や求職者数はほぼ横ばいであると推測する。倒産や閉店が増加して離職者が次の職を求める傾向も考えられるが、雇用側もよほどの人材でない限り簡単に雇い入れることはないと考えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルス禍により求人を控える企業がまだまだ多い。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・新型コロナウイルスの状況が改善されないと上向きにはならない。現状のままだと下降はあるが、上向きはないと考える。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの終息が見込めず、求人を差し控える事業所が多い。
		学校〔大学〕（就職担当）	・状況が変わる要素を見いだせない。
		職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響の収束がみえない。 ・まだ新型コロナウイルスの感染が収束に向かっていない。企業の関連で感染者が出ると事業所は即休業状態となり、大きな損害が発生する。これが景気に大きな影響を与えていくものと考えられる。
x	-	-	

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		*	*
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・2～3か月後には過ごしやすい気候になるため、マスクを着けての外出が定着してくる。人出は少しずつ戻ってくるが、お金の余裕は感じられず、物が売れたりお金を使うことには期待できない。ただし、人の動きが少しでも活発になれば、街の活気につながるため、期待したい。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・結婚式やパーティーなどの予約受注があるため、少しは商品の動きがありそうである。
	百貨店（売場主任）	・感染防止の対策を講じつつ、必要な買物を行うことは、消費者として当たり前になりつつある。日用品を中心に、前年並みの売上に戻ってきた商品も出てきている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（服飾品担当）	・徐々に新型コロナウイルスと共に歩むという意識が、客の中にも芽生えてきている。それに伴い、自己実現のための消費の増加や、デジタルでの購入の進化により、店頭以外の売上が今後は増えてくる。インターネット通販だけではない、オンラインによる接客といった新しいツールによる販売も加速することで、新しいビジネスの形が構築できると予想している。
		百貨店（外商担当）	・富裕層に関しては、株価の回復傾向もあり、高額品の商談が増加傾向にある。
		百貨店（外商担当）	・富裕層を中心とした外商客は、新型コロナウイルスの影響による疲れが出てきており、高級時計や海外ブランド品の購入が徐々に増えると予想される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスと経済の共存が必要となり、巣籠り状態が解消されつつあるため、商品の売上が伸びてくる。
		コンビニ（店員）	・今は給付金などが入ったことで、購買力が上がっているため、好調は一過性で終わるのではないかと感じる。ただし、ふだんはみられない客が来店することも多いなど、少しずつ観光客らしい客も増えてきたように感じる。
		家電量販店（店員）	・季節商材の動きが好調な傾向から、秋冬物の動きも良くなる。また、外出を避ける人が増えることで、内食用の調理家電や暖房器具などの動きが、今年は良くなると予想される。
		家電量販店（営業担当）	・良くなってくれなければ、本当に困る。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・9月も気温の高い日が続くと予想され、飲料や夏物商材の動きは続く。新型コロナウイルス関連の衛生用品も、同様に動く予想される。
		高級レストラン（スタッフ）	・少しずつ予約の人数が増える動きになりそうである。
		都市型ホテル（客室担当）	・Go To Travelキャンペーンの手続きを簡素化し、事業者側への負担にならないよう、手軽に利用できる仕組みを作ることが必要である。また、新型コロナウイルス対策、特にワクチンの開発が急務である。
		旅行代理店（役員）	・地域共通クーポンの利用が始まれば、景気回復に向けた、全国的な動きとの相乗効果が期待できる。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、当面この傾向は継続すると予想される。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で、アミューズメント施設の売上が良くない。回復傾向にはあるものの、先行きの不透明さは否めない。
		観光名所（経理担当）	・現在も新型コロナウイルスの感染者は増えているが、重症者数が増えているわけではなく、メディアでもそれが強調され始めている。その影響で危機感が薄れ、感染者の増加だけでは気にならなくなり、外出する人が増えると予想される。
		競艇場（職員）	・SG、G1競走や女子レースなど、全体的に売上は右肩上がりである。特に、新型コロナウイルスによる外出の自粛期間中に電話投票会員が増加し、売上が続いていることから、しばらくは順調に推移する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染収束までは、今の状況が続く。
		一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・良くなる材料がない。今後は失業も増えることが予想される。
		一般小売店〔花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、現時点で取引先が多数閉店している。このまま廃業のおそれもあるため、まだまだ景気回復の兆しがみられない。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・現状維持が精一杯である。今後の新型コロナウイルスの問題や、ここまで落ち込んだ景気に対する不安などが大きい。
		一般小売店〔呉服〕（店員）	・宝石やカバンを扱っている呉服店もあるが、当店は着物だけを販売している。着物は必需品ではないため、来店客は減っている。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・これから気候も良くなるため、1日も早く感染が収まることを期待する。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染による、いわゆるコロナ疲れが定着しつつあり、その反動で身の回り品の動きも回復しそうである。一方、インバウンドと同様に、ギフトや贈答品の需要はまだ回復が期待できない。
		百貨店（企画担当）	・外国人売上の回復は当面望めず、国内客の動向についても、新型コロナウイルスの影響が続くため、今月と同様の状況になると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少していくとは思えず、このままの状態が続くと予想される。
		百貨店（販促担当）	・春先と夏場の新型コロナウイルスの影響を比べると、発症件数は夏場の方が多いが、緊急事態宣言が出ていないことや、生活レベルでの順応などで、一定の消費の回復はみられる。ただし、秋から冬に掛けての推移がみえないなか、消費者の心理が明るい方向に進むとは思えず、引き続き厳しい状況が予想される。一方、昨今の異常ともいえる気候については、消費を促すチャンスでもあるため、すばやい対応が重要と考えている。
		百貨店（サービス担当）	・来月から下半期の営業となるが、自粛していた催事も少しずつ再開することで、売上の確保を目指す。ただし、急激に改善するとは考えにくく、感染の第2波、3波の到来に対し、予断を許さない状況が続く。
		百貨店（商品担当）	・一旦持ち直しかけた経済活動は、新型コロナウイルスの感染拡大で再びブレーキが掛かっている。秋に迫った米国大統領選挙のほか、ここへきて日本でも首相辞任により政権が不安定な状況となっている。新型コロナウイルスとの共存を基盤とした景気回復は、かなりの時間を要する見込みである。
		百貨店（販売推進担当）	・アパレルショップやレストランなど、業績不振に伴う倒産や事業停止での撤退が相次いでいる。仮に新型コロナウイルスの感染が収束しても、販促を含めて100%の体制で運営することはとても難しく、すぐに改善することはできない。
		百貨店（マネージャー）	・全体的には緩やかな改善が続くと予想されるが、新型コロナウイルスによる企業業績の悪化で、先行きの雇用関係の動きがみえない。その結果、中間層の客による購買力は上がらず、消費も減少するという流れが続くため、一進一退の状況が続くであろう。
		スーパー（経営者）	・感染は再び落ち着き始めているが、まだまだ外食や飲み会を楽しむ雰囲気ではない。秋、冬はこれまでと同様、家庭で飲食する傾向が続くと予想される。
		スーパー（店長）	・今の状況は当面変わらないが、今後は体力のない企業のリストラによる、更なる景気の後退が心配される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの問題が収束に向かわない限り、今の状態が続くと予想され、経済全体は厳しい状況が続く。
		スーパー（店員）	・暑過ぎて果物が育たないようで、入荷が少なく、値段も高いままであるため、余り期待はできない。野菜は天候次第ですぐ値段が上がったりするため、今後どうなるかは分からない。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスに対応した新たな生活習慣が定着し、今後3か月も状況は変わらないと予想される。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が高止まりとなるなか、家庭内調理での食品需要も好調を維持している。品薄であったパスタや粉物も十分に入荷しているため、食品スーパーの好調は続く。
		スーパー（開発担当）	・新型コロナウイルスの影響で、野菜価格などの高騰が続いており、原油価格も上がっている。政府の具体的な景気対策もないため、このまま景気が上向くことはない。
		スーパー（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、スーパーによる外食需要の取り込みが続いており、当社では堅調な売上が続いている。今後は消費全体がやや落ち込むことが予想されるものの、当社を取り巻く状況はしばらく安定的に推移すると考えられる。
		コンビニ（経営者）	・命は大切であるが、経済を動かさなければ何も始まらない。今後は発想を変えねばならないが、急激な変化についていけず、体力のない会社は倒産するしかない。今までの経済は一体何だったのか、分からなくなることが多い。
		コンビニ（経営者）	・在宅勤務というスタイルが定着しつつあり、このまま当面は、来客数が以前の水準には戻らないことが懸念される。
		コンビニ（店員）	・現状維持ができればよいが、景気の回復につながる要素がない。
		コンビニ（店員）	・イベントを含め、何もかもが中止となり、売上が増える見込みはない。
		衣料品専門店（店長）	・客の中で、特に優良企業とされる大手企業の客に関しては、新型コロナウイルスの感染者が増えるにつれて、リモートでの仕事が増えてくるため、見通しが厳しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響でどんどん注文が減り、売上が落ちている。今後も来客数が増えてくればうれしいが、先行きは不安である。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で、客はスーツをオーダーする気にならないようである。
		乗用車販売店（経営者）	・国のかじ取り役も変わるなか、良い材料は乏しい。一般販売が不振で、保険関連の回送業務にシフトする業者も出始めた。自動車業界は低迷している。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスとの共存が常態化してきたため、今以上の活発化を期待しているが、現状のままで安定するのではないかと感じる。
		乗用車販売店（営業担当）	・まだまだ先行きは感染の不安が続くため、低調な推移になると予想される。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が3か月後に良くなるとは思えない。今後は感染状況次第で、客の心理に影響が出てくる。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・消費の支援が一連のGo Toキャンペーンに偏り過ぎである。消費税減税などで、もっと公平な要素を持たせる必要がある。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、先行きは不透明である。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が一向にみえないなか、引き続き厳しい状況を覚悟する必要がある。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・マスクの入荷は安定してきたものの、相変わらず体温計は入荷が不安定であり、使い捨てグローブも値上げとなるため、売上に影響が出る。
		高級レストラン（企画）	・感染者数に応じて需要が増減を繰り返すなか、国の支援策による効果は限定的である。2020年度を通して、全体としてなだらかな回復基調となる。
		一般レストラン（経営者）	・高齢者や、持病のある人はまだまだ警戒感が強く、外食には出掛けない。市内の公共施設の利用はまだ再開されていないが、再開後は人の出入りが多少は生まれ、外食のきっかけになりそうである。
		一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、現状ではまだまだ先がみえない。
		一般レストラン（企画）	・9月は前年の消費税増税による反動があると予想しており、更に悪化することになる。10月以降は逆に少し上向くと予想しているが、先行きが全く読めず、不透明な状況である。
		観光型ホテル（経営者）	・観光業は、新型コロナウイルスの不安が取り除けない限り、まだまだ悪くなる。
		観光型旅館（経営者）	・しばらくは今の状況が続くと予想される。団体客などの動きはまだなく、小さな高級旅館に今後も客が集中しそうである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチンがまだできず、直近は感染の第2波が収まってきたが、秋から冬に掛けて、第3波やインフルエンザなどへの警戒から、外出は増えないと予想される。Go To Travelキャンペーンの利用者も増えず、厳しい状況だと感じる。
		都市型ホテル（フロント）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は大きい。感染の予防とともに、当社を含めて経費の削減目的で出張費をカットする企業も増えており、今年度の回復は厳しい。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染の完全な終息は無理でも、激減しない限りは、期待することができない。
		都市型ホテル（総務担当）	・全国的に新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、Go To Travelキャンペーンの効果も限定的である。特效薬やワクチンが実用化されない限り、現在のような状況が続くと考えられる。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの感染下での新しい生活様式に慣れつつあり、オンラインでもよいという客と、まだまだ対面がよいという客の両方がいる。この状況が長引けば長引くほど、前者が増えるように感じている。ただし、全体としては、特效薬などが出て来ない限り、この閉塞感からは抜けられないと感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・ 今後はタクシーの数も徐々に増える気配が感じられる。今まで我慢してきたこともあり、今後は人通りが増えると予想されるため、全体としては変わらない。
		タクシー運転手	・ 新型コロナウイルスの影響で、企業の営業活動や人的交流が減少し、ハイヤー予約が低水準で推移している。
		通信会社（社員）	・ 新型コロナウイルスの感染収束がみえない限り、良くなるとは思えない。
		通信会社（企画担当）	・ 新型コロナウイルスの感染収束のめどがみえなければ、大きくは変わらない。
		遊園地（経営者）	・ 前月と同様に、分からないという回答である。新型コロナウイルスに慣れつつあるのか、消費に少し動きを感じるものの、まだまだ規模が小さく、希望が持てるまでには至らない。最低限の雇用を維持しつつ経営のスリム化を図り、何とか耐え忍ぶ日々である。
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・ 全く予想が付かない。感染の第3波がくれば、悪い状況が続く。
		その他レジャー施設 [複合商業施設] (職員)	・ ワクチンの開発や効果の検証ができるまで、景気の改善は期待できない。
		その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・ プロ野球の観戦客の入場は、依然として5000人を上限としており、更なる緩和はまだ決まっていない。3か月後の状況も不透明である。
		美容室（店員）	・ 出歩くのを控えている人が多く、時間もあるため、せめてきれいにしたいと、来店する客が増えている。
		その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・ 休校などに備えて、自習の必要性を感じている保護者もいるが、より環境が整っている塾に入る生徒も出てきている。
		住宅販売会社（経営者）	・ 新型コロナウイルスに対する安心感が生まれるまでは、今の状況が続くそうである。
		住宅販売会社（総務担当）	・ 新型コロナウイルスの感染に収束の兆しが見えなければ、状況の好転は見込めない。
		その他住宅 [住宅設備] (営業担当)	・ 景気が低迷している状況は変わらないため、新築着工や高額なりニューアル案件の成約が増える要素は少ない。
		その他住宅 [情報誌] (編集者)	・ 経済全体の回復が進まない限り、新築市場全体の活気は戻りにくい。新築戸建て市場も低価格物件が中心であり、市場全体をけん引するものではない。
		一般小売店 [衣服] (経営者)	・ ショッピングモールでは最低限の来客数がみられるものの、商店街の店舗では、来客数が極端に少ない状態が続いている。当社を含め、商店街やモールの店舗では、スタッフを半分に減らして、店舗を継続する体制ができ上がりつつある。
		一般小売店 [珈琲] (経営者)	・ 大手飲食チェーンの閉店情報が多数報じられており、今後は販売先の飲食店でも同様の動きが予想される。
		一般小売店 [花] (店長)	・ 終わりなき新型コロナウイルスショックで、厳しい状況となる。
		百貨店（売場主任）	・ 新型コロナウイルスの感染動向は予測が付かないものの、ファッション関連では取引先のショップの撤退、商品の大幅な減産が予想される。また、客のライフスタイルの変化により、スーツなどのビジネス関連商材が苦戦するほか、防寒商材も苦戦が予測される。主力商材の悪化を補うための売上確保は、困難となりそうである。
		百貨店（売場主任）	・ 新型コロナウイルスの影響への対応が今後どうなるかで、見通しが大きく変わる。現状は、人の移動が増えれば感染者数が増加する可能性が高いため、景気の劇的な改善は今のところ見通せない。
		百貨店（マネージャー）	・ 秋から冬にかけては、インフルエンザを含む感染症への不安から、来店モチベーションが下がりそうである。大型の催事の復活も予定しているが、3密対策で集客を制限するため、売上が飛躍的に伸びる見込みは薄い。
		百貨店（宣伝担当）	・ ワクチンが開発されて、全世帯に行き渡る状況にならない限り、以前の水準に戻ることは予想しにくい。取引先の秋冬商材の生産や、雇用にも影響が出始めており、予断を許さない。
		百貨店（売場マネージャー）	・ 当社だけを見ると、9～2月の下期は、北海道物産展やその他の物産展といった集客催事が開催できない。また、年末年始における歳末売出しや福袋なども中止となるため、更に来客数が減る可能性がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・夏のレジャーシーズンが終われば、更に行動範囲が狭くなり、消費も減ると予想される。
		スーパー（経理担当）	・給付金の影響により、家計の貯蓄残高が一時的に増加したが、今後はボーナスの減額や新型コロナウイルスによる所得減少への不安から、節約意識の高まりが予想される。それに伴い、節約しやすい食費の減少が進む恐れがある。
		コンビニ（経営者）	・このまま感染者が増えれば外出が減るため、今よりも悪くなると予想される。
		コンビニ（店長）	・長引く新型コロナウイルス対策も、特に目に見える効果はなく、新しい生活様式に加え、実際の収入減少の影響も単価に反映されそうな気がする。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が収束する可能性は薄く、所得が減る家庭が出ることで、消費を抑える傾向が一層強まると予想される。
		家電量販店（店員）	・リフォーム関連の商品を扱っているが、最近はインターネットでの問合せの増加とともに、価格に対する評価が更に大きくなっている。内容よりも価格重視となり、初回の商談にまで至らないケースが増えている。
		家電量販店（企画担当）	・消費者の収入が落ちており、秋に向けて耐久消費財の買い控えが起こるとの予想から、先行きが不安である。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第2波や、インフルエンザの感染状況にかかっている。実体経済には、徐々にマイナスの影響が出てくると予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・車検や一般修理の依頼は、例年どおり入ってきているが、新車の販売がほとんどない。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・生活必需品の売上は上向きであるが、自分用のプラスアルファの購入は余り動きがない。例えば、化粧品などは売上が厳しかったり、以前よりも万引きが増えているため、世間の景気は悪くなっていると感じる。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・対策を講じようにも、新型コロナウイルスの感染が落ち着いたため、全てが消極的になる。日々の出費はかさむのに対し、収入の増加には期待ができない。
		観光型ホテル（経営者）	・9月以降は団体客が主力となるが、今年はほぼ予約が見込めない状況のため、苦戦が必至である。Go To Travelキャンペーンと絡めて、いかに個人客にアピールできるかが勝負の分かれ目になる。
		観光型旅館（経営者）	・県内の観光キャンペーンは9月で終了するため、10月以降の売上は落ちると予想される。
		観光型旅館（団体役員）	・新型コロナウイルスの感染収束がみえない状況であり、7～8月の繁忙期以降は閑散期に入るため、先がみえない。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスに対する人々の心配が、少しでも安心に変わることにより、自粛の動きが、引き潮から満ち潮に変わる可能性はある。
		タクシー運転手	・この状態では、また景気が下向きになる。
		通信会社（経営者）	・イベントや建築関係が低迷している。
		テーマパーク（職員）	・景気が良くなるような経済政策がないなかで、何がどう転べば景気が良くなるのか、疑問である。何もしなければ状況も好転しないのは、当たり前のことである。
		その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、いつも暖かい時期は来客数が増えるが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、思うようには伸びていない。そのため、秋になれば更に悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第2波、第3波への懸念による、消費マインドの悪化が気になる。
		住宅販売会社（従業員）	・実体経済の落ち込みやテレワークの定着などにより、オフィスの縮小や賃料の値下げが進むと予想され、不動産業の収益悪化が顕著になる。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、3密となる集客イベントが実施できないため、住宅展示場への集客数の回復は期待しにくい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔衣服〕 (経営者)	・衣料品の需要期である秋冬に入っていくが、今後の新型コロナウイルスの感染状況は読めず、これまで以上に流行するのではないかと心配している。そうなれば、再び休業する方向になるかもしれない。仮に休業が避けられたとしても、生活必需品ではない衣料品店に来店してもらえなかろうか不安である。先が全くみえないため、不安が大きい。
	×	一般小売店〔花〕(店員)	・新型コロナウイルスの影響が長引き、ますます購買意欲が下がっていくと予想される。
	×	百貨店(企画担当)	・9月以降に気温が下がっても、新型コロナウイルスの影響は続く。さらに、百貨店の主力商品である衣料品の秋物製品が、メーカーの休業などの影響で不足することが予想される。消費者が外出を控えるため、百貨店で扱う商品の販売は低迷する。
	×	百貨店(営業推進担当)	・企業業績の悪化による個人消費への影響が出てくるのはこれからである。9～10月に発表される、第2四半期の業績悪化による所得への影響が出てくれば、支出が更に引き締められる。また、新型コロナウイルスの影響が短期では終わらないことが明らかになればなるほど、サプライチェーンへの影響も出るため、当面は好材料がない。
	×	スーパー(経営者)	・新型コロナウイルスの感染の収束が長引けば、更に様々な業種の業績や雇用に大きな影響が出て、景気は低迷する。
	×	スーパー(店長)	・アパレルや旅行、飲食関連の取引先、テナント会社からは、このままでは経営がもたないという声が聞こえてくる。
	×	衣料品専門店(経営者)	・客は外に出て買物をしなくなっている。家から出ないように、買物に行かないように宣伝されているため、服を買う意欲や、外出する意欲が失われている。こちらは服を売らなければ、お金にならない。
	×	衣料品専門店(経営者)	・大人数での会合がほとんどなくなり、良い服を着る機会がなくなっているため、アパレル業界は厳しい。
	×	家電量販店(人事担当)	・秋以降も新型コロナウイルスの感染拡大による外出の自粛が予想されるが、巣籠り需要については一巡したと考えられる。新たな需要の創出が望まれるが、スポーツや音楽などの各種イベントも自粛の可能性があり、今後は厳しい状況が続くと予想される。
	×	乗用車販売店(経営者)	・欧米や日本は、新型コロナウイルスの感染の封じ込めには完全に失敗した。さらに、日本はGo To Travelキャンペーンで地方の感染者を増やし、全国の消費者のマインドを委縮させ、経済に大打撃を与えている。ワクチンの完成が確認できるまでは、しばらく景気は良くならない。
	×	住関連専門店(店長)	・新型コロナウイルスの影響が全く回復していない。高額受注を見込める客が激減したまま、戻って来ない。
	×	その他専門店〔宝飾品〕(販売担当)	・この先の感染の収束は想像が付かない。新型コロナウイルスとの共生を考えても、購入層は若年層よりも感染の危険性が高い高齢者の割合が大きいため、来店や催事への来場は期待できない。
	×	その他小売〔インターネット通販〕(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が続き、先行きの不安もあって客の購買意欲が低下している。各店舗も売上の見通しが立たず、仕入れを控えるという悪循環が生じ、売上が低迷する。
	×	一般レストラン(経営者)	・飲食店を中心に、今よりも閉店や倒産する店舗はまだ増えそうである。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕(店員)	・ここ2～3か月は、新型コロナウイルスの影響で来客数が減り、景気も回復することはない。今の状況では、ワクチンが開発されない限り良くならない。
	×	都市型ホテル(スタッフ)	・Go To Travelキャンペーンの利用者数も少なく、客室の稼働率は低水準で横ばいとなっている。宴会場についても、セミナーなどの開催はあるものの、人数を制限して懇親会は行わないケースが多く、売上の増加にはつながらない。レストランは、5名以上の会食禁止の要請が出た直後からキャンセルが相次ぎ、2～3名の食事会の予約が入っているのみとなっている。
	×	旅行代理店(店長)	・新型コロナウイルスの影響のうち、改善できる物が全く見当たらない。感染者が少し減少しているものの、先行きが見えない不安のなかで生活している。企業の状況も悪化し続けており、今後どうなるかは分からない。
	×	観光名所(企画担当)	・全く先が見えない状況である。感染が収まったとしても、回復が進むかどうかは分からないため、非常に不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	住宅販売会社（経営者）	・住宅需要が減少傾向となり、相場も崩れてくる。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・現在は新型コロナウイルスの影響で、全産業が停滞しているが、新規の取扱商材が販売、供給共に予定が固まり、増収増益となることが期待できる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・良くなることはないが、当社が持つ紫外線やオゾン関連の技術を、10月7日から開催される見本市に出展する予定である。運よく売れるかもしれないが、新型コロナウイルスの影響が予想以上に続けば、見本市は流れるため、予測には加えられない。
		化学工業（経営者）	・全体的に受注は少しずつ回復しているが、飲食店向けやホテル向けの業種は依然として悪く、今後は底割れも懸念されるため、余り過度な期待はできない。
		化学工業（管理担当）	・取引先からは、9月以降は発注量を増やすとの情報が多い。
		金属製品製造業（経営者）	・自動車関連の受注内示では、稼働率は年末に掛けて80%まで回復しそうである。
		金属製品製造業（開発担当）	・冬になると忙しくなる。
		金属製品製造業（営業担当）	・9月以降も、少しずつではあるが受注状況に回復傾向がみられる。
		建設業（経営者）	・回復ペースが緩やかなため、元に戻るには時間が掛かるが、動き出しそうである。
		繊維工業（総務担当）	・消費が減少気味であり、集客が進んでいない。また、催事の時期が先延ばしとなっているほか、期間の延長で経費負担が増えている。
		繊維工業（団体職員）	・当産地の最大の需要期である、年末需要への動きが全く予測できない。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・更なるコストダウンの動きが加速し、印刷費といった削減しやすい経費は影響を受けると予想される。
		化学工業（企画担当）	・利益が出るはずであった土産用の菓子が、インバウンド需要がゼロになったため壊滅的な状況になっている。国内の食品需要も低迷しており、この状況は大きく変わらないと予想される。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・国内のメーカー、商社からは新たな引き合いがきているなど、極端な落ち込みはないように感じる。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・今も外出が若干自粛される傾向にあるが、家電の販売はそこまで落ちておらず、しばらくは現状維持が見込まれる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注が増えず、引き合い件数も少ない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・今後、新型コロナウイルスの影響が出る可能性がある。
		建設業（経営者）	・現状は、応急修理などのどうしても必要な工事が多いが、新型コロナウイルスの打撃を受けた企業の設備投資は慎重である。それでも体力のある企業は、設備投資を粛々と続けると予想される。
		輸送業（商品管理担当）	・例年は夏が終わると売上が減るが、今年は売上が変わらなかったため、このまま変化がないか、少し悪くなる。
		輸送業（営業担当）	・通販関係の荷物の増加に対応するため、人員を増やしたが、利益の少ない状況はしばらく続きそうである。
		輸送業（営業担当）	・今後は新型コロナウイルスの影響も少なくなり、例年どおりの売上に戻る。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新型コロナウイルスの影響で、身の回りの動きが控え目になっているが、この環境に慣れてきたことで、何とか営業を継続できている。新型コロナウイルスの感染が収束し始めなければ、今の様子は変わらない。	
	広告代理店（管理担当）	・常に新型コロナウイルスの動きを確認し、取引する状況は変わらない。	
	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続く。	
	広告代理店（営業担当）	・多くの業種で、広告が以前のレベルに戻るまでには、まだ時間が掛かりそうである。	
	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・まだまだ景気が良くなることはない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発、実用化されない限り、外出を控える動きは続く。さらに、秋から冬に流行するインフルエンザも、更なる景気悪化につながると予想される。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で難しくなっている。感染が収束するまでは、今のような状態が続く。
		食料品製造業（従業員）	・業務用が回復すれば、売上がプラスとなるのは間違いないが、引き続き外食需要は自粛ムードとなるため、悪いままとなる。
		食料品製造業（営業担当）	・今後は気温が下がるにつれて、新型コロナウイルスの感染が拡大する可能性があるため、消費は少し悪くなる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先からは、増産に関する情報が無い。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・飲食店などの景気が回復しそうにない。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・緊急事態宣言は解除されたが、依然として新型コロナウイルスの感染収束の見通しは立たない。首都圏との往来自粛や海外渡航の禁止が続き、展示会の開催などに支障を来しているなど、影響は長期化する。
		建設業（経営者）	・分譲住宅も秋以降の客の動きが鈍く、業者間の競争が激しくなっている。
		通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で更に悪化すると考えられる。
		金融業（営業担当）	・大阪府内での感染拡大により、大きな影響が出る。
		金融業（副支店長）	・景気の状態は、政府の新たな支援策がなければ、回復に時間を要すると予想される。
		司法書士	・季節的に新型コロナウイルスの影響が更に拡大するため、経済活動への制約が多くなることが懸念される。
		経営コンサルタント	・今の状態が続けば、中小企業は新型コロナウイルス対策での支援金や給付金を使いきり、廃業せざるを得ないケースが増え始めると感じている。
	×	繊維工業（総務担当）	・2～3か月先の製造、販売の見込みは、現状よりも悪化すると判断している。根本的な問題は、新型コロナウイルスの感染拡大で今年前半に出た大量の在庫であり、それを処理する間は、新たな製造や販売が期待できない。
	×	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの問題が、営業や企業活動の大きな妨げとなっている。新型コロナウイルスの問題の根本的な解決が、上向きに転じる条件になる。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・現在は既に最悪の状態であるが、今後は異次元の不景気となるおそれがあるため、ここ数か月は更に悪くなる。
	×	不動産業（営業担当）	・今後も新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、景気の悪化は続く。飲食もできず、アパレル関連も購入する動機がなくなっているため、今後も悪くなる。
	×	経営コンサルタント	・当社も取引先も、これ以上は悪くなりようがない。政府からの給付金を利用しながら、何とか耐え忍んでいる。感染の早期収束が待たれるが、先行きの見通しは立たない。
	×	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・季節性インフルエンザが流行する時期に入らないうちで、新型コロナウイルスの影響がどのような事態を引き起こすのか、想像ができない。ただし、良い影響でないことは確かである。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染の収束時期が見通せず、経済状況も非常に悪い。
雇用 関連 (近畿)		-	-
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、下半期に向けて、徐々に回復すると予想している。
		人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスの存在を冷静に見直し、経済活動を再開する動きが高まってくると期待している。
		人材派遣会社（営業担当）	・多少ではあるが、求人数が持ち直していることもあり、予断は許されないものの、2～3か月で多少は良くなると予想している。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・年末調整の事務など、季節的な業務が増える。
		人材派遣会社（営業担当）	・求職者の動きから、求人の増加は感じられるものの、求人案件の受注は難しい状態である。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・やはり年内は先行き不透明な状況が続くと感じる。営業先で話を聞いていても、劇的に改善したという話はなく、何とか今の状況と折り合いをつけて、手探りで業務を続けている企業が多いように感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	・新聞広告の求人数が縮小均衡を続ける状況に、大きな変化はない。新型コロナウイルスの感染第2波の到来が指摘されるなか、Go To Travelキャンペーンも、関西の観光に期待どおりの貢献はしていないと感じる。政府も自治体も新型コロナウイルスと共存する施策を選択しており、当面は景気の底のような状況が続くと予想される。
		職業安定所(職員)	・求職者の動きが活発化しており、新規求職申込件数は前年比で10%程度増え、窓口での相談件数も30%程度増えている。その一方、求人は激減傾向にあるため、当分はミスマッチの拡大が懸念される。
		職業安定所(職員)	・業績の悪化による希望退職や、新型コロナウイルスによる先行き不安で退職者が増えており、新規の求職が若干増える傾向にある。
		職業安定所(職員)	・今まで無資格者や未経験者を含め、広く採用していた飲食業者が、今後は経験などで募集を絞っていくという声がある一方、建設土木業で1～2年ぶりに求人の提出があった企業や、初めて求人を出した企業があるなど、今後の求人動向は不透明である。
		民間職業紹介機関(職員)	・求人数は少しずつ増加傾向にあるが、新型コロナウイルスの感染者数の収束傾向はみられない。
		民間職業紹介機関(支社長)	・6月頃との比較では、新型コロナウイルスの影響による求人減少は止まり、やや回復基調にある。ただし、リーマンショック時ほど減少幅は大きくないものの、その後の回復幅も大きくなく、横ばいか、小幅の改善傾向が続くため、当面は低位安定の状況が続くようである。
		学校〔大学〕(就職担当)	・全てが不透明で、先行きの判断が困難である。
		人材派遣会社(経営者)	・10月からの派遣需要は先細りしそうである。派遣社員を上手に使っている企業は、的を絞って良い人材を確保する傾向にある。テレワーク関連の企業を中心に、今後はこの傾向がますます強くなる。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染第2波の影響が懸念される。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・緊急事態宣言が解除された後も、企業には採用者数を厳選する動きがある。また、22年卒の新卒採用を見越したインターンシップでは、5日以上就業体験の実施が対面では難しく、実施する企業数が減る傾向にある。ただし、1日単位の業界研究セミナーを実施する企業が増加するなど、早めに質の高い学生を確保し、採用数自体は増やさない可能性がある。
	×	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・まだまだ新型コロナウイルスによる業績悪化の影響は続く。特に、関西の地元企業については、小売や旅行関連といった個人向け業種の動きが全くみえない。
	×	学校〔大学〕(就職担当)	・新型コロナウイルスの影響で企業の業績は悪化し続けており、効果的な対策も講じられていないため、どんどん景気は悪くなる。

9. 中国(地域別調査機関:公益財団法人中国地域創造研究センター)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)		-	-
		一般小売店〔靴〕(経営者)	・インターネットからの受注が微増しているため、店舗売上の減少分を補える。
		スーパー(店長)	・飲食店の営業時間が元に戻るなど周辺環境が徐々にではあるが好転しているため、今後、景気は良くなる。
		コンビニ(エリア担当)	・来客数が回復傾向にあるため、景気はやや良くなる。
		家電量販店(企画担当)	・3か月後には新型コロナウイルスも終息し、人々が通常の生活に戻り、景気もやや良くなっている。
		乗用車販売店(店長)	・良くも悪くも客が新型コロナウイルスに慣れてきて、秋口に発売される新型車が登場しても春のように自粛ムードは強くないため、来客数は確実に増加する。
		乗用車販売店(営業担当)	・新型車や改良車の投入もあり、来客数が増加傾向にあるので、今後購買意欲が改善する。
		乗用車販売店(営業担当)	・まだまだ新型コロナウイルスの影響があるとはいえ、新規客の来店が増加し、購入を保留していた客も戻ってきているため、前年には程遠いが、徐々に回復してくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの今後の状況次第だが、乗客数が増加していることや今後の新型車の投入効果で景気はやや良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・9月までは前年の消費税引上げ前の駆け込み需要の反動で厳しい状況が続くが、10月以降新型コロナウイルスが落ち着けば、景気はやや良くなる。
		一般レストラン（店長）	・お盆明けより景気が徐々に回復しており、今後も新型コロナウイルスの影響が弱まれば、非常に緩やかではあるが、景気は回復していく。
		スナック（経営者）	・このままの状態が続けば、廃業せざるを得ない状況まできているので、今後は良くなる。
		都市型ホテル（企画担当）	・東京の対象除外解除や地域共通クーポンの発行開始などGo To Travelキャンペーンが本格的に動き出し、Go To Eatキャンペーンや各自治体の需要喚起策が順次実施されることで来客数が増加する。レストランも高単価店舗の予約率が高まっており、個人のイベントなどでの利用が増加していることから、今後景気はやや良くなる。
		都市型ホテル（総支配人）	・Go To Travelキャンペーンの予約が動き出し始めている。トップシーズンの秋に期待しているが、新型コロナウイルスの感染動向により不透明感は否めない。
		タクシー運転手	・今が良くないので良くはなるが、急激には良くならない。
		テーマパーク（営業担当）	・現在は閑散期であるが、2～3か月後には集客が期待できるイベントが開催される。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響も緩和してくるため、景気はやや良くなる。
		商店街（理事）	・景気は新型コロナウイルスの終息次第である。
		商店街（代表者）	・秋に予定されていた集客イベントの中止が早々と決定するなど、今後の集客が見込めないため、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・全ての行事が中止になっているので、消費が上向かない。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、今後も客が外出して買物するという雰囲気にはならない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため景気は変わらない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息すれば景気は良くなる。ただ、新型コロナウイルスの感染者数が減少しても、身近に感染者の発生があれば、来客数は急速に減少していくし、旅行やイベント等がなくなれば売上も減少する。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息するか、新たなライフスタイルが確立されない限り、来客数は増加せず、売上は確保できない。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明であるが、現状から大幅に改善するとは考えにくいので、景気は変わらない。
		百貨店（営業企画担当）	・徐々に催事も開催していくが、今後の近隣の感染状況によっては悪くなる可能性もある。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスが終息し生活様式が以前の状態に戻らない限り現在の状況が続く。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、現状維持が続く。
		スーパー（店長）	・購買行動に変化の兆しがみえないため、景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・自粛ムードが続くため、景気は変わらない。
		スーパー（総務担当）	・生鮮野菜等の価格が安定し、商品が出回らないと厳しい。
		スーパー（管理担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は変わらない。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で、買物に出掛ける客も少なく、今後も状況は変わらない。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、現状から判断すると景気は変わらない。
		スーパー（業務開発担当）	・競合が厳しくなる一方で、不漁や台風シーズンを迎え、商品の価格高騰が起きると、客の節約や買い控えが懸念される。
		スーパー（営業システム担当）	・新型コロナウイルスの影響が続き、景気回復の材料が見当たらないため、景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・景気はすぐには良くならない。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・しばらくは自宅で多くの時間を過ごすライフスタイルが継続し、スポーツ観戦や観光に伴う需要が元に戻る見込みがないため、現状の数値が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は良くならない。
		乗用車販売店（営業担当）	・9月の決算フェア等での集客が望めないため、景気は変わらない。
		乗用車販売店（店長）	・土日の来客数が増加しないなど客の動きが良くなる要素が見当たらないため、今後も景気は良くならない。
		自動車備品販売店（経営者）	・前年の消費税引上げ前の駆け込み需要の反動と新型コロナウイルスの影響で景気は良くならない。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は良くならない。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・このまま旅行や外食がままならない状況が続けば景気は良くならない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、当分はこの状態が続く。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・新型コロナウイルスの影響がしばらく続くため、景気は変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザの影響が懸念され、夜の外出ムードが後退する。アルコールを伴う会食の減少や3密の回避もあり、売上は減少する。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが終息し、客の安心感が醸成されない限り、負のスパイラルに歯止めが掛からず、景気は変わらない。
		観光型ホテル（営業担当）	・地方でも新型コロナウイルスの影響が大きくなってきており、今後の観光業は厳しくなる。
		観光型ホテル（副支配人）	・現在順調に宿泊の予約が入っているため、これ以上増加しない。また、宴会の予約も新型コロナウイルスが終息していないので当分見込めそうにない。
		都市型ホテル（企画担当）	・Go To Travelキャンペーン等の後ろ盾はあるものの、人々の心理がついていってないので、利用が思っているほど伸びていかない。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で多くの客が当分の間旅行できない。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で旅行市場に大きな変動はなく、引き続き厳しい状況が続く。
		タクシー運転手	・9月は厳しい残暑で利用客数が現状維持となるが、新型コロナウイルスの状況次第では、客がタクシー利用を控えるようになる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息が見込めないが、これ以上悪くはならない。
		通信会社（経理担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は変わらない。
		通信会社（企画担当）	・景気は新型コロナウイルスの終息次第であるが、仮に早く終息したとしてもこれまでのダメージが大きいので、現状維持となる。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため景気は変わらない。
		テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は変わらない。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスが落ち着かない限り、景気は上向きにはならない。
		その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響で8月の売上も前年比60%前後になっており、今後景気が良くなる要因が見当たらない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、特に家に入ってほしくないという客の声もあるため、民間からの仕事が良くなる見込みはない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、引き合いが大幅に改善されることはない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で景気は変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・年内は好転する材料が見当たらず、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・今後も厳しい状況が続く。
		商店街（代表者）	・自粛ムードの一方、新型コロナウイルスと共存、共生しながら経済活動をしようという動きも出てきているが、景気は良くならない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、どのような販売方法が効果的か毎日悩んでいる状況であり、今後も景気は良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔食品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で経済が疲弊し、足元の景気回復が遅れており、今後もデフレ基調が続く。
		百貨店(経理担当)	・新型コロナウイルスの影響で業績が悪くなり退店したショップもあり、新型コロナウイルスの先行きが不透明な状況を考えると状況は悪くなる。
		百貨店(外商担当)	・新型コロナウイルスの状況がどうなるかで変わってくるが、現状でも、大きなイベントができない状態であるし、市内のイベントも中止になっていることから、今後状況が良くなるとは考えにくい。
		百貨店(販売計画担当)	・ボーナスの支給額の減少や新型コロナウイルスによる自粛活動の加速で景気はやや悪くなる。
		スーパー(店長)	・特別定額給付金の効果がほぼ終了し、9月からマイナスポイント事業が開始するが、分かりにくい、上限額が低いという声もあり、景気回復の効果は余り期待できない。
		スーパー(販売担当)	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、客単価や買上点数が下落傾向にある点から判断すると景気の先行きは厳しい。
		コンビニ(支店長)	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため景気はやや悪くなる。
		衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため景気はやや悪くなる。
		衣料品専門店(代表)	・消費税の引下げ等の新たな景気対策を講じなければ、景気回復は見込めない。
		家電量販店(販売担当)	・前年の消費税引上げ前の駆け込み需要の反動等から景気はやや悪くなる。
		その他専門店〔布地〕 (経営者)	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は回復しない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
		放送通信サービス(総務経理担当)	・特別定額給付金などの効果が一時的で長くは続かないので、景気は徐々に悪化する。
		テーマパーク(業務担当)	・秋は行楽のシーズンで年間でも多くの来園者が見込める時期だが、既に中止が決定しているイベントがあり、また、イベントの入場制限の継続や新型コロナウイルスの影響などもあるので来園者数が増加しない。
		ゴルフ場(営業担当)	・近隣で新型コロナウイルスの感染者数が増加し、予約が減少、既に予約している客のキャンセルも増加しているため、今後景気はやや悪くなる。
		競艇場(企画営業担当)	・3か月後は西日が強くなり、発売時間を短縮し、レースを開催するため、売上が減少する。
		美容室(経営者)	・新型コロナウイルスが一旦落ち着いて少し持ち直したが、再び感染者数が増加してきているため、客の来店周期が長くなる。
		美容室(経営者)	・先行きが不透明であり、景気が良くなる可能性は低い。
	×	商店街(代表者)	・新型コロナウイルスの影響で今後も景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕 (経営者)	・飲食店や宿泊業の倒産、廃業が懸念され、地元でも失業者数が増加する。
	×	百貨店(営業担当)	・取引先の倒産、撤退や、これから先のシーズンで販売していく商品の欠品等で景気はやや悪くなる。
	×	スーパー(財務担当)	・新型コロナウイルスの影響で客の所得が減少し、節約により客単価や買上点数が下落するため、売上が減少する。
	×	コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの影響が続き、近くに競合店が進出しにくくすることで、景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少しており、客への訪問もできないことから、今後も景気は悪くなる。
	×	家電量販店(店長)	・9月は元々端境期で売上が減少する月であることに加え、猛暑や新型コロナウイルスの影響で6～8月に需要を先食いしているため、厳しくなる。また、前年の消費税引上げ前の駆け込み需要の反動もあるので、売上の大幅な前年割れは避けられない。
	×	自動車備品販売店(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で人々が密を避けるため不要な外出を控えていることから、個人消費の低迷が続く。このままだと年末までに中小零細企業の破綻や廃業が爆発的に増加する。政府の更なる対策や支援策等が必要不可欠である。
	×	住関連専門店(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響で来客数がますます減少する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他専門店〔時計〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの第2波、第3波を警戒し、今後不要不急の外出が避けられるため、食品以外の小売業は厳しい状態が続く。
	×	一般レストラン(経営者)	・2~3か月前に景気が底だと思っていたが、現在は一段と景気が悪くなっている。今度こそ景気が底を打ったと考えるが、ひょっとしたら、2~3か月後に景気が更に悪くなるかもしれない。
	×	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕 (店長)	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	通信会社(営業担当)	・今後、廃業、倒産する自営業者や企業が出てくるため、景気は現状より悪くなる。
	×	通信会社(広報担当)	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は悪くなる。
	×	美容室(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、外出の自粛傾向も続き、客の次回の来店も当分先になるため、景気は悪くなる。
	×	住宅販売会社(営業所長)	・新型コロナウイルスに対する具体的施策が正解か不正解かの判断が付かない状況では景気は良くならない。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・秋に向けて地元完成車メーカーの生産が元に戻っていくため、景気は良くなる。
		輸送業(支店長)	・新たな需要が生まれてきており、今後景気は良くなる。
		通信業(営業企画担当)	・IT分野への投資を中止すると会社が後退するという危機感が強いようで、計画より遅れても投資は前に進めなければならぬという意識が働いているため、景気は良くなる。
		食料品製造業(経営者)	・販売量が微増となっており、今後も良くなるが、先を見据えて、現状に合った商売のやり方に変更する必要がある。
		鉄鋼業(総務担当)	・秋に向けて景気は徐々に回復傾向をたどる。
		鉄鋼業(総務担当)	・製品の受注状況がやや改善傾向にあるため、景気はやや良くなる。
		輸送業(総務担当)	・客からの発注が少しずつ元に戻ってくるため、景気はやや良くなる。
		金融業(融資企画担当)	・地元完成車メーカーの世界販売の回復が続き、生産台数も増加するため、系列の地元部品メーカーの受注も増加し、前年比では1割程度の減少まで回復する。
		農林水産業(従業員)	・新型コロナウイルスの影響で景気は変わらない。
		食料品製造業(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響が残るため、現在の状況が続く。海外から原料を輸入しているため、今後も米国と中国の貿易摩擦の影響を受ける。
		木材木製品製造業(経理担当)	・今後、新型コロナウイルスの影響が緩和してくれば、景気の回復も見込まれるが、現時点では先行きが不透明で不確定要素が多いため、今後も厳しい状況が続く。
		化学工業(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響が少し落ち着いてきている。
		窯業・土石製品製造業 (総務経理担当)	・生産状況に変化がなく、9月も8月と同様の雇用調整を実施するため、景気は変わらない。
		非鉄金属製造業(業務担当)	・自動車関連素材の受注に改善の兆しがみられず、景気は良くなる。
		金属製品製造業(総務担当)	・営業からの良い話はなく、案件の増加が見込めない。雇用調整助成金に頼らざるを得ない状況が続く。
		電気機械器具製造業 (総務担当)	・取引先の設備投資が滞っている状況が続いており、引き続き、悪い状況が続く。
		輸送用機械器具製造業 (経営企画担当)	・主要客からの直近受注内示量が安定しており、今後も変わらない。
	通信業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響でリモートWEB会議や遠隔通信などの需要はあるものの、システムの変更も小規模で売上も期待できない。飲食業、観光業、ホテル業などの業績だけでなく、雇用や投資も思わしくないため、景気は良くなる。	
	不動産業(総務担当)	・例年9月は賃貸物件の需要時期であるが、今年の9月は今月と変わらない。	
	広告代理店(営業担当)	・新型コロナウイルスが終息しない限り、売上も減少する。	
	会計事務所(経営者)	・新型コロナウイルスに対する新たな取組が生まれているが、負の影響を一部減殺しているに過ぎないため、景気は良くなる。	
	建設業(経営者)	・景気回復に向けて国が努力しているが、企業の投資が思わしくないため、景気はやや悪くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が長期化し、今後、計画の中止などが出てくる。
		輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、受注回復は難しいため、景気はやや悪くなる。
		金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルスの第2波の影響を受け、売上、収益共に改善に至っていない取引先が多い。新型コロナウイルスの終息のめども立っていないことから、今後、景気は悪化する。
	×	繊維工業（監査担当）	・対面販売が基本の営業形態なので、人の動きがないと売上に結び付かない。今の状態が続くと景気は更に悪くなる。
	×	化学工業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響の長期化で景気は悪くなる。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量が回復しないため、景気は悪くなる。
	×	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・新規受注が進んでおらず、明るい材料がほとんどないため、景気は悪くなる。
雇用 関連 (中国)		-	-
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・地元で工場のある大手製造業の稼働率の上昇に伴い、派遣業や運輸業など関連産業の動きが活発になるため、景気はやや良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・引き続き景気が悪い状況が続く。国内外の政治状況や新型コロナウイルスの状況次第で景気が上向き可能性はある。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・景気が回復する材料が見当たらない。
		人材派遣会社（支社長）	・求人数は低調に推移しているが、周辺企業の生産が徐々に戻ってきており、回復までは時間が掛かるが、これ以上は悪化しない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの再燃が懸念される。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・製造業が多いため、現状では景気が良くなる要素が見当たらない。就職活動では、社内外でどのような新型コロナウイルスの対策を採っているかが、企業を選ぶポイントで最上位に挙がっており、今後、どのような状況からも影響を受けにくい業種や公務員の人気上昇する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・リーマンショック時を下回る最低レベルの景況感が続いており、新型コロナウイルスの今後の影響も見通せず、まだまだ回復には時間が掛かる。
		職業安定所（所長）	・多くの業種で新型コロナウイルスの影響が続いているものの、宿泊業や飲食業では温泉旅館の一斉休業が終了し、営業再開となったことから、求人募集を再開する事業所が増加しつつある。
		職業安定所（事業所担当）	・新型コロナウイルスの影響が様々な業種にあり、雇用調整助成金等の申請も多く、雇用環境の悪化が継続している。雇用保険関係を前年同期と比べると、適用事業所数は6月が前年比1.8%増、7月が前年比1.9%増、被保険者数は6月が前年比0.9%増、7月が前年比0.5%増と共に微増で推移しているが、資格喪失者は6月が前年比7.8%減、7月が前年比15.2%減と減少に転じている。また、新規求職者数を前年同期と比べると、6月が前年比9.4%増、7月が前年比6.8%減となり、有効求職者数は6月が前年比3.5%減、7月が前年比0.4%増となっている。
		民間職業紹介機関（職員）	・一部の業種、業界には新型コロナウイルス発生以前の業績を回復しているところもあるが、特に飲食業や小売業などは回復傾向にはあるものの、依然として前年実績を大幅に割り込んでおり、当面この状況が続く。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルスの影響で企業側も積極的に新規採用枠の拡大を図ることが難しいため、景気は良くならない。
		人材派遣会社（支店長）	・3か月後に新型コロナウイルスの感染が拡大することが懸念され、今、採用活動をして1～3か月後に入社することが決まっても、そのときに受け入れられなかったり、受け入れてもしっかりとした研修の実施ができないことも想定されるので、採用に対して慎重にならざるを得ない企業が多い。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・業績の見通しが立たない企業が増加するため、景気はやや悪くなる。
	職業安定所（雇用関連担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。	
	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスの治療薬ができるまでは完全に人の動きは戻らないので、景気はやや悪くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他雇用の動向を把握できる者	・現在は雇用調整助成金等で労働者を維持している状況であるが、今後、新型コロナウイルスの第2波の影響で事業所の閉鎖等が増加してくる。

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)		-	-
		コンビニ（店長）	・自粛にも限界があり、また、新しい生活様式への慣れもあって来客数が微増している。結果的に来客数増、単価増の状況が続くのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響もあり来客数は少ないが、意外と客の購買意欲は高い。このままロックダウン等がなければ、景気は徐々に良くなり、年末から年明けに掛けて、ある程度回復するのではないかと。
		乗用車販売店（従業員）	・自粛のせいで買い控えしていた客が動いてる感じがある。
		乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスも徐々に沈静化していくという予測と、ワクチン開発に関する明るいニュースにより、景気は少しずつ回復していく。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数はかなり減っているが、そろそろ収束するのではないかと期待している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・2～3か月先は少し涼しくなるので、来客も少し増加する。
		一般レストラン（経営者）	・今後も様々な施策による後押しで、少しずつは回復すると思われるが、以前の日常にはなかなか戻らない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスと共存する社会がスタンダードとなる。
		通信会社（営業部長）	・客もウィズコロナに傾斜しており、マスクやアクリル板等の感染対策は必要ではあるが、来店を控えようという人は少なくなっている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響も少しずつ収束し、新しい生活様式に合わせた来客数増を期待している。
		商店街（代表者）	・4～5月の業績不振の影響により、電機店を中心に、各店舗の撤退等がみられている。飲食業もなかなか戻らない状況が続いているので、第2波が長引けば、今後も厳しい状況が続く。
		商店街（事務局長）	・このまま新型コロナウイルスの感染が縮小傾向から収束へと向かえばうれしいが、季節型インフルエンザが流行する時期に新型コロナウイルスの感染が再拡大するのではないかと多くの人が抱いている。少なくとも年内一杯は生活や消費が以前のように戻るとは誰も期待していない。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、引き続き厳しい状況が続いている。先のことは読めないが、好転の兆しは今のところ想定できない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続くだろうし、今の状況では先行き不安である。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスに対する不安感が払拭されるまで、来客数が戻ることは余りない。
		百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスの完全な終息には時間が掛かるため、しばらくはこのままの状態が続く。
		スーパー（店長）	・抜本的な新型コロナウイルスの感染防止対策が確立されるまで、現状が続く。
		スーパー（企画担当）	・外出や人混みが安全である確証がないと家庭外での消費が戻ることは想定できず、来客数の割に買上点数が多い状況は続くかと推定できる。
		コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスによる経済へのダメージは、収束が見通せない状況では先が読めない。
		コンビニ（商品担当）	・新型コロナウイルスの第2波や第3波がきて、消費者の財布のひもは固くなる。
		家電量販店（副店長）	・目的がある客は来店されているが、今後大きく景気が戻るのには期待できない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの終息が見込めない状況が続く限り、良くはならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で消費者の旅行の意欲は非常に低く、観光関連業界の景気は低位で推移する。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で先は全く読めないが、現在の予約状況から推測すると先行きは余り変わらない。まだ感染拡大が続いているので、プライダルの中止や延期が出てきている。Go To Travelキャンペーンは課題の多い施策であるが、これも余り伸びないのであれば、若干、弱含みかなという気がする。
		旅行代理店（営業担当）	・これから紅葉シーズンが到来するが、各地域における感染拡大が収まらない限り、大きな景気回復は見込めない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの収束がまだ見通せず、8～9月のイベントやコンサート等の予定も全部キャンセルになっている。飲食の人出も3密を意識して減少している。
		タクシー運転手	・例年なら秋は四国遍路の仕事がどんどん入ってくるはずだが、それもキャンセルが出ている。新型コロナウイルスがどうなるかによって大分変わってくるが、街も良くはないので、今後も売上は良くならない。
		通信会社社員	・しばらくは新型コロナウイルスの影響が継続する。
		通信会社（支店長）	・引き続き、新型コロナウイルスの影響が継続する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染防止対策やワクチン開発等により、客が安心して余暇を楽しめる状況はまだきそうにないため、もう少し悪化する。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・毎年秋は商品が余り売れない時期ではあるが、イベントのキャンセルがまだ続いていて、秋の予約が入らない。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスで外食からの需要を取り込んだが、落ち着いてきたら再び客が外食に回帰する。
		衣料品専門店（経営者）	・人の往来が規制されているため来客数が少ない。
		衣料品専門店（経営者）	・9月は秋物の最初の月ということで、例年であれば気温さえ低かったらある程度売れるが、今年は10月くらいまで残暑が続くと長期予報が出ているので、非常に厳しくなるのではないかと心配している。
		家電量販店（店員）	・冬のボーナスも期待できない状況で、販売数、単価共に厳しくなる。
		乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くなら、メーカーキャンペーンが9月末までなので、それ以降、悪くなる可能性が高い。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者が増加傾向になっていることもあり、高額商品の購入に慎重になっている方も多い。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・今年の秋冬は、季節型インフルエンザと新型コロナウイルスで来客数が更に減っていくのではないかと危惧している。
		競輪競馬（マネージャー）	・秋から冬に掛けて新型コロナウイルスが再び拡大すると予想されており、有効なワクチン開発や対策もすぐには実現は見込めない。現状は回復しつつあるものの、2～3か月先には景気は悪くなると予想する。
		美容室（経営者）	・今は特に暑くて髪を切る人が多いが、秋から冬になると髪を切らない人が増える。
	x	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスや大規模自然災害が続くなか、東京一極集中型社会は長期計画の下に地方分散型社会への転換が求められる。また、ますます進展するIT社会に対応するため、無条件に過剰化する県外大型店中心の街づくりから新たな情報化に対応できる街づくりに転換する必要がある。こうしたことに官民挙げて取り組まなければ地方都市はほとんど崩壊する。
	x	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、所得が少なくなっている方が段々と増えており、全体の景気は上昇してこない。
	x	コンビニ（店長）	・お盆以降の状況から勘案して、しばらく減少傾向となる見込みである。
	x	衣料品専門店（営業責任者）	・緊急事態宣言が解除されて6月は客足がやや戻っていたが、その後は下降線をたどっている。かつてない売上の減少に直面しており、アパレルの流通の川上から川下まで全てで影響を受けていることもあって、来年の春頃までは厳しい状況が続くと考えている。
	x	設計事務所（所長）	・民間の設備投資に非常に遅れが出てきており、新規事業等が始まるのが遅くなっている。
企業		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
動向 関連 (四国)		化学工業（所長）	・底は脱したように感じるが、回復のテンポとしては悪い。
		電気機械器具製造業（経営者）	・地方は仕事をする事を望んでいることを考えると、必ず仕事は増えていく。
		通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスの影響があるなかでも、できる限りの経済活動をしなければならない風潮が各社に広がっている。
		税理士事務所	・まだ完全に新型コロナウイルスの影響がなくなったとはいえず、業種によって影響度が違う。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌用ウェットクリーナーの需要は拡大しているが、アルコールの仕入制限があるので受注を制限している。制限が解除されて工場に交替勤務を取り入れると、売上は更に上がると考えられる。
		鉄鋼業（総務部長）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、当面は現状が続くと予想する。
		電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの第2波のピークが過ぎ、新業態化へと社会環境が変わろうとしているものの、まだ大都市圏を含めた日本全体の感染状況が落ち着かないため、数か月先もここ2か月前と同様な景気動向と推察している。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、数か月先でも収束には至らないと思われることや冬には感染の再拡大の懸念も大きいことから、良くなるとは見通せない。しかし、相応の感染防止対応を国民が行うことにより、悪くなるとも思えない。
		建設業（経営者）	・やはり公共事業の発注次第である。
		輸送業（営業）	・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないので、感染拡大防止と社会経済活動の復調の両立は難しいとの見方が強く、消費低迷による取扱物量の落ち込みは当面続くと推察される。長引く収益低下により経営状態が悪化するなか、体力勝負の様相を呈している。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からない。また、収束に向けた対策がどのくらい経済に好影響をもたらすかが見通せない。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で年内のイベント等はおおむね中止が決定し、客の販促広告の削減も継続が予想されており、依然として厳しい状況が続く。
		農林水産業（職員）	・新型コロナウイルス感染症の長期化の影響は大きく、飲食店や旅行関連の業種を中心に経営に厳しさが増している。既に閉店や人員削減、予約がない日の休業等がみられており、新型コロナウイルスの第2波が収束し、ワクチンと治療薬が出回らない限り厳しさが増すばかりである。所属する農協でも10月と来年2月の大型イベントを中止することが決定しており、新型コロナウイルス発生以前の経済活動に戻る気配は見当たらない。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が高止まりの状況で、外食産業の景気が上向いてこないと推測される。
		繊維工業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がしばらく収まりそうになく、全体的に厳しい。当社タオル商品は観光地でも売上が大きかったが、当県の本州四国連絡橋の道の駅では前年8月には300万円以上の仕入れがあったが、今年は100万円以下である。他の観光地も同様の傾向で、それらの実績を全て他の営業活動で穴埋めすることは難しい。当社の取引先は地方の小規模小売店が多いが、それら小売店は今後、資金手当ての面で金融機関の一層の支援が必要になってくる。
		木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの受注は若干回復しているが、新型コロナウイルスの影響で先行き不透明な状態で、受注回復も期待できない状態である。
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスは底を打った感があり、世間の慣れもあって、改善に向かう側面もあるだろうが、一方で企業体力も限界にきており、倒産の増加が予想される。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大、原油価格の低迷、点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
	×	輸送業（経営者）	・先が見通せない。役人は責任論ばかりで、結局ワクチンができるまで何も進まないと思う。
	×	輸送業（経理）	・新型コロナウイルスの影響は世界レベルとなっており、製造業等の客の輸出入の数量は、国内外の需要の落ち込みにより、前年同月比では更に下降線をたどると見込まれる。一方、生活必需品や飲料に関しては、猛暑の影響で夏場の需要が秋口まで続くと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連		-	-
(四国)		人材派遣会社（営業）	・今年中は前年同様の景気までは戻らないと覚悟を決めて、新たな事業を展開していく企業が増えてくる。内定者の削減や来年度の求人活動自粛の声も聞くが、オンラインでの面接、研修、営業など新しいサービス様式が日常化していくと考える。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で業績が回復している企業が少なく、人員を増やそうという企業は少ない。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の延長が決まり、大量の失業者が生まれる可能性は低い。
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響により、休業している事業所から雇用調整助成金の相談が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。緊急事態宣言が解除され、県外への移動等も可能となり、今後の状況は緩やかに改善していくと思われるが、急激な変化はしばらくないと推察する。
		民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスの収束がみえないため、現状の景気に大きな変動はない。
		人材派遣会社（営業担当）	・新規採用を控える企業が増えている。
		求人情報誌（営業）	・求人数が減り、失業者が増加している。景気回復のめどが立っていないため、この状況は続くと思われる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の第2波の影響で、景気はやや悪化すると推察する。
	x	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが見通せず、求人がなくなっており景気の回復がみえない。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		商店街（代表者）	・秋になると涼しくなり、新型コロナウイルスのピークも過ぎるため、来街客数も増えると予想されるが、12月になると第3波が発生するのではないかと懸念している。
(九州)		商店街（代表者）	・地域事業のプレミアム付商品券が発行され、年末ムードが出てくると予想される。しかし、新型コロナウイルスの影響やインフルエンザ、加えて政界の動き等で、先行き不透明である。
		乗用車販売店（従業員）	・客も新型コロナウイルスに対する付き合い方を学んできており、需要も徐々に回復してくる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、自宅での食事が増えており、食品を中心に順調な売上である。また、生花の相場も高くなっており、前年比115%で推移している。高騰状況であるが、売上は相場高のため、全体的に良い流れである。この傾向は、半年は続くと思われる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、環境次第では景気が大きく変動すると思っている。新型コロナウイルス感染の対策をしながら感染リスクを軽減し、感染者数の減少やワクチンの開発のめどが立てば、景気は上向きに動く。
		住関連専門店（従業員）	・秋冬寝具は単価が高いが、需要が見込まれるため、景気が良くなると予想される。また、気候も涼しくなり外出しやすくなることで、来店客数が増えることを期待している。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・暑い夏から秋へと季節が変わるが、通常コーヒーは夏より冬の方が売上が上がる。気温が下がってくると、家庭で消費されるコーヒーの量も増えるため、2～3か月先は現状より良くなると予想される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスは収束気味ではあるが、まだまだ油断できない。
		タクシー運転手	・良くなるとは考えにくい。総理が退陣するが、新型コロナウイルスの対策と経済のテコ入れをすれば、若干景気が上向くと期待をしている。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で止まっていた事業が動き出し、新型コロナウイルス対策や新しい時代に対応した経営案件が徐々に増えている。
		ゴルフ場（従業員）	・秋になり過ごしやすくなると、若干良くなると予想するが、新型コロナウイルスとインフルエンザの流行次第で悪くなる可能性もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競馬場（職員）	・客の入場再開を期待したい。
		住宅販売会社（従業員）	・建築条件付分譲事業が順調で、良い傾向が見受けられる。
		商店街（代表者）	・全体的に新型コロナウイルス発生以前から景気は良くはないが、良くも悪くも今後に影響を及ぼす要因として、新型コロナウイルスがポイントである。まだ、先行き不透明なため、回復する状況ではない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・年末は年間で一番の稼ぎ時であるが、今年は新型コロナウイルスやインフルエンザの流行もあり、どのくらい景気回復するのか先行き不透明で、不安である。とにかく朝晩少し涼しくなり、消費者の購買意欲が戻ることを期待している。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響が収まる要因がない。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスが終息するとは考えにくい。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染警戒による外出自粛と他県からの帰省制限は続いており、夏休み催事や帰省減少が要因で、3世代来店による購入が減少している。ダイレクトメールを抑制し、また、3密防止で物産催事のインターネット販売を促進し、客の期待に対応している。クレジット利用の促進やし好性の高い舶来雑貨や工芸品、自家需要は期待できるが、外出への慎重な姿勢や購買意欲は減退しており、生活防衛意識は継続し、街への外出と店頭での購入共に回復は遅れると考えられる。
		百貨店（営業担当）	・秋口に掛けて、新型コロナウイルスやインフルエンザの影響も出ると考えられ、先行きを予想しづらいが、現状の流れでは、横ばいで推移すると予想している。富裕層の需要である高額品は堅調で、宝飾や時計、ラグジュアリーブランドは、一部前年を上回っているアイテムもある。まさしく、二極化になっている。
		百貨店（販売促進担当）	・減少していた来店客数も徐々に回復傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響が先行き不明なため、変わらない。
		百貨店（売場担当）	・当店の衣料品では、一部ブランドが撤退している。北海道物産展や県産品は、規模を縮小して行う予定であるが、それらの状況を鑑みても、先行きは変わらない。新型コロナウイルスの状況にもよるが、全体的では70～85%の売上を想定している。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスの感染が第2波により拡大、継続している現状では、今後の景気回復が不透明のため、判断が難しい。徐々に景気が回復しても、これまでの販売方法が難しいと考えられ、現状維持程度である。
		百貨店（プロモーション担当）	・多少の浮き沈みはありながらも、来年春頃までは自粛や非接触な生活スタイルは大きく変わらないと考えられ、オンラインの構築が急がれる。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの状況が2～3か月で終息しなければ、客の健康志向の高まりや、外出自粛での価値あるものへの支出等、新しい生活様式が当面続くと考えられる。したがって、地域の食品スーパーマーケットの売上は、引き続き前年を上回る水準を維持するものと考え。特に、生鮮を強みにして店舗運営を行っている業態では、その傾向が強い。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響による内食傾向は変わらず、スーパーマーケットの来店客数は横ばいであると予想するが、衣料品関連の動きは商品調達の調整等も考慮すると、不振が継続する。
		スーパー（経理担当）	・産業の停滞による収入減少のために、スーパーマーケットからディスカウントストア、ドラッグストアの低価格志向へ向かうと考えられ、懸念している。
		スーパー（統括者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で、内食需要は続いており、更に安心・安全・おいしさ・安さ・楽しさ等良さの変化とアピールを継続していくことで、維持継続につながると考える。競合店もあるため、対策を考えなければ、若干悪くなっていく。
		コンビニ（経営者）	・商品部門別では、大半が前年を上回る状況が継続しているが、客数が減少しているため、全体の売上が落ちている。その背景には新型コロナウイルスの影響があり、収束しない限り回復しない。客は最低限度の必需品しか購入せず、消費マインドは非常に冷え込んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・感染症の分類が下げられても、経済活動がすぐに活発になるとは考えられない。
		コンビニ（エリア担当）	・コンビニエンスストアでのおでんの販売時期になるが、対面販売が衛生上難しいため、売上の減少は否めない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、今の状態がまだまだ続く。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・今後も新型コロナウイルスの影響が心配されるが、接客業のため感染におびえながら営業している。何もなければ客数も客単価も変わらないと予想するが、暑さが残っている間は、客数や客単価は若干例年を上回る。
		衣料品専門店（店長）	・しばらく、新型コロナウイルス感染者が出ていなかったが、再発生があり、3密厳守や外出自粛等で来街者も来店客もほとんどない。この傾向はまだ続くと考える。
		衣料品専門店（店員）	・冬になり、新型コロナウイルス感染者が増加すると、また緊急事態宣言が出されるのではないかと危惧している。
		衣料品専門店（取締役）	・秋は、暑さも和らぐため、人の動向は活発になることが期待できるが、冬には新型コロナウイルスとインフルエンザの流行もあり、自粛生活が十分考えられ、また、総理も辞任するため、景気が変わらない厳しい状態が継続すると予想している。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス禍であるが、家電量販店では、余り影響を感じていない。来店客数は減少しているものの、目的買いの客が来店するため成約率が高い。詳しく説明をして接客している効果もあり、エアコンディショナーや冷蔵庫、洗濯機、テレビは問題なく販売できている。しかし、今後は余り上昇する気配もないため、このまま変わらないと予想している。
		家電量販店（広報・IR担当）	・新型コロナウイルスに関する需要がどこまで続くか、不透明である。
		乗用車販売店（代表）	・好条件がないため、変わる気配がない。
		乗用車販売店（総務担当）	・新車と中古車の販売台数は新型車効果があり、急激な改善は期待できないものの2～3か月先は前年並の台数で推移していく。
		住関連専門店（店長）	・他業界と比較すると悪くない。新型コロナウイルス対策として自宅での時間を快適に過ごすために、居住空間を見直し、雑貨や家具に対する意識が上がっている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・今後の燃料油の小売価格は、予想しにくいのが小幅な動きはあると考えられる。9～10月の行楽シーズンにおける燃料油等の車に関する商品の需要は、近隣地への自動車による移動などの影響は受けにくいと、さほど変わらないと予想している。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・インバウンドの回復は、まだまだ先だと予想される。
		一般レストラン（経営者）	・国や県の対策も新型コロナウイルス感染が始まった当初ほどの政策はなく、大変不安で仕方がない。テイクアウト等も実施しているが、その場しのぎにすぎない。
		観光型ホテル（総務）	・新型コロナウイルスの第2波が落ち着いても、ワクチンや特效薬開発まで人の動きが大きく変わることはない。
		旅行代理店（従業員）	・国内旅行と海外ビジネス渡航はある程度戻ることが予測されるが、冬場に掛けてのインフルエンザ流行も懸念され、海外観光旅行はほとんど期待できない。
		タクシー運転手	・どうにか乗り切ろうと皆が必死であるが、思うようにはならず深刻な状況になっている。
		通信会社（業務担当）	・新型コロナウイルスが落ち着いても、元の売上に戻る見込みがない。
		通信会社（企画担当）	・現在程度の販売量の維持を見込んでいる。
		理容室（経営者）	・1人で理容業をしているため、客と1対1になり、新型コロナウイルスに対する警戒心は感じられないことで、景気は余り変わらないが、旅館、観光業、飲食関係の客は悲鳴を上げており、長引けば危ない状態である。
		美容室（経営者）	・2～3か月先の景気は、良くなると考えていたが、今の状態から、横ばいではないかと予想している。自粛傾向にあることで、来店客の回復の兆しが出ていないのが現状で、秋口には、おしゃれ産業に流れが出てくることを期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（店長）	・旅行や結婚式を控えている客もいるが、何も予定がなければ、来店するまでの間隔が長くなる。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・身の回りの景気はほぼ底と感じているが、景気回復にはまだまだ時間が必要だと予想される。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・引き続き新型コロナウイルスの影響により、介護会社の業績が大幅に増減することが想定される。
		設計事務所（所長）	・ただでさえ仕事量が減少しているにもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で打合せ自体が延期になっている。そのため、2～3か月で結果が出るところが、6か月掛かり、厳しい状態である。
		商店街（代表者）	・大都市との交流が始まると地方での新型コロナウイルスの第3波、第4波感染者の増加が危惧される。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの第3波、あるいはそれ以上のおそれもあり、良い予測が立てられない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、街に出る人が少なくなっており、その上、会合や宴会も自粛が続いている。夜の接待業でも売上がとても少ない。売上が減少すると、洋服や装飾品の購入を節約し、婦人服店の売上が減少、新たな仕入れも鈍くなる。そのように社会は、全てつながっているものと今回改めて実感しており、先行きが不安である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・ギフトの販売がメインのため、この暑い時期より、2～3か月先の涼しくなった時期の方が売上が多いと予想される。今まで、新型コロナウイルスの影響を受けていなかったが、影響が出始め、続くようであれば、売上は下がっていく。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・新型コロナウイルス感染者はまだ多い。2～3か月後もこの状態から脱することはないため、以前の売上に戻ることはない。
		百貨店（業務担当）	・秋以降の祭りは中止が決まり、秋の旅行もない。今後のコト需要もほとんどないため、買物の必要もない客が多くなる。しばらくはこの状態が続く。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が予測できないため、今後も人の動きは低迷することからイベントや催事のプラス要因が期待できない。コンビニエンスストアとしての内食、生活必需品の購入に頼るのみの厳しい売上状況が続く。
		コンビニ（経営者）	・3か月後も新型コロナウイルスの影響が消えると考えられないことから、売上上昇は見込めない。店舗収益の改善のため、何らかの対策が必要である。現状の雇用調整助成金等が該当しない経営者がいることを理解してほしい。
		衣料品専門店（総務担当）	・これから冬に向かい、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染拡大が予想され、景気は悪化する。
		家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は景気全体に広がり、収入に対する不安が徐々に消費行動にも連鎖し始め、今後の家電買換え需要が鈍くなるのが危惧される。
		家電量販店（従業員）	・冷房器具の需要のピークも過ぎ、落ち着く。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないため、巣籠り消費による特別定額給付金10万円で家具等を購入した客も、今後は財布のひもを締めて節約を考えると考えられ、経済活動が停滞している現状では、先の見通しは大変厳しい。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスの影響で、存続できる企業とそうでない企業の淘汰が、更に進むと予測している。さらに、雇用調整助成金が終了すると、雇用を失う人も多数出ると想定され、外食産業を取引先としている当社の景気上昇は、見通せない。
		タクシー運転手	・先の見通しが見えない状況では、客の増加は難しい。
		通信会社（営業担当）	・巣籠り需要が落ち着き、例年と変わらない販売レベルになると考えている。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、営業を続けることができるか懸念される。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、景気は低迷しており、Go To TravelキャンペーンやGo To Eatキャンペーン等の国の施策で補助もあるが、景気が上がるか疑問である。やはり、主要産業の外国向け戦略の動向が戻らなければ、状況は良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	商店街（代表者）	・この夏は猛暑になり、新型コロナウイルスの終息も分からないため、営業努力はしているものの、先行き不透明で今後が懸念される。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況によっては、景気は変化すると予想しているが、今の状況ではファッション関連業種は先行き不安である。
	×	コンビニ（店長）	・購入を考えていても、企業破綻やリストラ等で先行きが不安であれば、購入することができない。
	×	衣料品専門店（店長）	・秋口に少しは持ち直すかどうか心配である。
	×	家電量販店（店長）	・前年は8月末から消費税上げ前の駆け込み需要が発生したが、新型コロナウイルスの影響による売上減少を、同水準にカバーする手立てがない。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・現状新型コロナウイルス第2波もピークを過ぎ、収束の兆しを見せている一方で、季節が寒くなり肺炎が本格的になる時期に向けて不安も大きい。今現在営業できているテナントの経営状況もギリギリで、新型コロナウイルスのマイナス影響が続くようであれば、更なる倒産や事業撤退の案件が増えると危惧している。
	×	高級レストラン（経営者）	・当店は、接待利用の会社関係が主な客であったが、新型コロナウイルスの影響で、生活形態が変化しており、接待文化が少なくなっていることを日々感じている。会社関係が動かなければ、この先はかなり厳しくなっていく。総理も辞任し、先行き不透明で非常に不安である。
	×	高級レストラン（経営者）	・弁当と出前だけで営業しているため、従業員の給料を支払わなければいけない状態である。2～3か月先は、借入れもできない状態になりそうで、ひっ迫している。
	×	一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス次第で景気が左右される。第2波、第3波と悪くなる一方で、国の対策が何も出ない状況になる。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの陽性者数は、相変わらず増え続けているが、感染しやすい秋から冬へ季節が移ると、更なる感染者増加が予想され、外出する人が減少する。一部の業界を除き、減収の影響を受け、外食等レジャー消費への財布の引締めも一層懸念される。
	×	観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルスの影響で、全く先が読めない。
	×	都市型ホテル（販売担当）	・9月の大型連休等も稼働率が上がっていない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・客は新型コロナウイルスに非常に敏感であり、秋から再流行期に入れば、客の移動や来館はかなり少なくなる。
	×	観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続き、例年どおりの観光客数は見込めない。
	×	設計事務所（所長）	・冬季の新型コロナウイルス感染拡大のおそれもあり、生活のために現金確保が優先されると不要不急の支出を控える状況になっていき、経済が停滞する。
	×	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響がどのくらい長引くか不透明である。
企業 動向 関連 (九州)		*	*
		食料品製造業（経営者）	・水害の片付けも一段落し、もう少しで生産ができる見通しである。
		電気機械器具製造業（取締役）	・新型コロナウイルス対策により、ある程度景気が維持される見込みではあるが、ワクチン開発の遅れ等により、この景気悪化が長引くことが予想される。
		精密機械器具製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで響くか分からないため、受注先からの厳しい受注量が継続することになり、まだまだ予断を許さない状況にある。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・当初の生産計画の水準に戻りつつあり、更に6～7月の新型コロナウイルスや令和2年7月豪雨による非稼働日のばん回数も、上乗せされた生産が計画されている。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・少しずつではあるが、自動車、半導体向けの生産量が増えており、徐々に回復してくるものと考えている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・新型コロナウイルスが終息しつつあるとは考えられない。この状況が長期化しており、若干外出自粛にも疲れてきているため、少し戻っている。9月は少し涼しくなり、経済的にもプラスに向かうと予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		農林水産業（経営者）	・新型コロナウイルスが終息して、自由に外出できる状況でなければ、新型コロナウイルス発生以前の状態は期待できない。業界の特殊性もあるが、消費が伸びず、原料となる鶏の入荷に不安を感じている。また、海外からの渡航禁止による実習生の労働力確保にも懸念しており、年内の生産体制は何とか維持できるものの、来年は現状の流れであれば工場稼働に支障が出てくる状況である。
		化学工業（総務担当）	・国内医薬農薬中間体の需要は堅調である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が難しいようであるが、通常のルート販売も難しい状態である。インターネット関係を十分活用して、戦略的にしていかなければ今後の企業活動も難しくなる。
		金属製品製造業（事業統括）	・株価は回復しているが、実態の受注量は増加しない。今後の設備投資意欲次第では、回復状況にも変化が出てくる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の体制が若干変わったことで、新体制の動きが一番懸念される材料である。受注生産を主体に置いているため、相手の体制で大きな影響を受ける。
		建設業（従業員）	・今期の初めから、受注することができ、さい先良いスタートを切っている。人員配置や受注する物件を絞っていかねばならないことが多少マイナス要因になるが、見積案件もあり、これからも受注に向けて営業活動に力を入れたい。
		輸送業（従業員）	・化粧品の消費量は、伸びない見通しである。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続き、回復までは時間が掛かる。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大が収まるまでは、この状況が続く見通しである。
		通信業（職員）	・新型コロナウイルス禍でも、情報通信分野の需要は継続する。
		通信業（経理担当）	・現時点の新型コロナウイルスの影響で、良しあしどちらにも進展が見込めない。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスによる景気の低迷は依然続いており、感染者数の減少と効果的なワクチンの開発等が進まない限り、以前の水準には戻らない。また、今後注視していく事柄として、新型コロナウイルスに適用した企業活動の定着と米国の中国に対する制裁が高まっており、中国企業に自動車関連部品等輸出している日本企業は低迷する可能性がある。
		金融業（営業）	新型コロナウイルスの影響は、先が見えない状況である。ほとんどの業種で、現在の悪い状況が続くと考えられる。
		金融業（調査担当）	・今後の景気は、新型コロナウイルスの終息の行方次第である。ワクチン開発が進展しているが、秋から冬に掛けて再流行を懸念する声は根強い。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、中小事業者の売上低迷が継続している。人件費を中心とした固定費等で運用できない費用は、セーフティネット等の借入れで、資金繰りをまかなっているが、業種によっては底を突く企業もある。今後、従業員の解雇や失業が出てくることになり、先々は余り良くない。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・上向き材料が見当たらない。
		広告代理店（役員）	・業績の3か月予想では、ほぼ現状の横ばいである。新提案であるニューノーマルのテーマを積極的に実施しているが、客業績の悪化から実行に至るケースは少ない。
		経営コンサルタント（社員）	・新型コロナウイルスの状況が落ち着かなければ、外部に働きかけるのが難しい。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・新型コロナウイルス第2波は収束気味ではあるものの、依然として景気回復を見込める状況ではない。
		繊維工業（営業担当）	・2～3か月で状況は変わらない。少しずつ本来の仕事が入りつつあるようだが、全く足りない状態である。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今期予算化済費用について、新型コロナウイルス対策関連事業へ回されることが増えている。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス感染者が再び増加傾向であるが、Go To Travelキャンペーンによる旅行申込みや飲食店の予約に今一つ勢いが感じられず、ホテルや旅館、飲食店等では厳しい状況が続いている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・新型コロナウイルスの影響により延期していたイベントが、再延期ではなく中止決定の案件が出始め、活動自粛が増加する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	家具製造業（従業員）	・まだ新型コロナウイルスの影響を受け、グローバルな展開ができなくなっており、国内の需要だけでは新型コロナウイルスの発生以前の経済には戻らない。画期的にワクチンが開発され、新型コロナウイルスがインフルエンザと同等の扱いになれば、元に戻る可能性が高いと考えられるが、現時点では悲観的要因が多い。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・体制を入れ替えて受注へつなげたいが、市場そのものが冷えており、もっと他の対策を練り直す必要がある。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・米中貿易摩擦や新型コロナウイルス等不安要因が多く、先行き不透明で今後が懸念される。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・今後も新型コロナウイルスの影響が予想される。
	×	建設業（社員）	・上半期まで残り1か月になり、目標の80%までは発注されてこない状況である。新型コロナウイルスの影響だけではなく、発注自体の停滞があれば非常に厳しい。公共工事の補正も確保できることを望んでいる。
	×	経営コンサルタント（社員）	・新型コロナウイルスで影響を受けた取引先関係も、連鎖的に経営難に陥っている。
	×	その他サービス業[コンサルタント]（代表取締役）	・市町村によっては、新型コロナウイルス対策を理由に既に契約していた委託業務を契約破棄にするなどの対応に出ているところもあり、8月に打診を受けている。このため、市町村からの受注が見込めない状況にあるため、景気が悪くなる。
雇用 関連 (九州)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・求人数の回復に伴い、契約数が改善傾向である。新型コロナウイルスで見送っていた欠員補充が動き始めている。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・新型コロナウイルスへの正しい対応策に理解が進み、感染に気を付けつつも経済を回していくという動きが進む。冬にはインフルエンザも流行する季節要因が考えられ景気が心配されるが、秋は人の動きも活発になると予想できる。
		人材派遣会社（社員）	・今後の新型コロナウイルスの影響がつかめないため、先行きは分からない。
		人材派遣会社（社員）	・9月末で契約を更新しない派遣者も出ている。新型コロナウイルスの影響で、仕事量が減っており、現状の人数で対応が十分可能ということで、後任を取らない企業も若干ある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・専門家によると感染拡大のピークは迎えたようであるが、高齢者の重症化は、拡大傾向にある。飲食の繁盛店は3密になる可能性があるため、客足は離れている。新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、このような傾向はしばらく続く。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・国の休業補償が、年内は延長になったこともあり、しばらくの景気は横ばいである。
		職業安定所（職員）	・体力のない会社の雇用切りはほぼ終了し、今後、休業要請がない限り、求人求職の動きは現状維持と思われる。
		学校[大学]（就職支援業務）	・新型コロナウイルス感染者数の影響は継続するものの、新卒採用数の減少は現時点と比較し、更に悪化することはないと予測している。
		人材派遣会社（社員）	・9月末での派遣契約の終了が多く、10月以降の派遣契約開始件数が少ない状況である。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス関連の給付金事務処理等の短期的な求人はあるが、紹介予定派遣等、直接雇用につながる派遣依頼はない。
		新聞社[求人広告]（社員）	・お盆の求人特集の不振について取材したところ、先が見えないことで、新規の求人広告を出すことは難しい企業が多かった。新型コロナウイルスの感染者数の推移は、2～3か月後には、先が見える状況になっているとは到底考えにくく、改善の見込みは薄い。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が止まらず、治療法や予防策の見通しが不透明で、消費者は委縮している。また、政府等の支援策も出尽くし、新たに有効な景気回復策が出てくるとは思えない。
×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が長引くと、様々な企業で雇用調整をする気配があり、今後の契約更新に企業からの相談が少しずつ増えている。プラスの動きを取りつつも企業側が控えているため、先行きが不安である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	職業安定所（職員）	・令和2年7月豪雨と新型コロナウイルスの第2波があり、海外でも新型コロナウイルスの感染状況が2月の状況と変わっていないため、悪くなっている。
	×	民間職業紹介機関（職員）	・今後の動きは、4年生採用は大体終了した印象があり、追加の求人が期待できないことや次の3年生については未定という企業が多い。加えて、一部業界を除き人材の余剰も発生し、より厳しくなる。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-
		一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルス対策が取られ、県外の観光客が少しずつ増えつつある。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス次第かとみられるが、県や国がウィズコロナの下で経済重視にかじを切るならば、今よりは良くなるとみられる。
		家電量販店（総務担当）	・日々の新型コロナウイルス感染者数が減ると、来客数が増える。
		百貨店（店舗企画）	・前年のように回復しないが、これからも何度か同じ状況を繰り返して新型コロナウイルスと共存しながら現状を保つような動きになるとみられる。
		スーパー（企画担当）	・今月同様に不要不急の外出自粛が続き、巣籠り需要が継続するとみられる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス対策をしっかりとっており、客が安心して来店するので人の動きが今よりも増えてくる。
		コンビニ（経営者）	・以前にも増して県民の意識の中での自粛モードが拡大傾向にあり、早朝、日中共に客数は減少しており、夜間では時間帯別で0人の状況もあり、緊急事態宣言解除による期待感よりも、感染者増加による影響が懸念材料となっている。
		コンビニ（副店長）	・ウィズコロナの生活が日常的になっても心理的に自粛モードは続き、厳しい状況は変わらないと考察する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月の前半は、前月よりも良いスタートと感じたが、新型コロナウイルスの感染が拡大し、県の緊急事態宣言発出後は客の出が悪くなっている。景気はまだまだ良くなる感触はない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月後の客室稼働率は、今月同様に大きく前年実績を下回る見込みである。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・Go To Travelキャンペーンの効果は、予約状況から今のところ全くと言ってよいほど感じられない。
		住宅販売会社（代表取締役）	・新型コロナウイルス禍で景気回復が見通せない状況にあり、客の建築意欲がうせている。
	×	商店街（代表者）	・現在流行中の新型コロナウイルス感染症の影響により、物販、飲食全体にわたり客数も大変減り、購買力も落ちている感がある。それに伴い閉店が多くなり、雇用も不安定になっているようで、大変な危機的状況が起きているとみられる。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・地元の外出離れが課題になっていたところに、新型コロナウイルス禍でインバウンドがなくなり、Go To Travelキャンペーンで県外からの観光客が増えはしたが、リ患率が悪化し、観光客を入れたくてもスタッフが恐怖心を持っているため無理には入れられず、沈静化のタイミングを計りながら、オードブルや重箱を売っているのが現状である。かなりの店舗でキャッシュが回らなくなり、廃業の準備をしているのを確認している。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・予約動向が非常に悪い上、各ホテルがとても安い料金で販売しており、価格競争が始まっている。先行きの売上が立たない。Go To Travelキャンペーンも始まってはいるが、沖縄は下支えする程度で、まだ上昇へ向かうことはない。新型コロナウイルスへの認識を変えること、東京の除外解除がないと期待できない。
	×	旅行代理店（マネージャー）	・数か月の自粛期間から、いきなりのフル加速、結局は数週間で再び自粛生活へ逆戻りしている。子供の学校も近所の公園も封鎖中なのに観光客は遊びに来る。県民の気持ちは置き去り状態で仕事もモチベーションもどん底である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	観光名所（職員）	・修学旅行シーズンに入るが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が増えてきている。域内の修学旅行に代わりつつある。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		建設業（経営者）	・商談及び仮契約に進行する客の兆しが見えてきている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の影響が続く限り、先行き不透明である。
		輸送業（経営企画室）	・物流の総合的な視点でいくと、今後は現状を維持していくものとみられる。5月頃は緊急事態宣言における景気への影響を受け、特に外食産業で取扱物量も減少していた一方で、特別定額給付金もあり一時的ではあるが、主に家電等の物量が増加していた。今後は、ウィズコロナと呼ばれるように緊急事態宣言の影響が少なくなるとみられるが、特別定額給付金のような一時的な消費の増加もなく、観光における人の移動も回復が見込まれないため現状を維持するのではないかと考えられる。
		広告代理店（営業担当）	・ウィズコロナ時代がもたらす共通のビジネススタイルが具体化していくまでの間、県内企業は引き続き翻弄され続け、販促予算の執行は慎重にならざるを得ないとみている。
		会計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの終息感が認知、自覚できず、観光客だけでなく県内居住者の外食も当面見込めない。
		食料品製造業（総務）	・全ては新型コロナウイルス感染が沈静化するかどうかに影響されるとみている。
	x	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては新型コロナウイルス関係で停止する現場もあるなかで比較的安定して推移しているが、先々の予想は不透明である。民需はホテルやアパート等の受注が落ちている。そのようななかで新規参入船が稼働して供給過剰となり、競争が激化しそうで
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスの第2波が落ち着く頃には飲食店も再興するだろう。雇用の動きも活発になるとみられる。
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの環境がどのくらい落ち着くかで、社会活動や企業への影響も違ってくる。それがはっきりしないままでは、将来の経営、経済環境は分からない。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの第2波の影響が続くと考えられる。
		職業安定所（職員）	・採用活動の復活がみられるものの、前年のような人手不足感はなく、人を採用することに対して慎重になっている傾向がみられる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス禍で就職関連の説明会やイベント等が中止や延期になっている。また説明会はオンラインに移行してきており、採用活動が長期化傾向にある。就活中の学生たちの多くが不安を感じている。
	x	人材派遣会社（総務担当）	・観光業の派遣先の業績が厳しく、派遣を更新しない。